

志賀原子力発電所2号炉
敷地周辺の地質・地質構造について

データ集2(音波探査記録)

2023年5月12日
北陸電力株式会社

余白

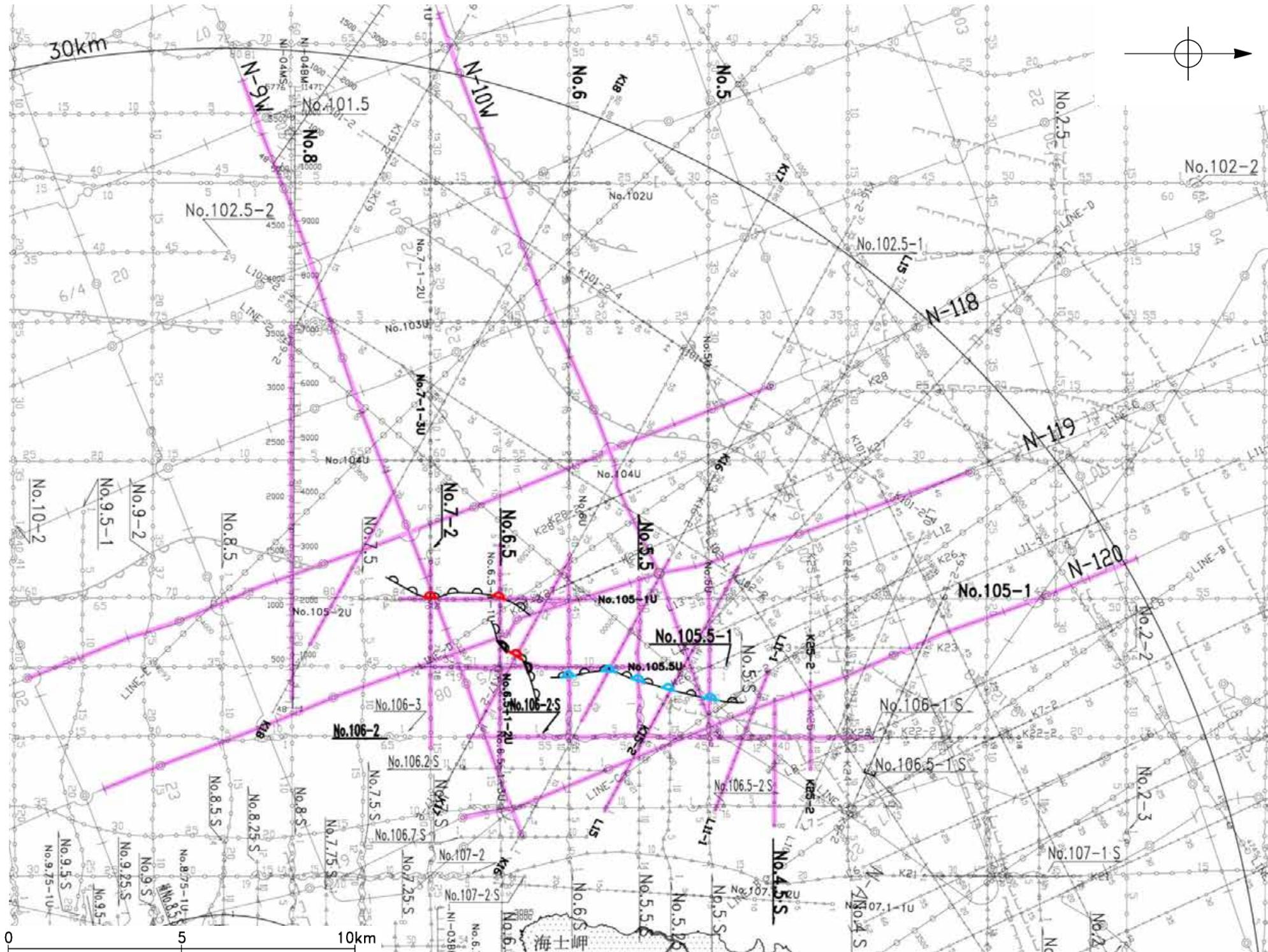
目次

	項目	今回添付
データ集2(音波探査記録)	敷地前面調査海域	—
	海士岬沖断層帯	2-2-1~2-2-37
	羽咋沖東撓曲	2-3-1~2-3-29
	羽咋沖西撓曲	2-4-1~2-4-22
	笹波沖断層帯(東部)	2-5-1~2-5-48
	笹波沖断層帯(西部)	2-6-1~2-6-78
	前ノ瀬東方断層帯	2-7-1~2-7-54
	七尾湾調査海域の断層	2-8-1~2-8-36
	徳山ほか(2001)の断層	2-9-1~2-9-45
	鈴木(1979)の断層	2-10-1~2-10-20
	田中(1979)の断層	2-11-1~2-11-18
	富山湾西側海域の断層	2-12-1~2-12-89
	能登半島北部沿岸域断層帯	2-13-1~2-13-168
	F _U 1	2-14-1~2-14-136
	F _U 2	2-15-1~2-15-51
	猿山岬北方沖の断層	2-16-1~2-16-136
眉丈山第2断層	2-17-1~2-17-7	
能都断層帯	2-18-1~2-18-9	

余白

海士岬冲断層帯

音波探査記録 添付測線(海士岬沖断層帯)



凡 例

- 断層 (伏在断層)
- 断層
- 伏在断層 } 連続性のない断層
- 拗曲

- No. 8 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
- No. 9.S 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約360ジュール)
- No. 8.U 調査測線 (北陸電力: ブーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)
- LINE-A 調査測線 (東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル)

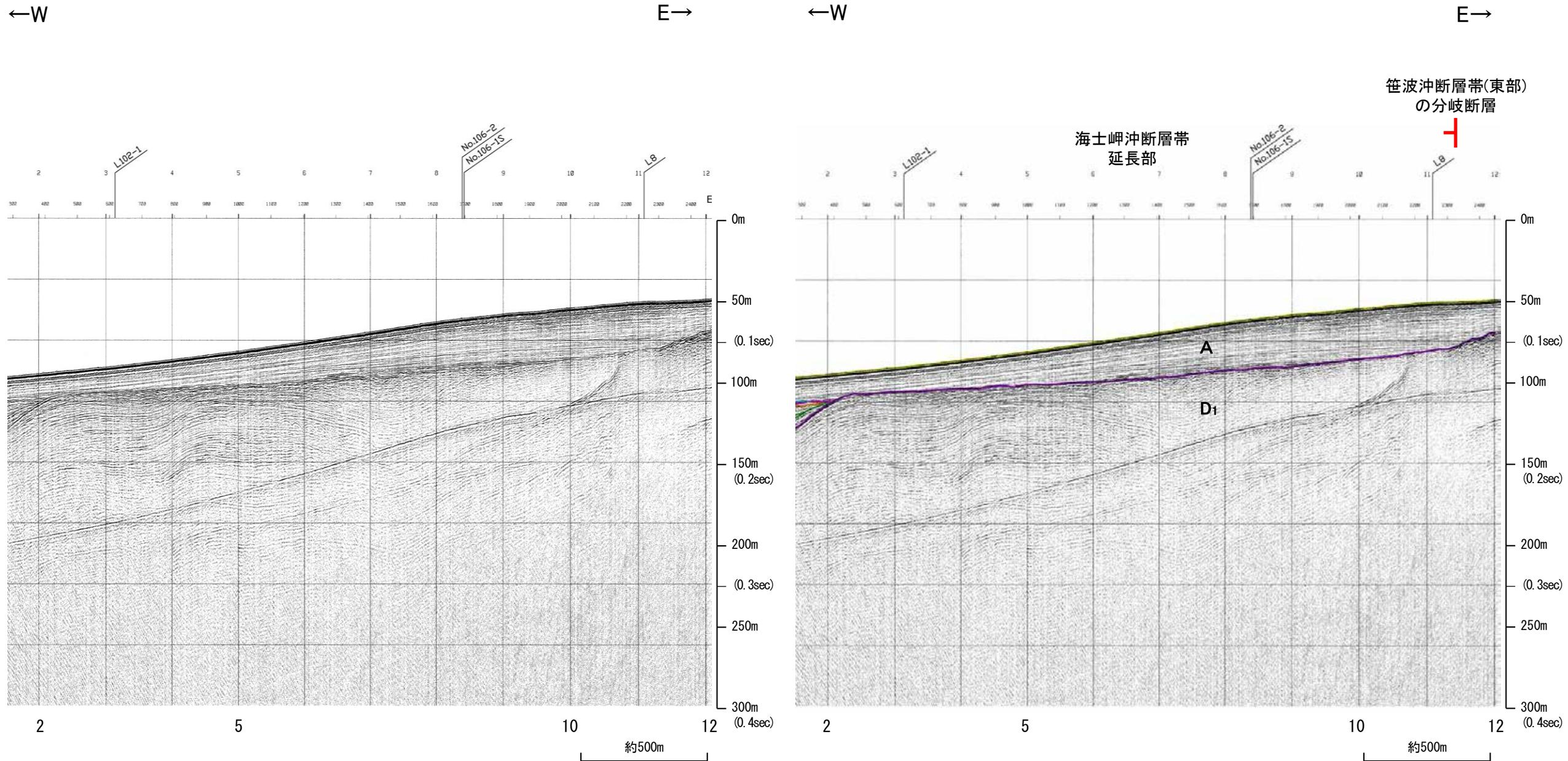
- K17 調査測線 (東京大学地震研究所: ブーマー・マルチチャンネル)
- L5 調査測線 (産業技術総合研究所: ブーマー・マルチチャンネル)
- N1-06BM 調査測線 (原子力安全保安院: ブーマー・マルチチャンネル)
- N1-06MS 調査測線 (原子力安全保安院: ウォーターガン・マルチチャンネル)
- N-118 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)

(測線位置における活動性)

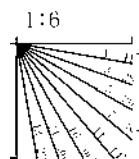
- B₁層以上に変位, 変形が認められる
- B₁層以上に変位, 変形の可能性が否定できない
- B₁層以上に変位, 変形が認められない

添付した音波探査記録

地震研ブーマー K25-2

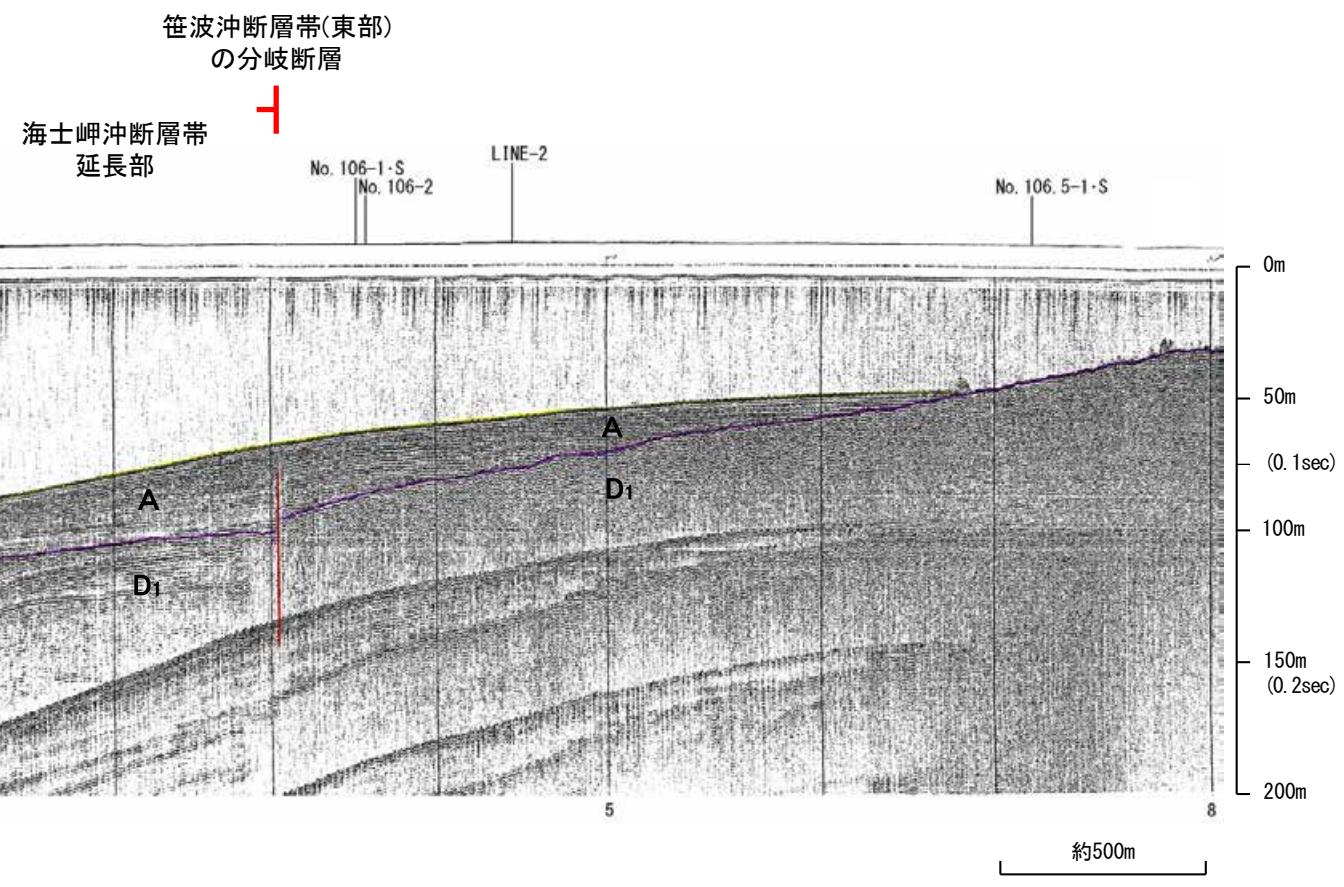
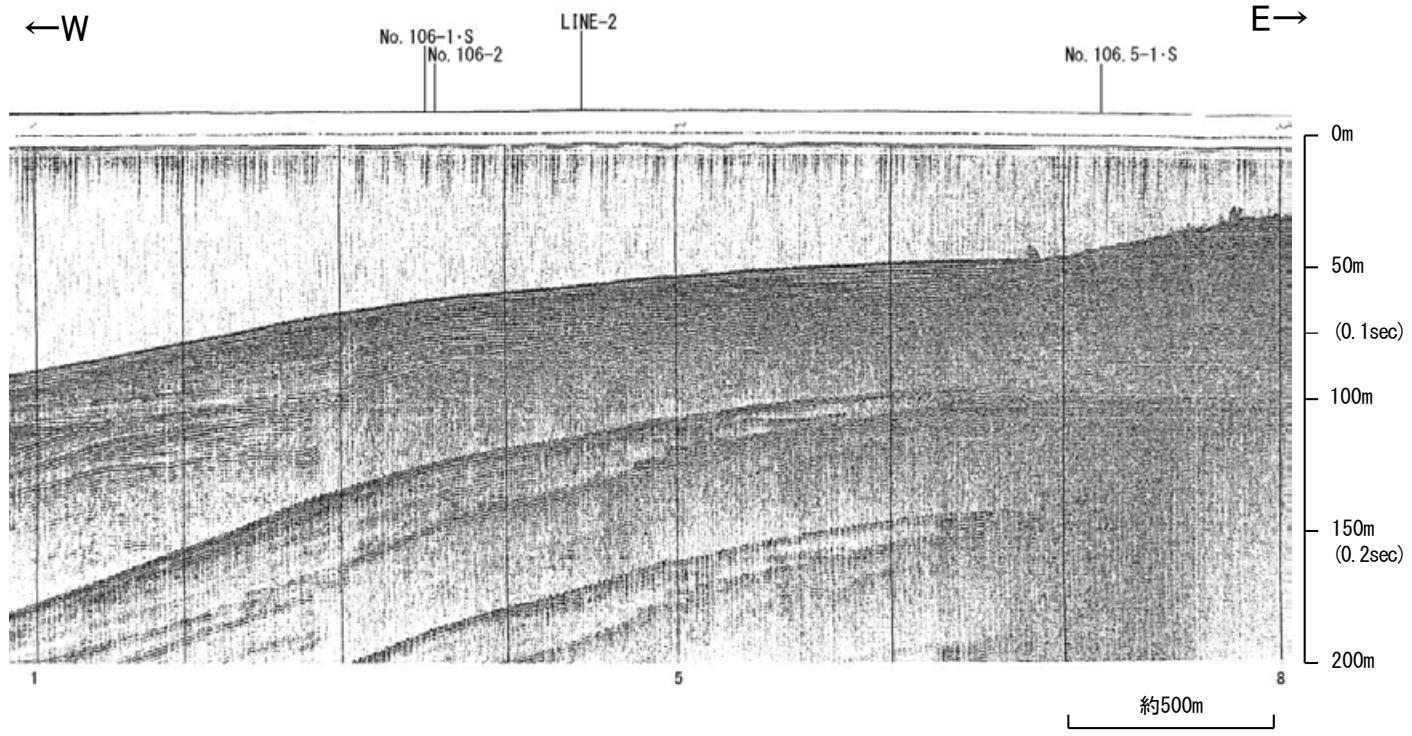


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B層
	中期	B ₂ 層
	B ₃ 層	
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

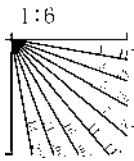


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

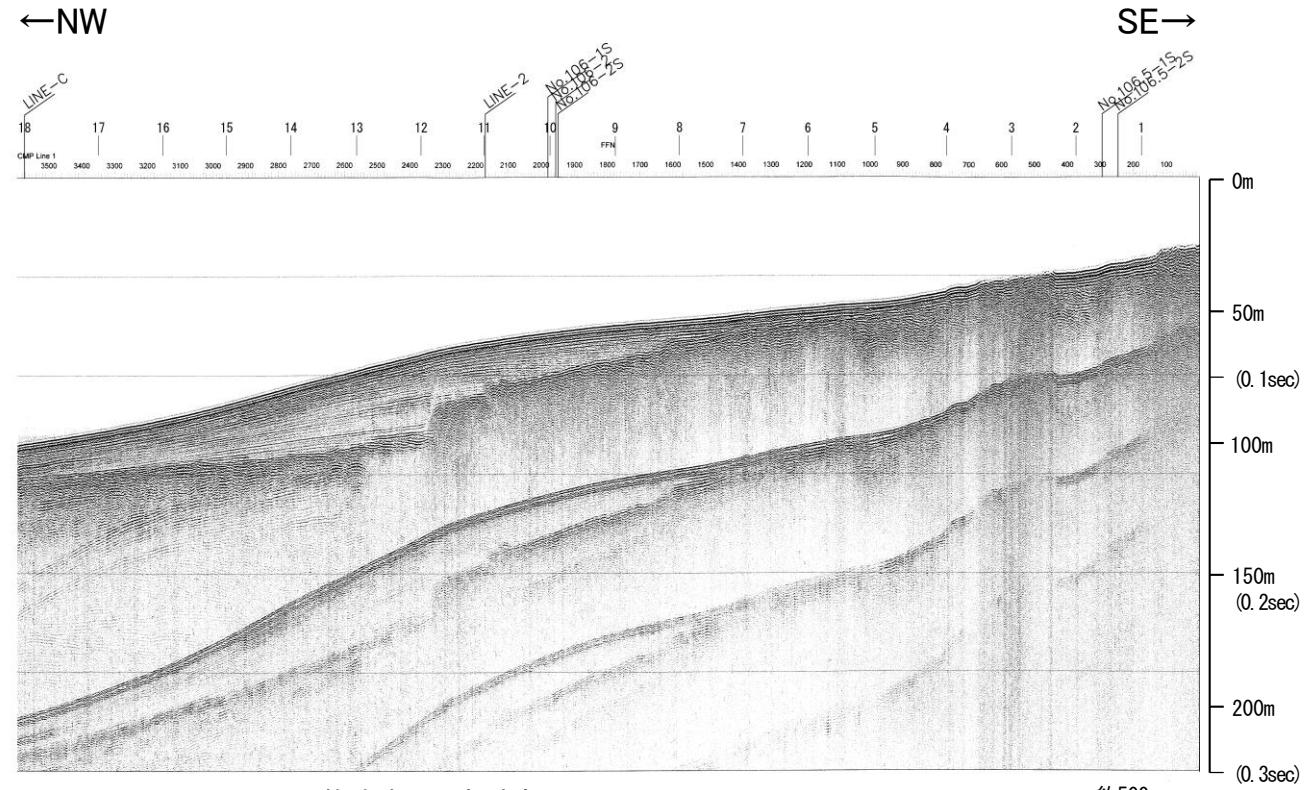
北陸電カスパーカー No.4.5・S



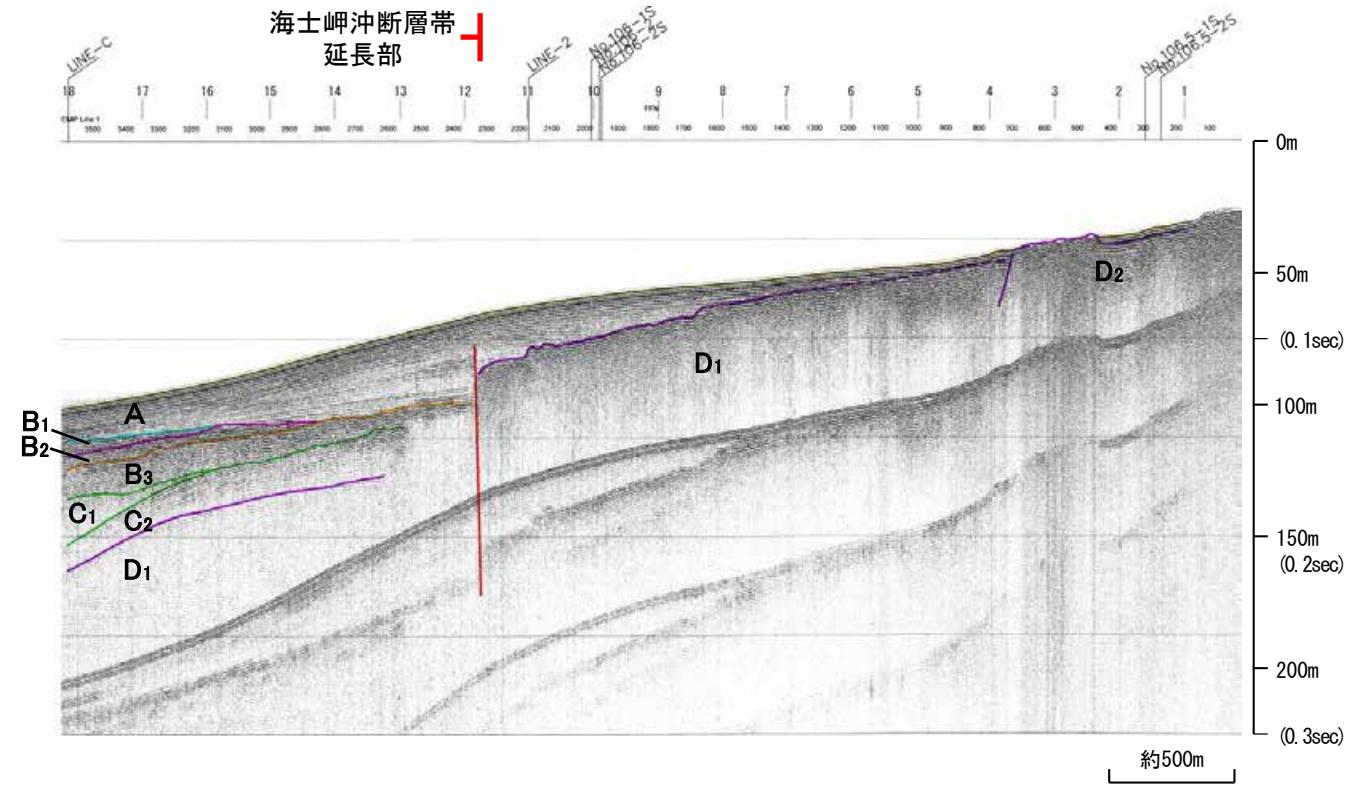
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	D ₁ 層
		中期	B ₁ 層
			B ₂ 層
	前期	C層	
第三紀	鮮新世	C ₂ 層	
	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



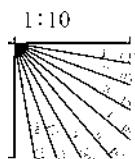
産総研ブーマー L11-1



笹波沖断層帯(東部)
の分岐断層

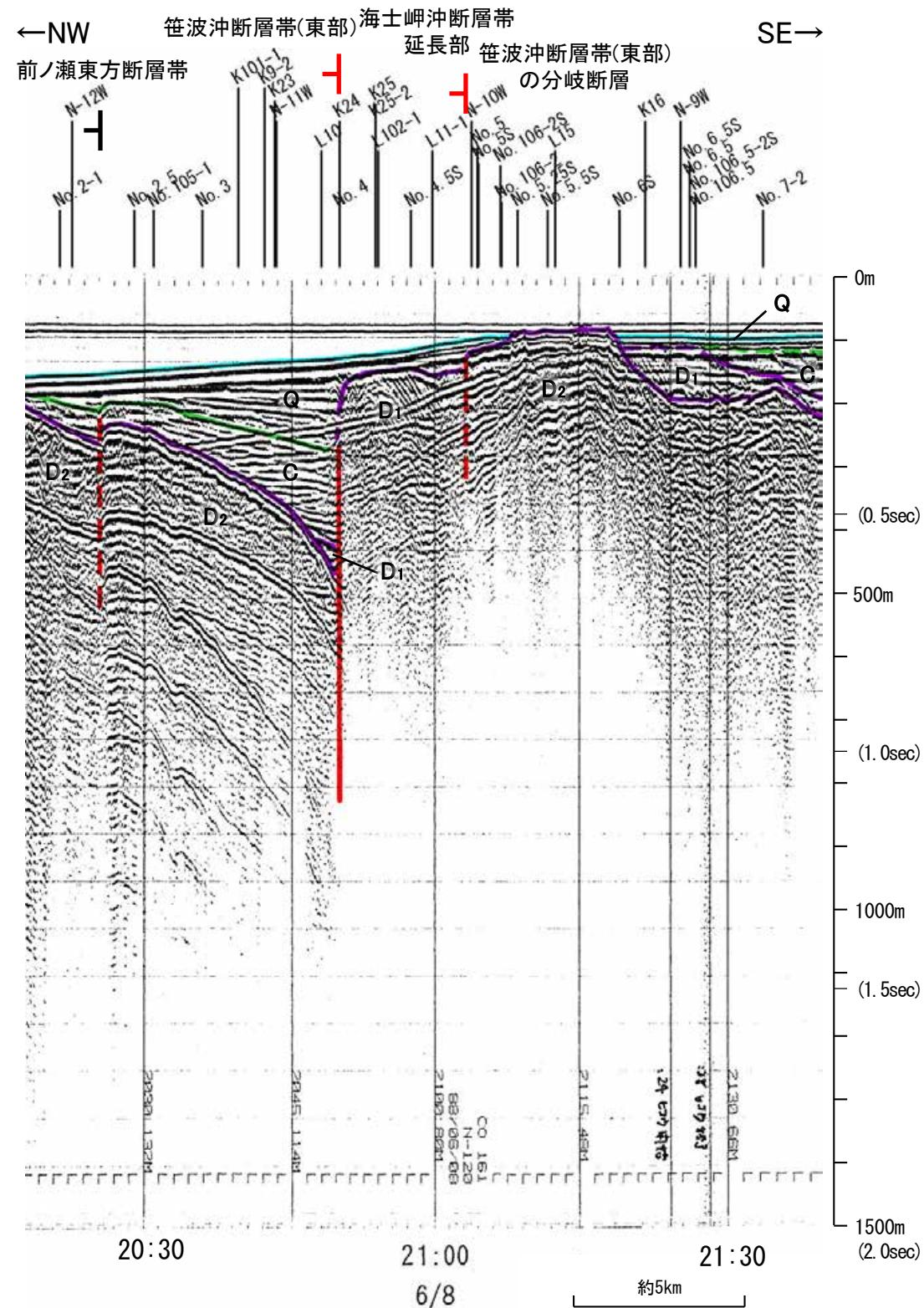
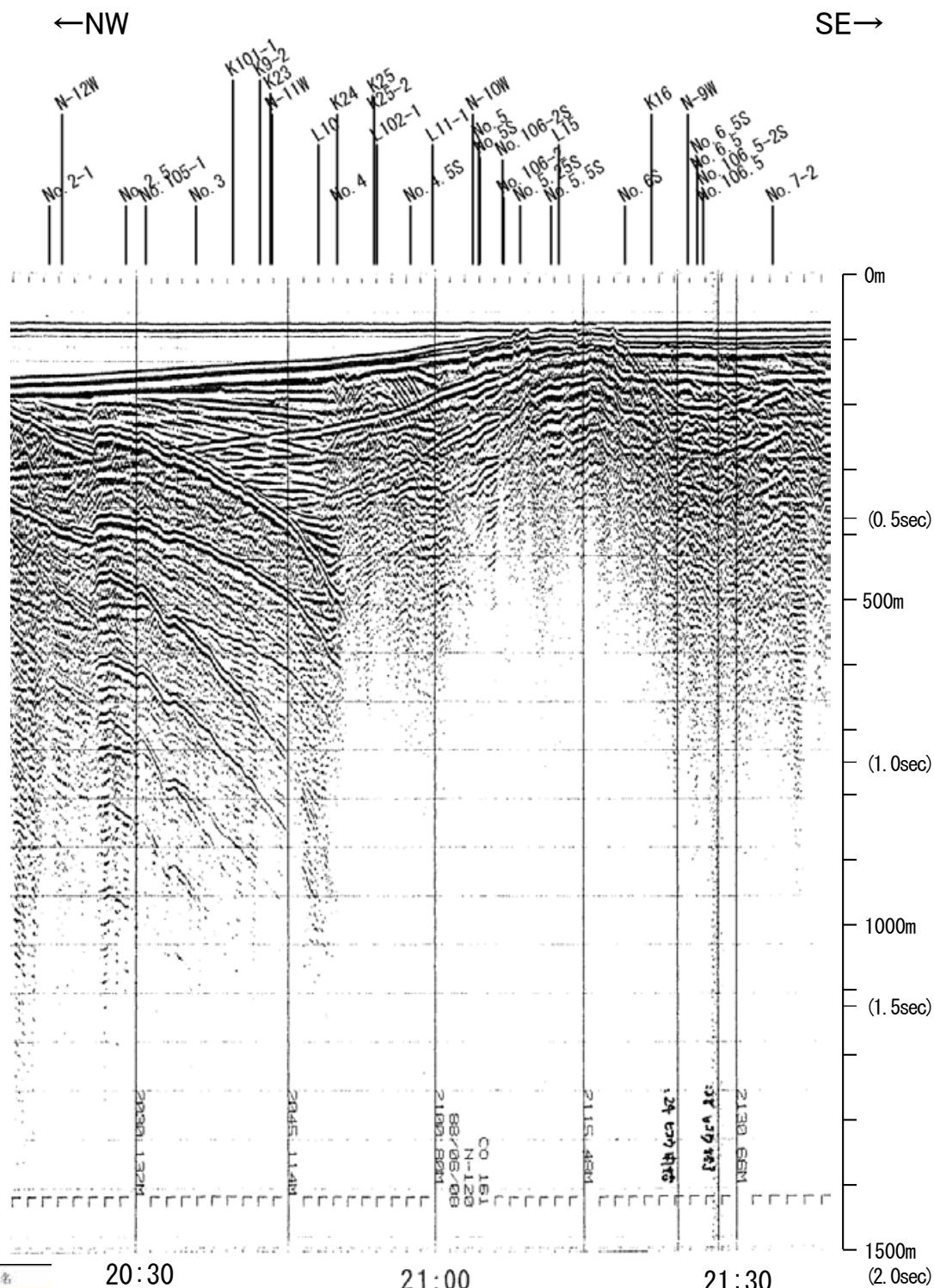


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
新第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	

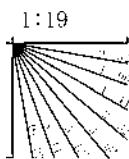


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-120

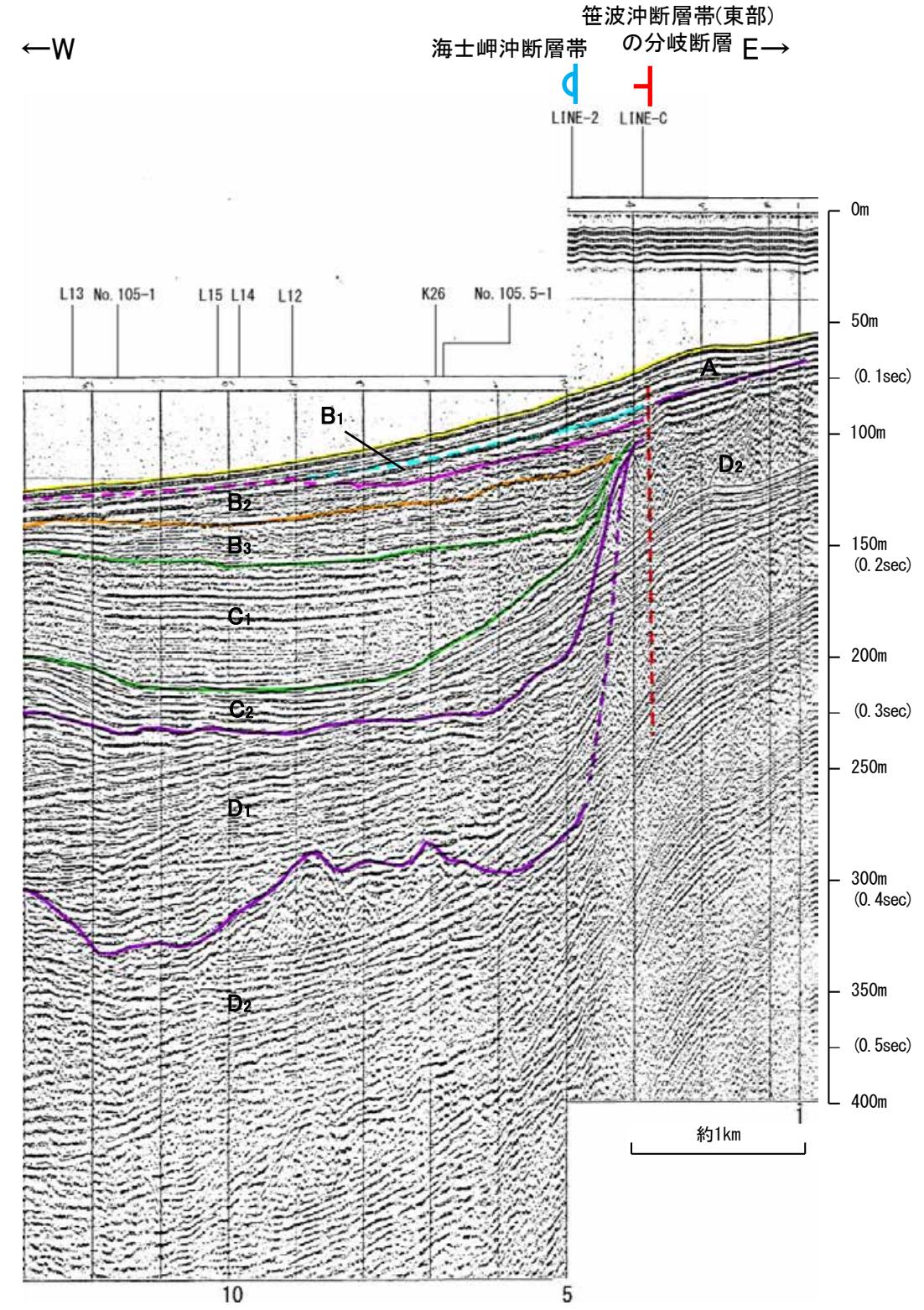
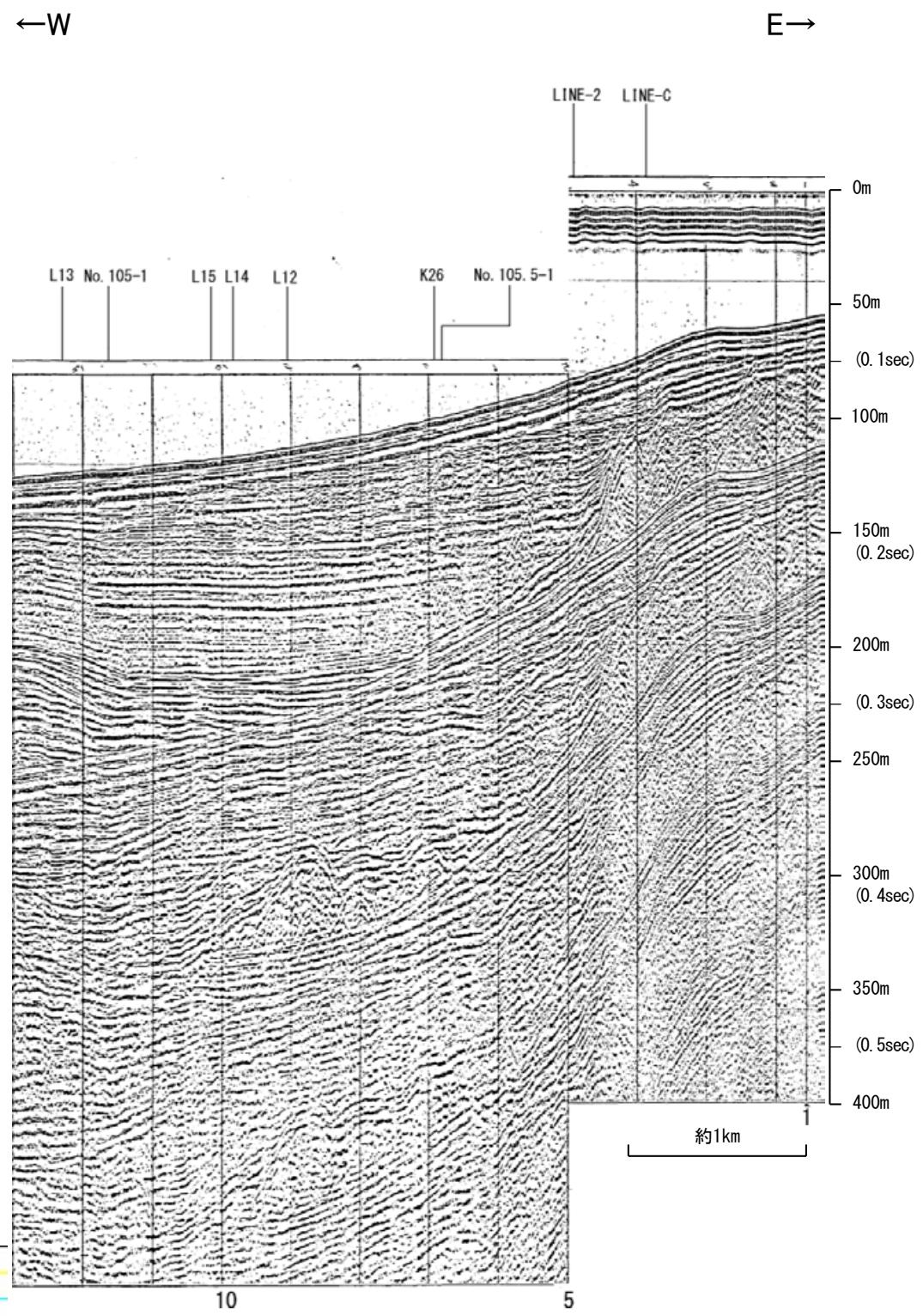


地質時代	地層名	
第四紀	更新世 後期	A層
	更新世 中期	B層
	更新世 前期	B層
		B層
第三紀	C層	
	C層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



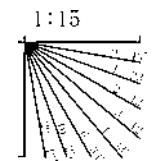
・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.5

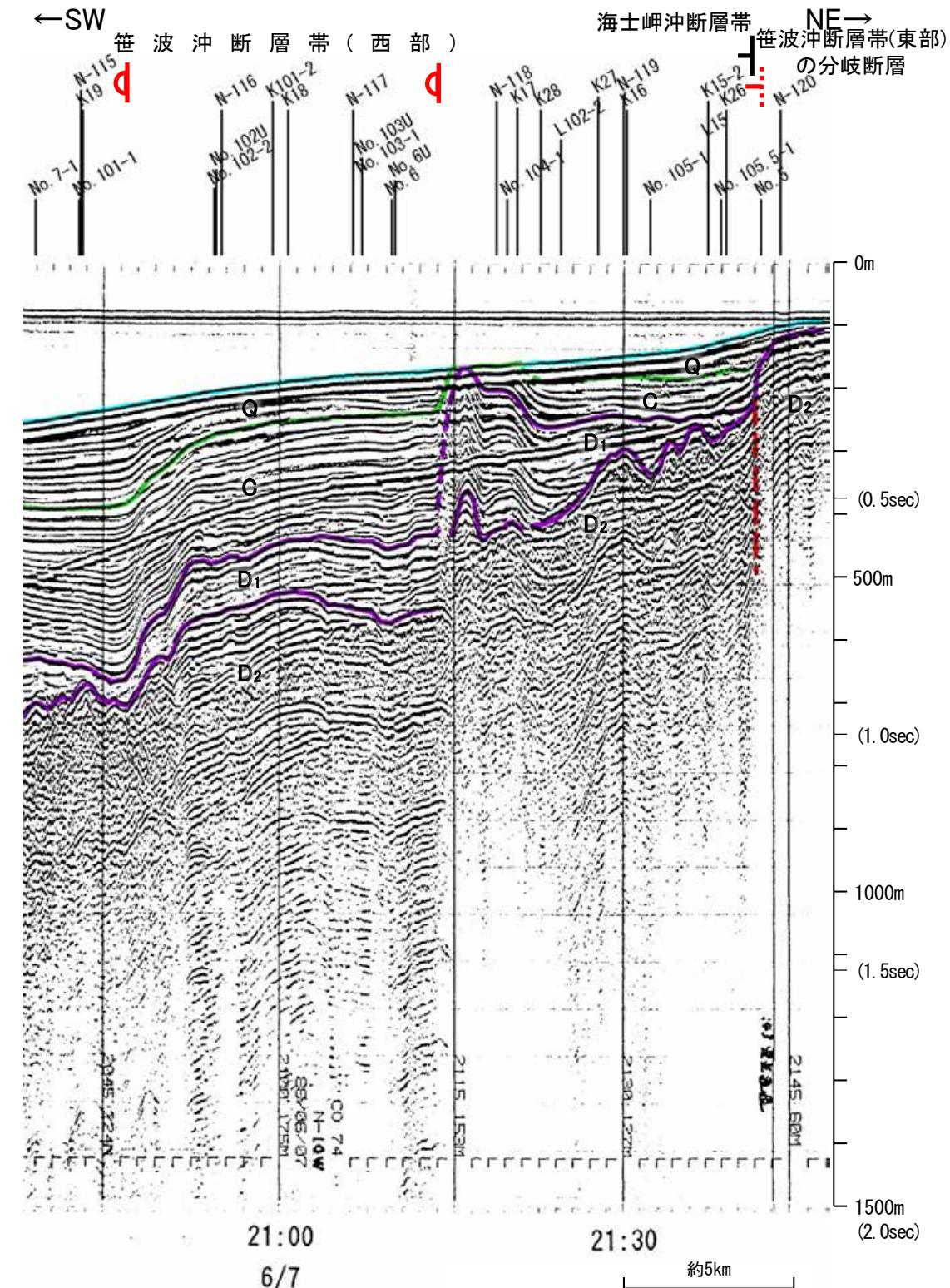
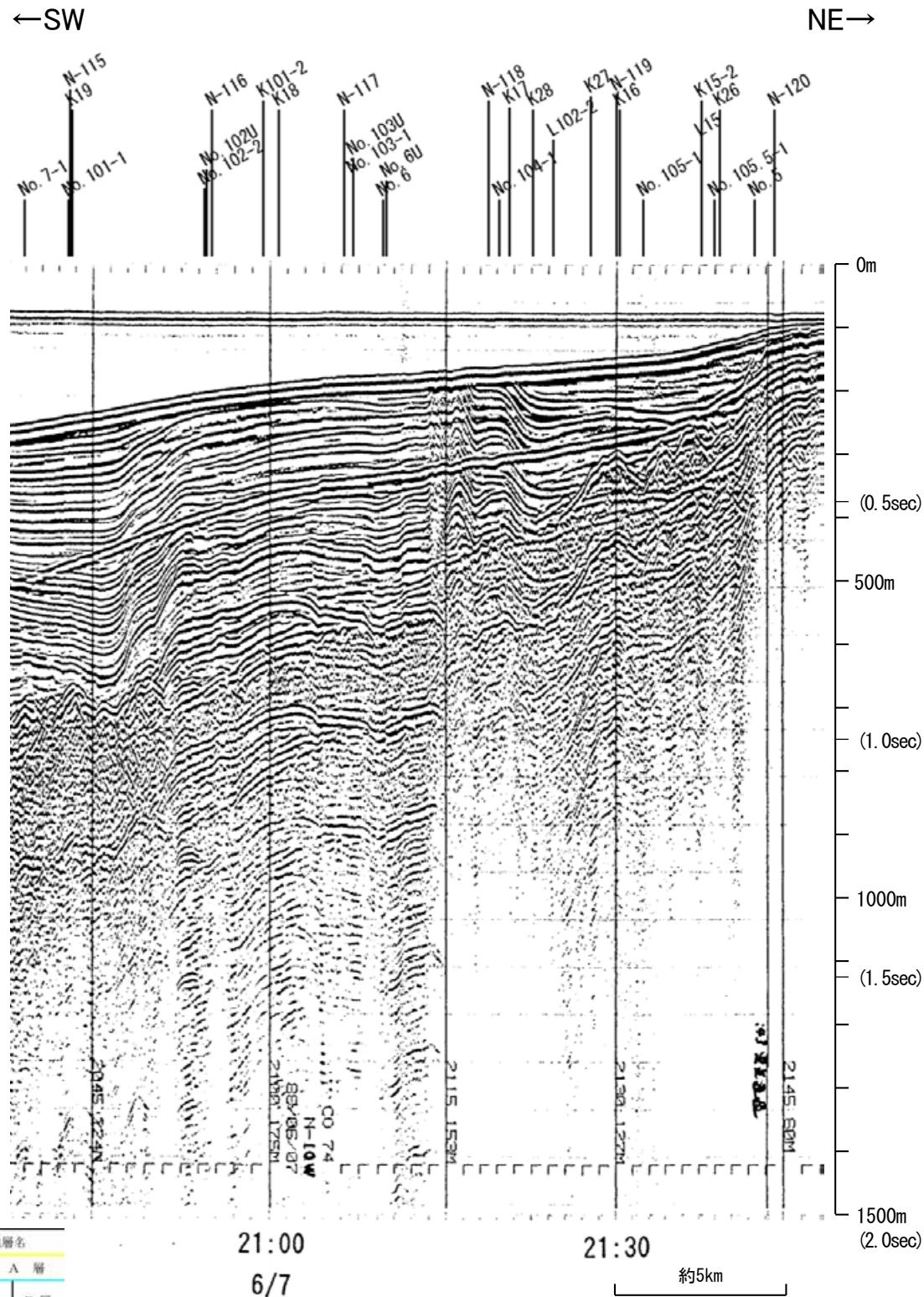


笹波沖断層帯(東部)
 海士岬沖断層帯 の分岐断層 E→

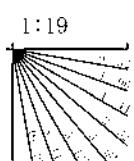
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世		C ₂ 層	
		D ₁ 層	
古第三紀	D ₂ 層		
先第三紀	D ₂ 層		



地質調査所エアガン N-10W

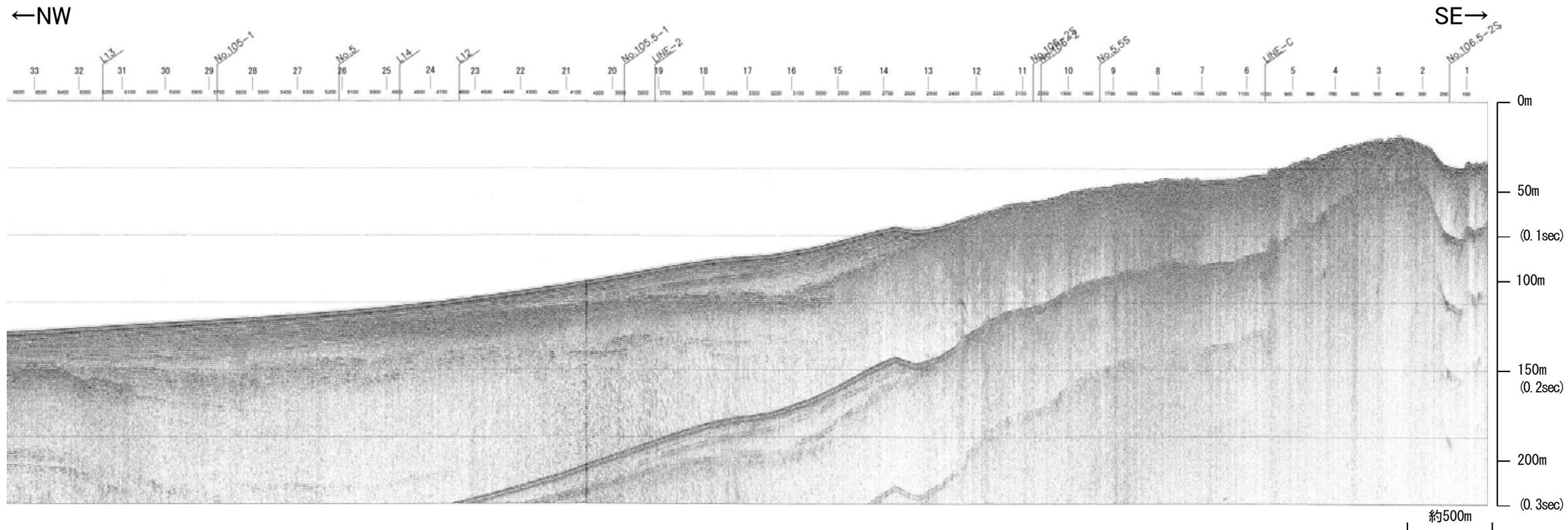


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世 中期	B層
	更新世 前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

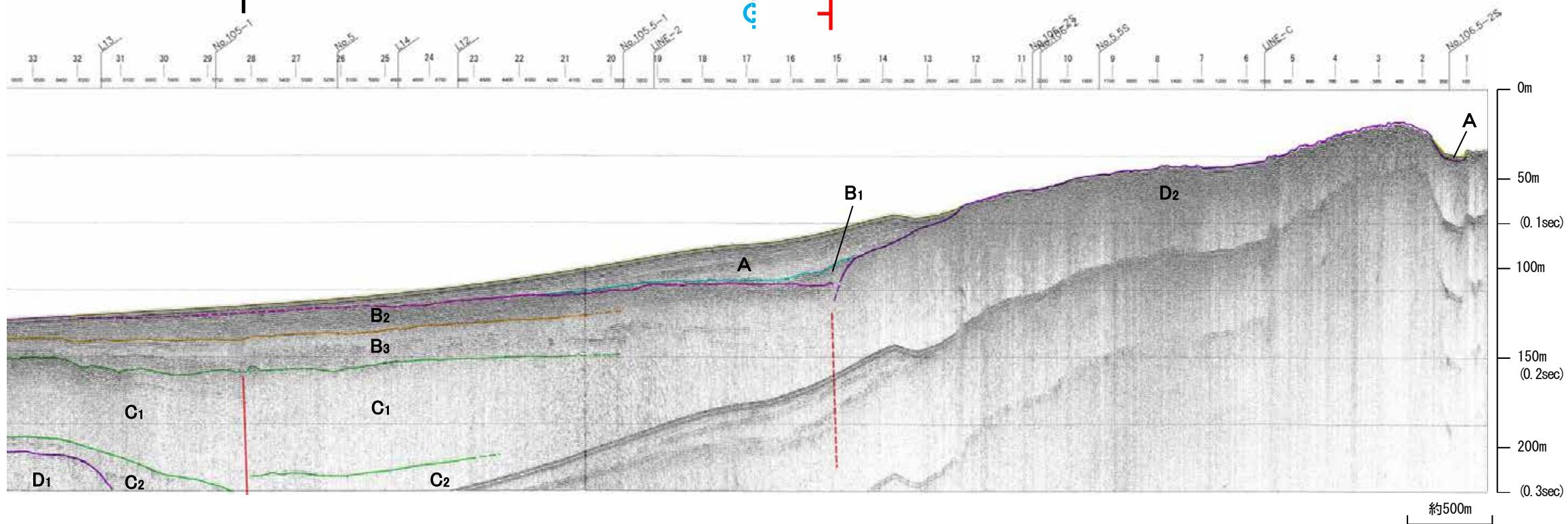
産総研ブーマー L15



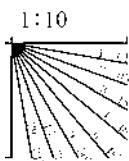
笹波沖断層帯(東部)

海士岬沖断層帯

笹波沖断層帯(東部)
の分岐断層

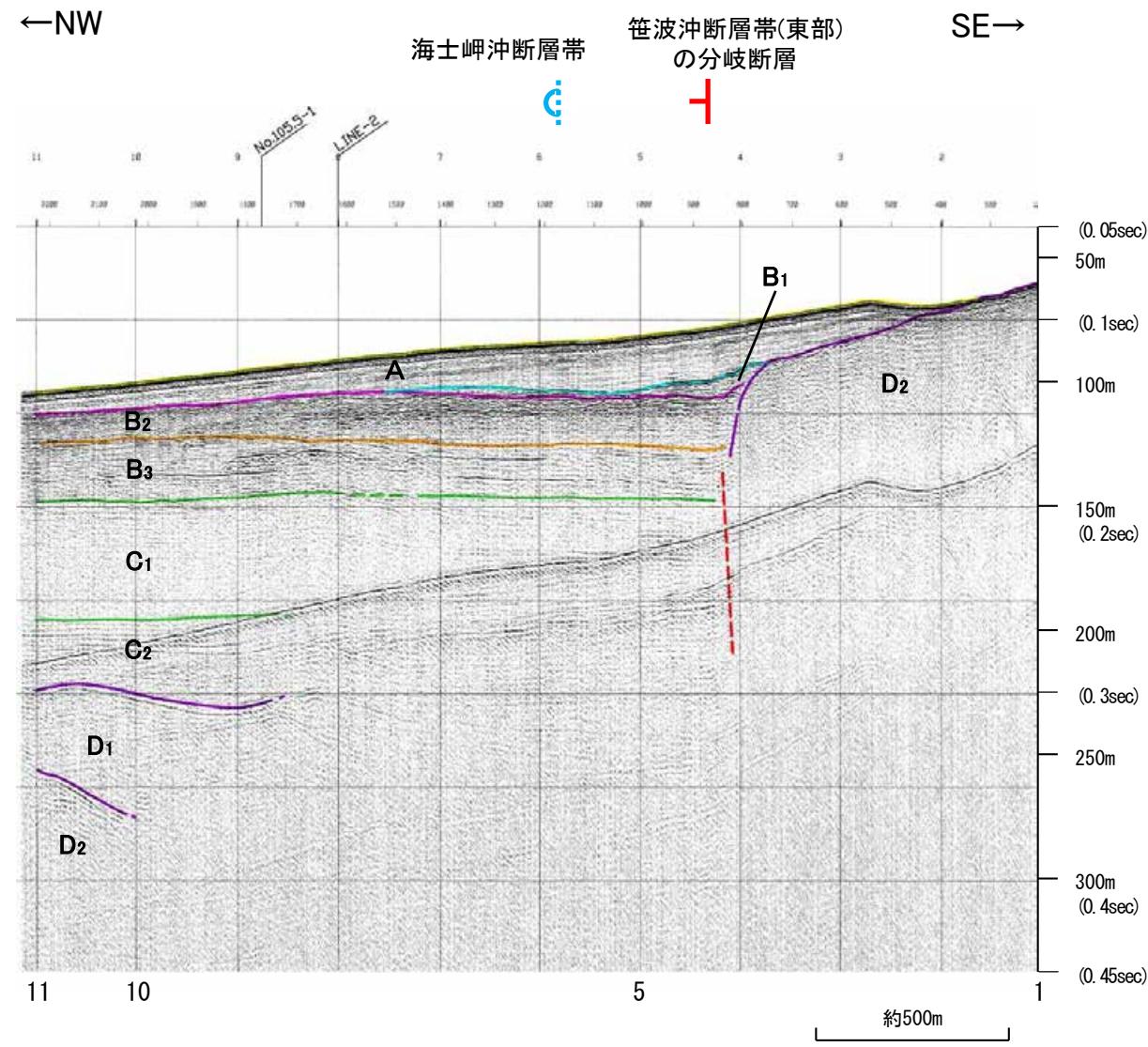
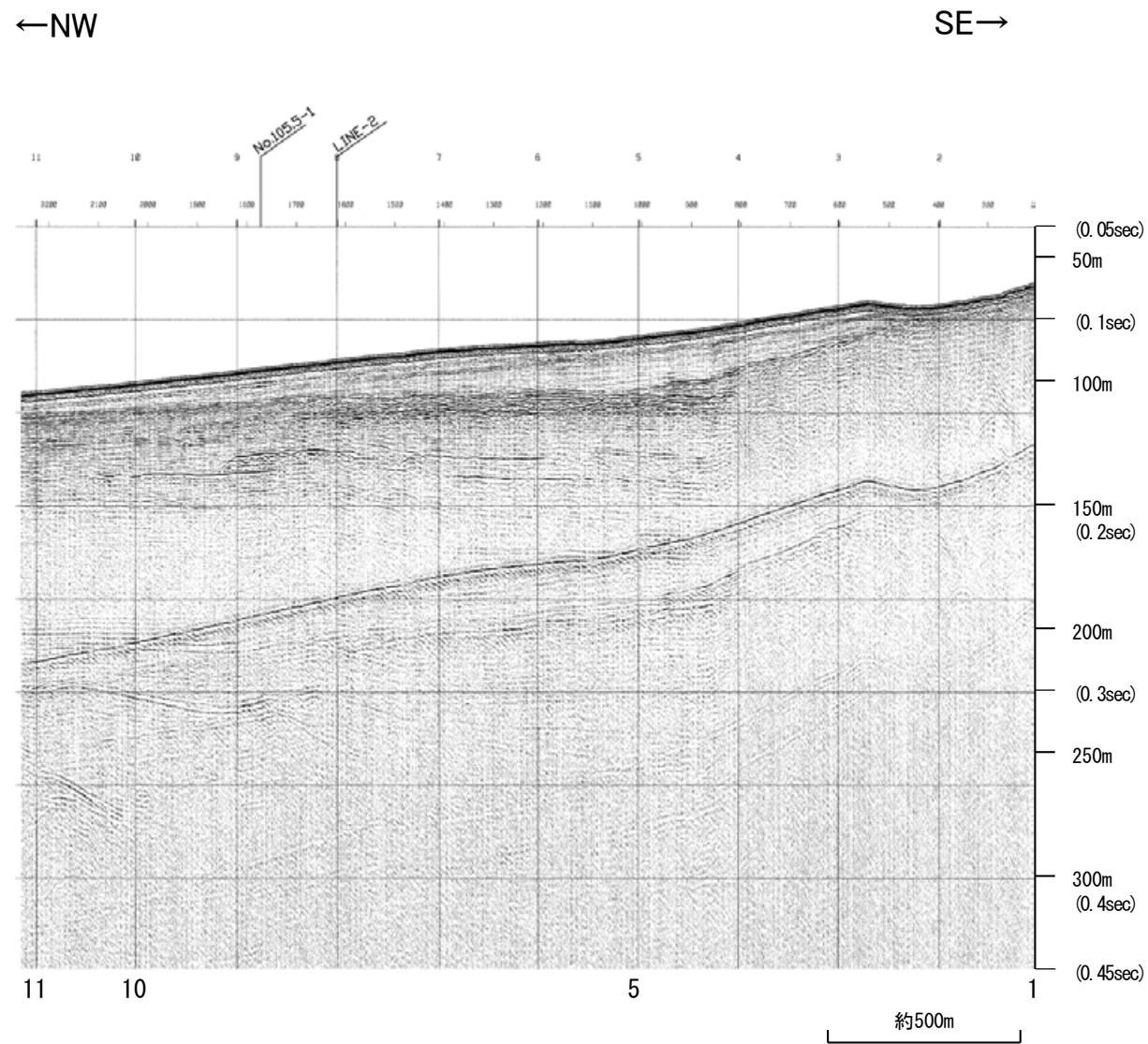


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

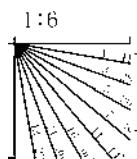


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地震研ブーマー K15-2

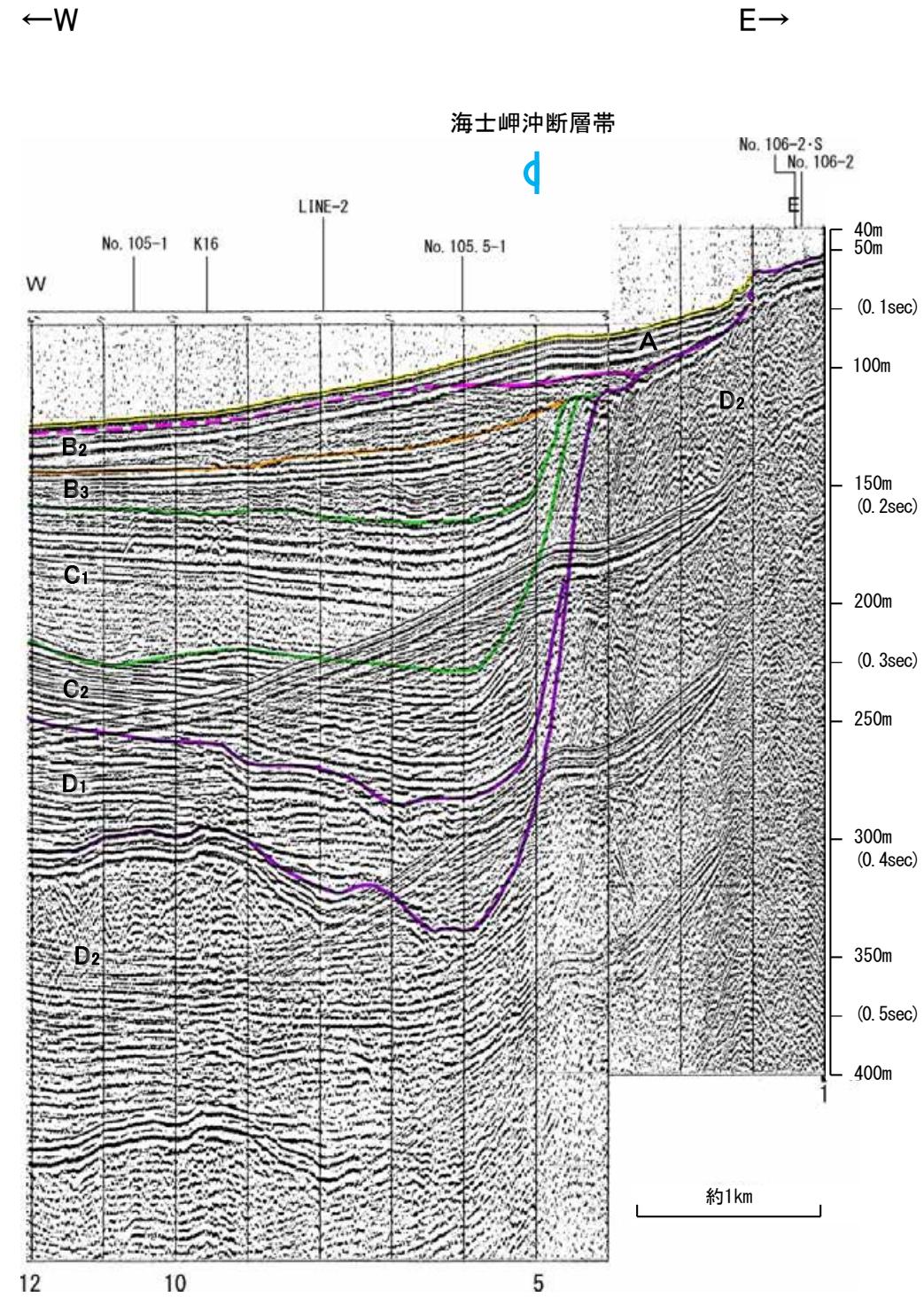
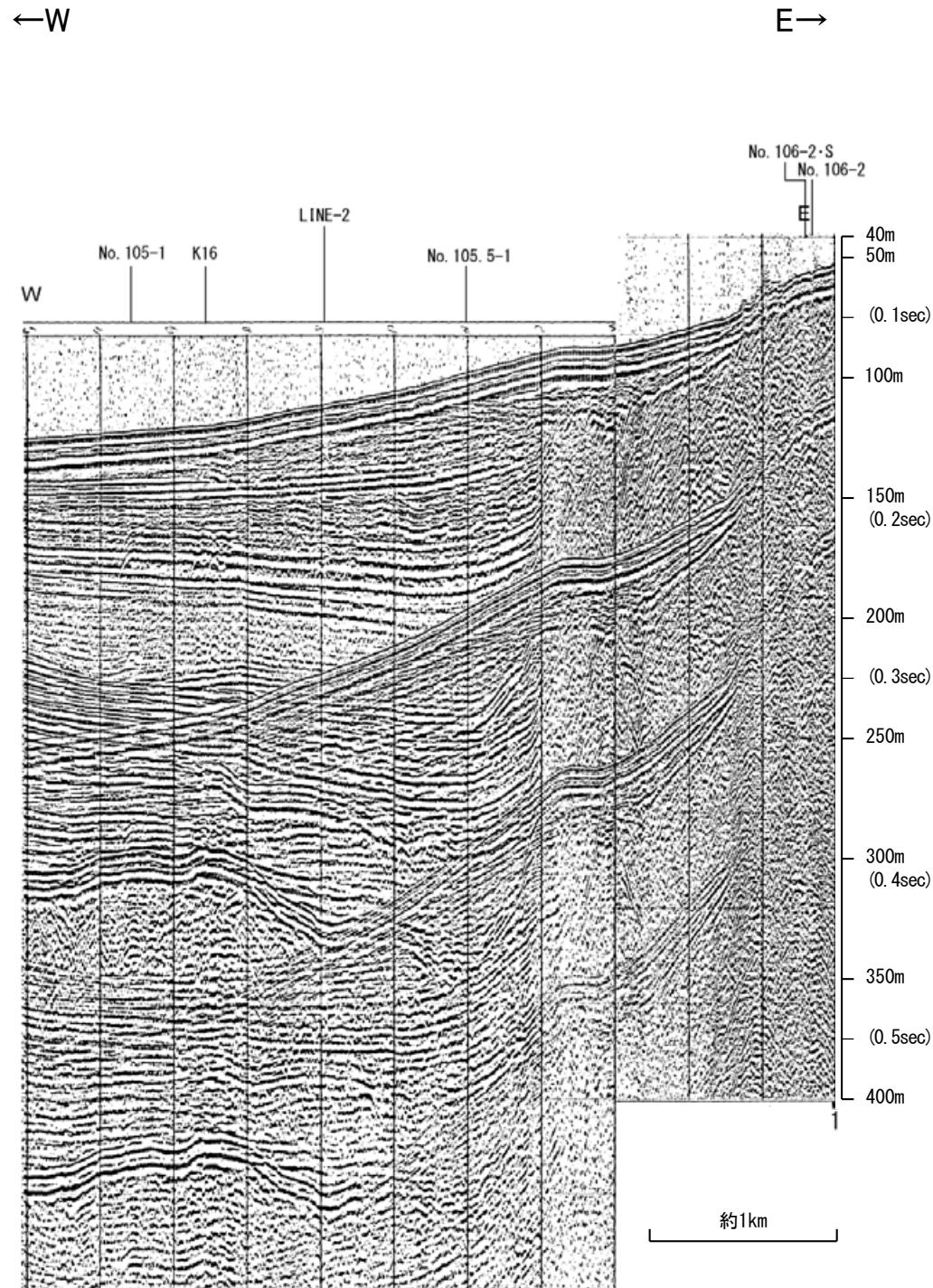


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
古第三紀		D ₁ 層	
	先第三紀	D ₂ 層	

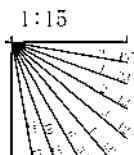


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.5.5



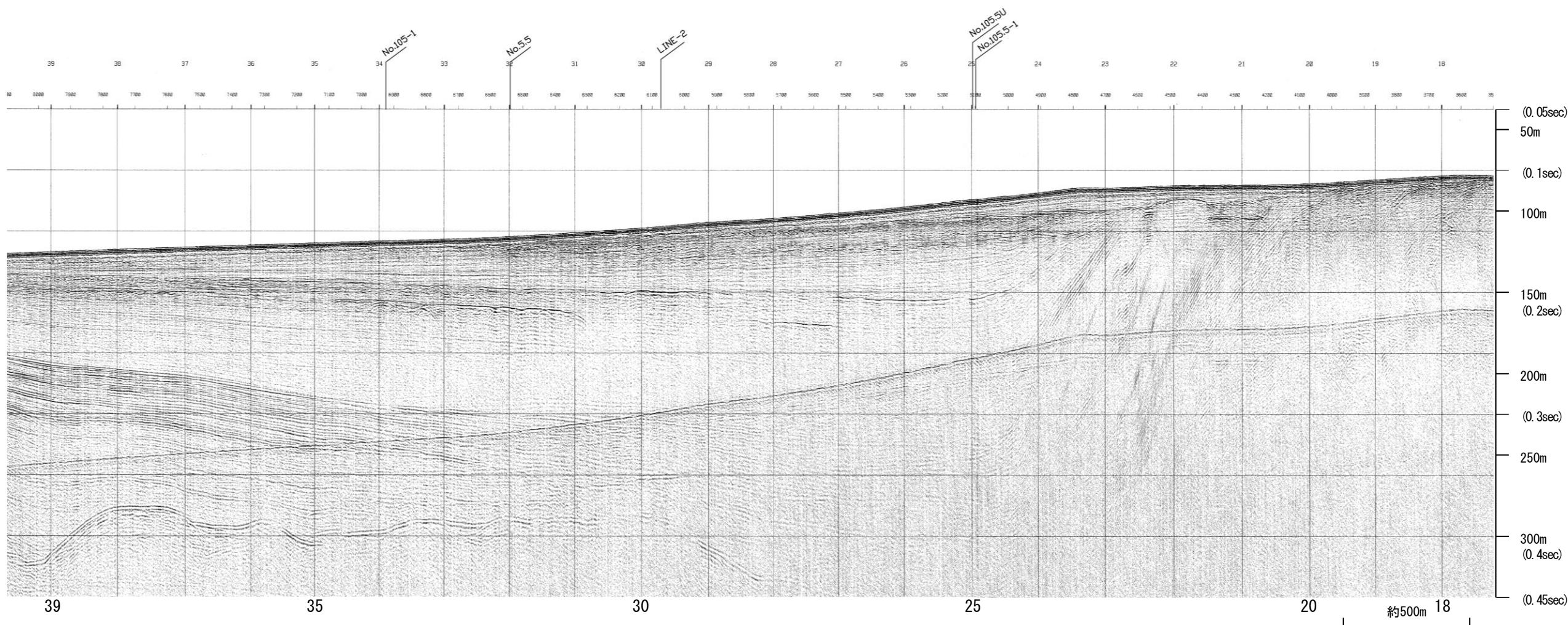
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
		前期	B ₂ 層
	第三紀	鮮新世	C層
中新世		C ₂ 層	
		D層	
古第三紀	D層		
先第三紀	D層		



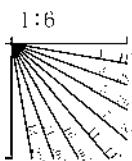
地震研ブーマー K16

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層	
第三紀	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀		D ₄ 層	

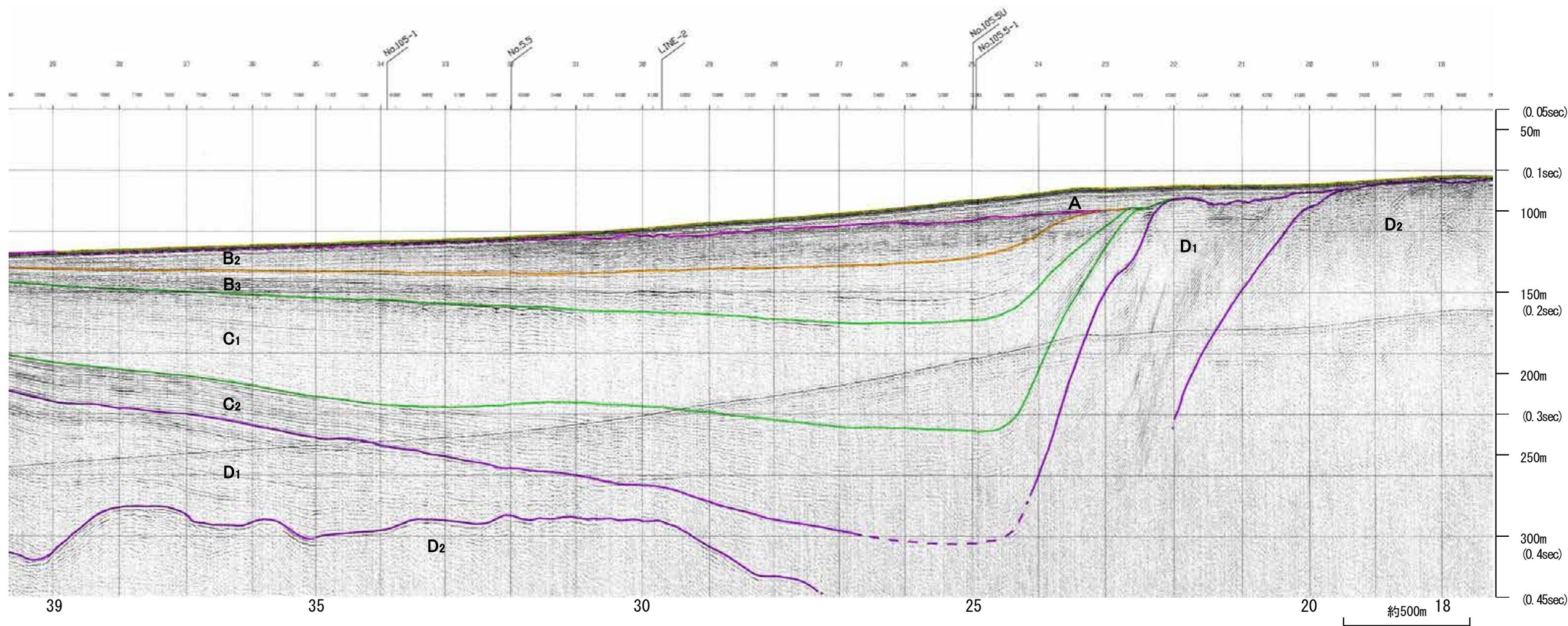


地震研ブーマー K16

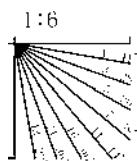
←NW

SE→

海士岬沖断層帯

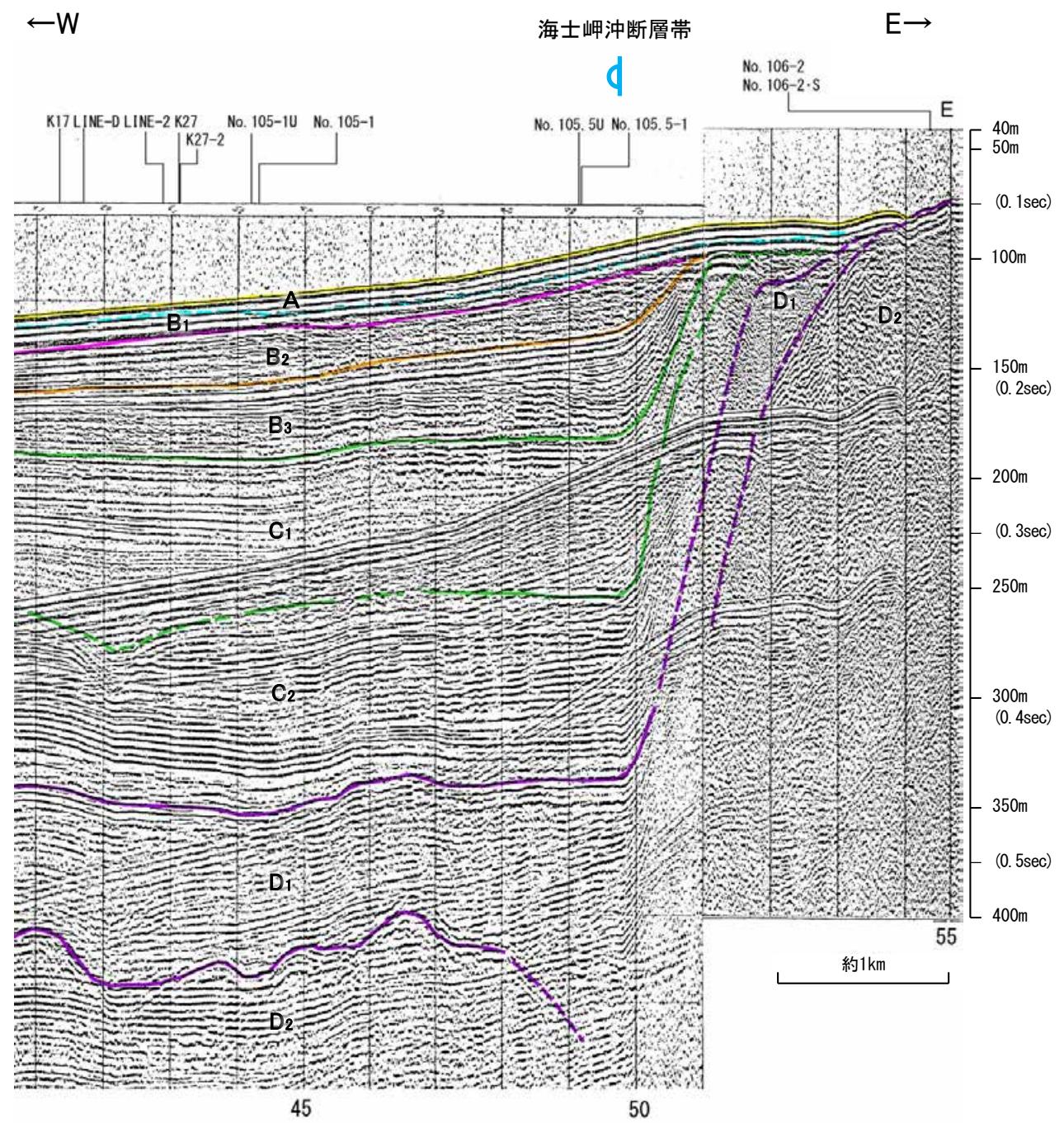
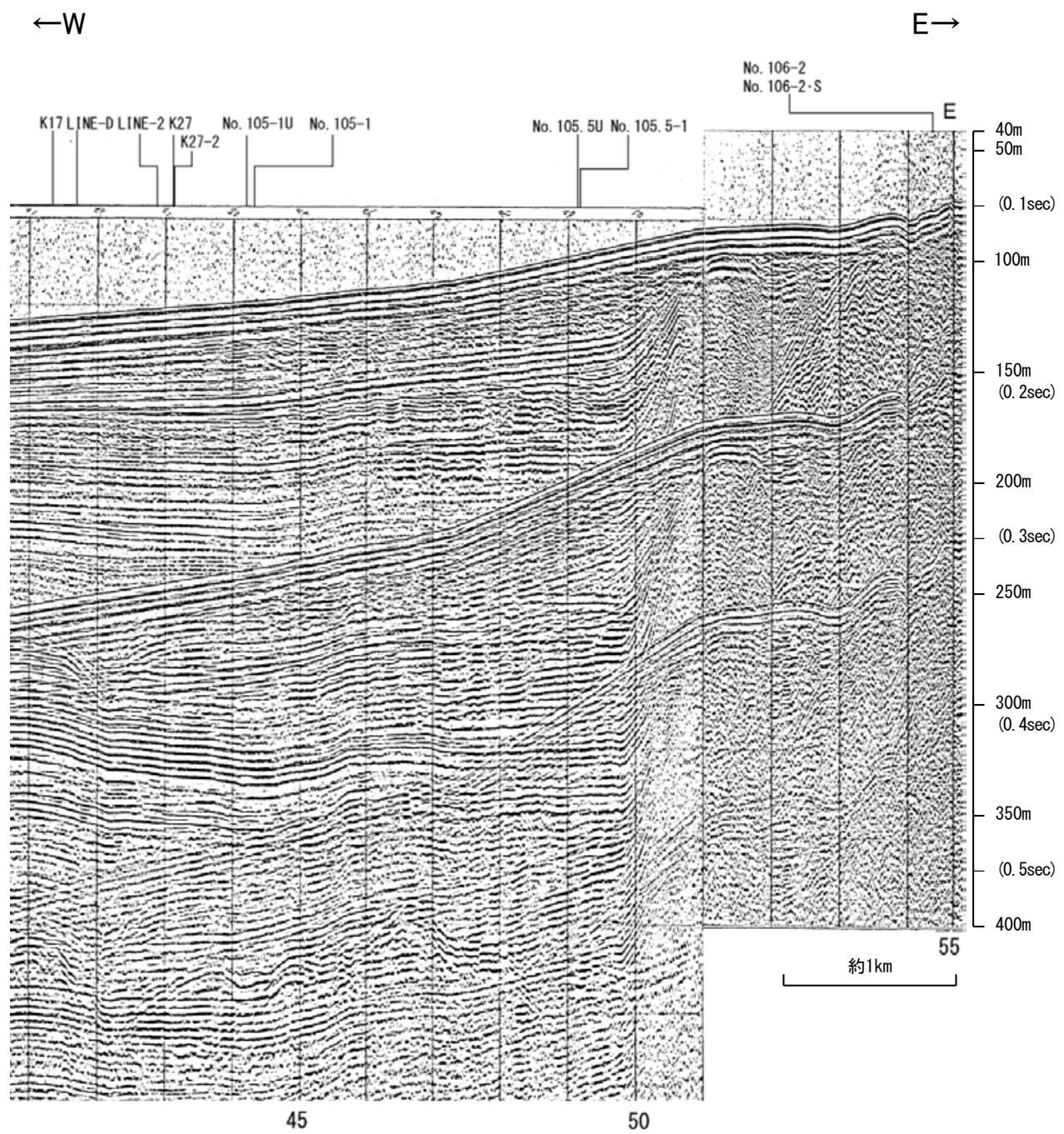


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
		前期	B ₂ 層
	第三紀	鮮新世	C層
中新世		C ₂ 層	
		D層	
古第三紀	D層		
先第三紀	D層		

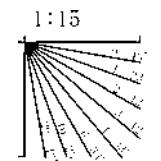


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.6



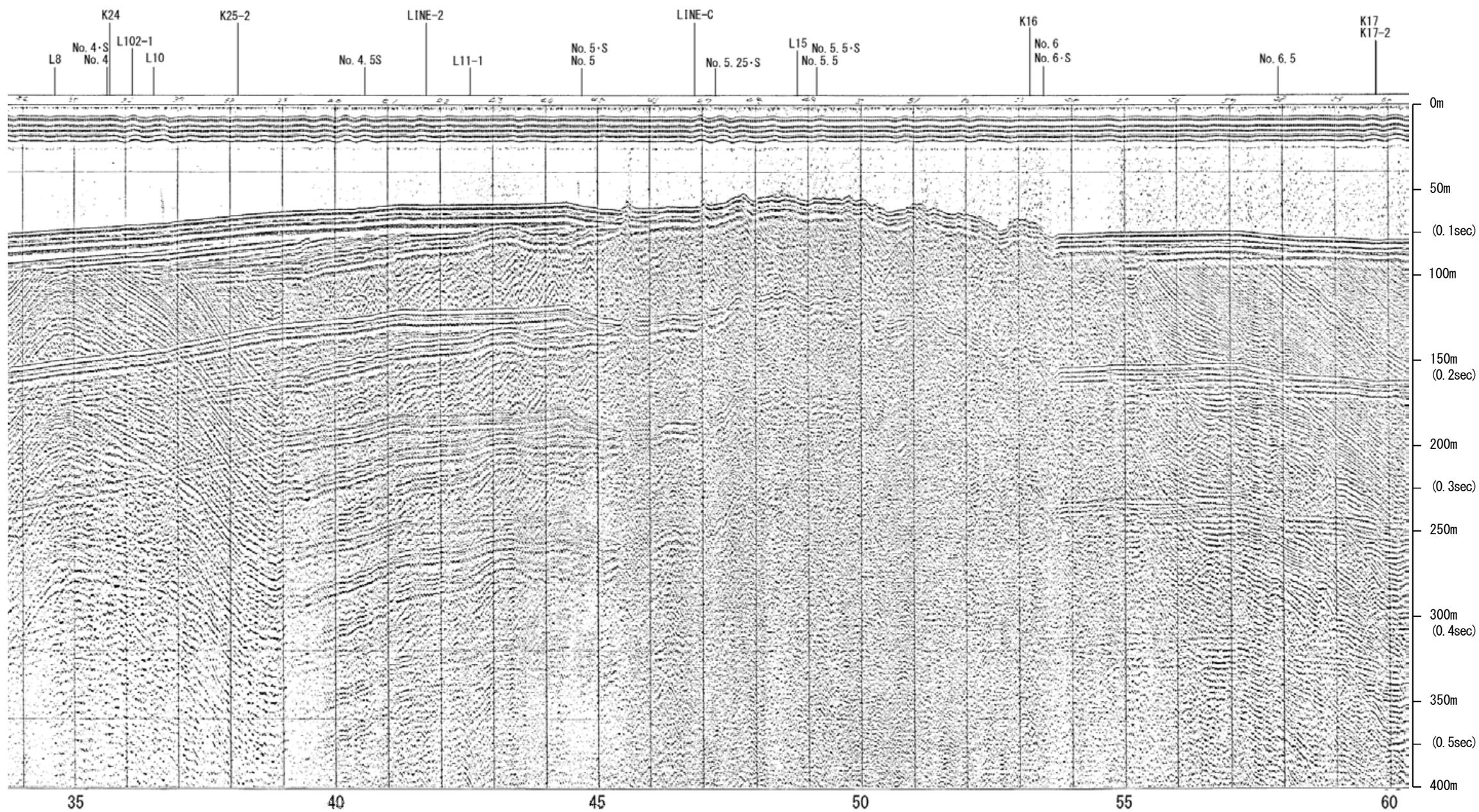
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世		C ₂ 層	
		D ₁ 層	
古第三紀	D ₂ 層		
先第三紀	D ₂ 層		



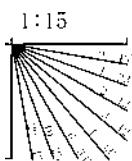
北陸電カスパーカー No.106-2

←N

S→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	

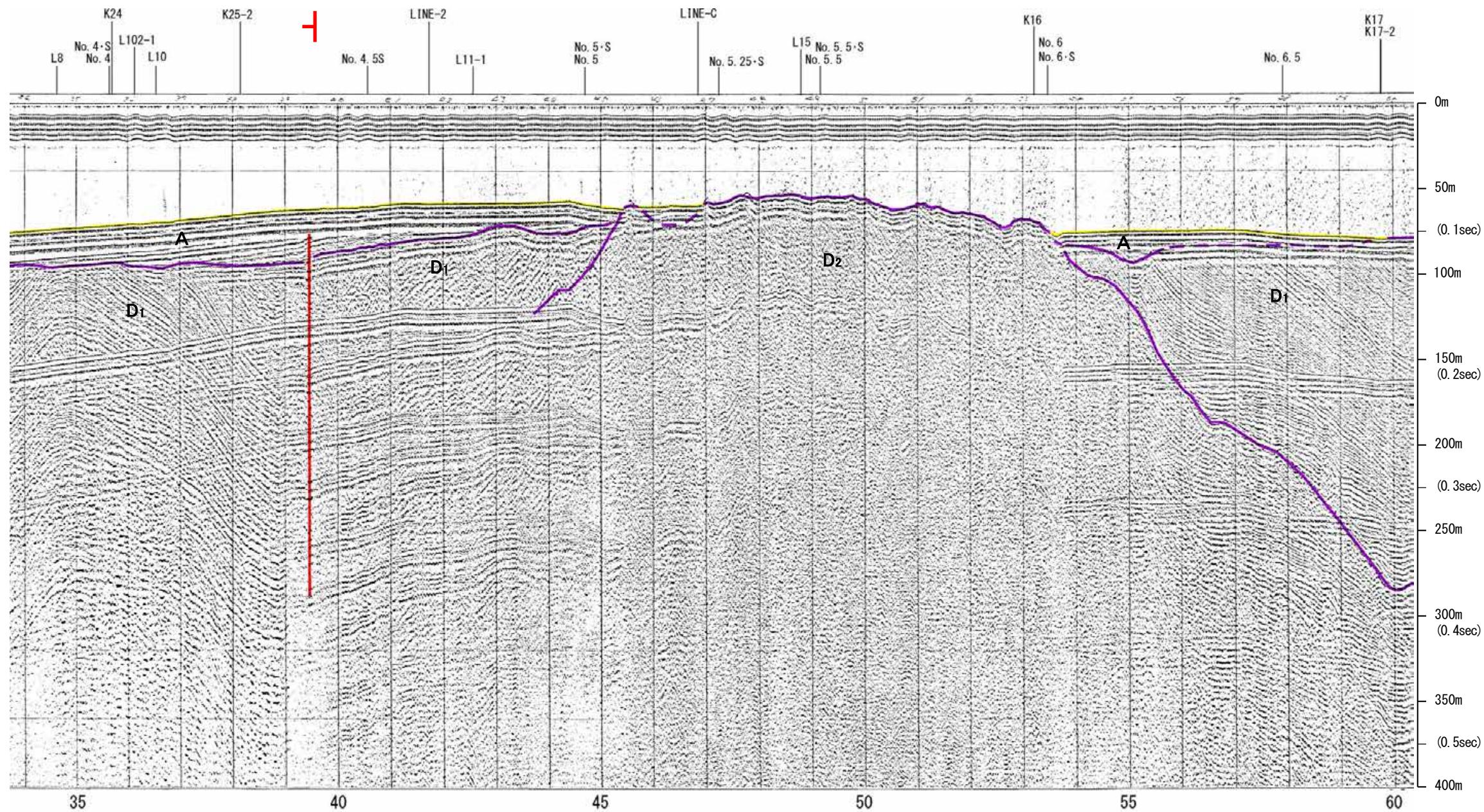


北陸電カスパーカー No.106-2

←N

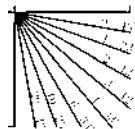
S→

笹波沖断層帯(東部)
の分岐断層

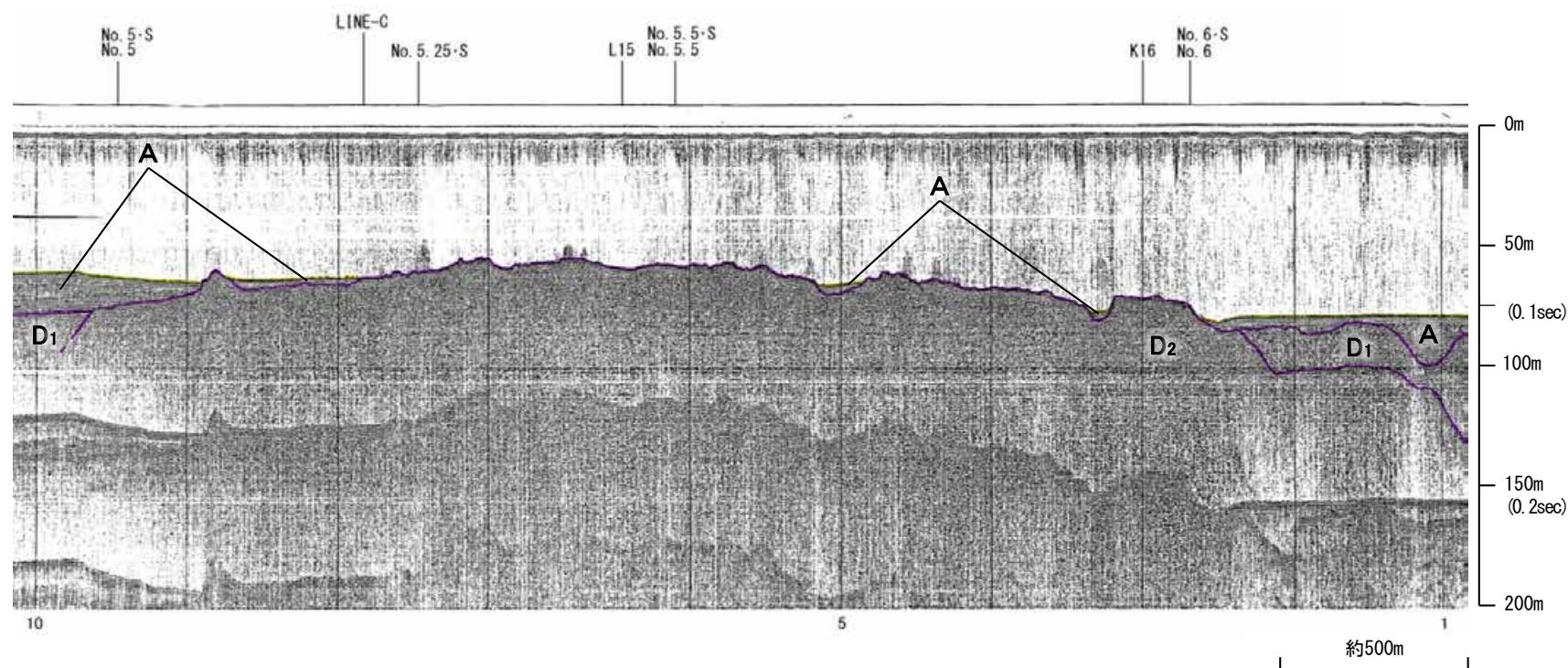
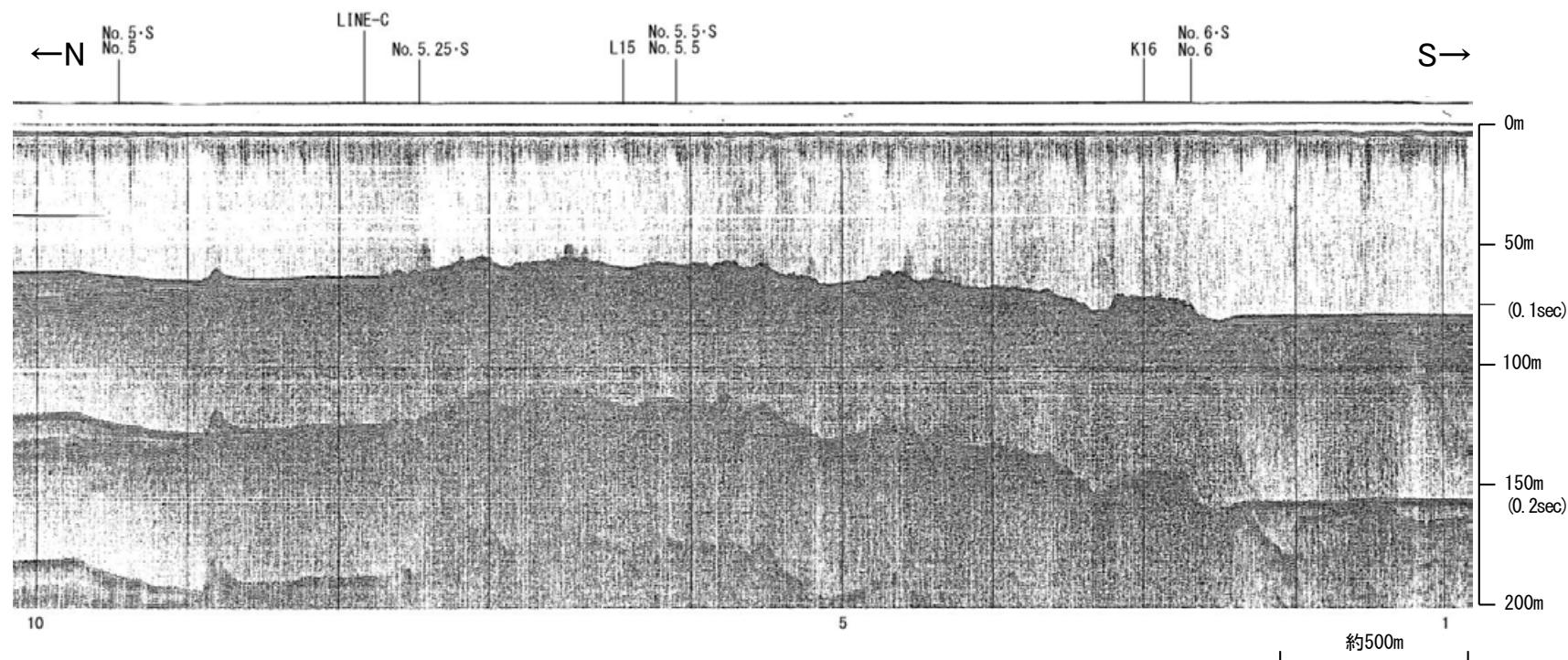


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	

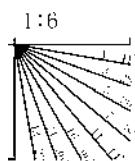
1:15



北陸電カスパーカー No.106-2・S



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
新第三紀	中新世	C ₁ 層	
	中新世	D ₁ 層	
古第三紀	D ₂ 層		
先第三紀	D ₃ 層		



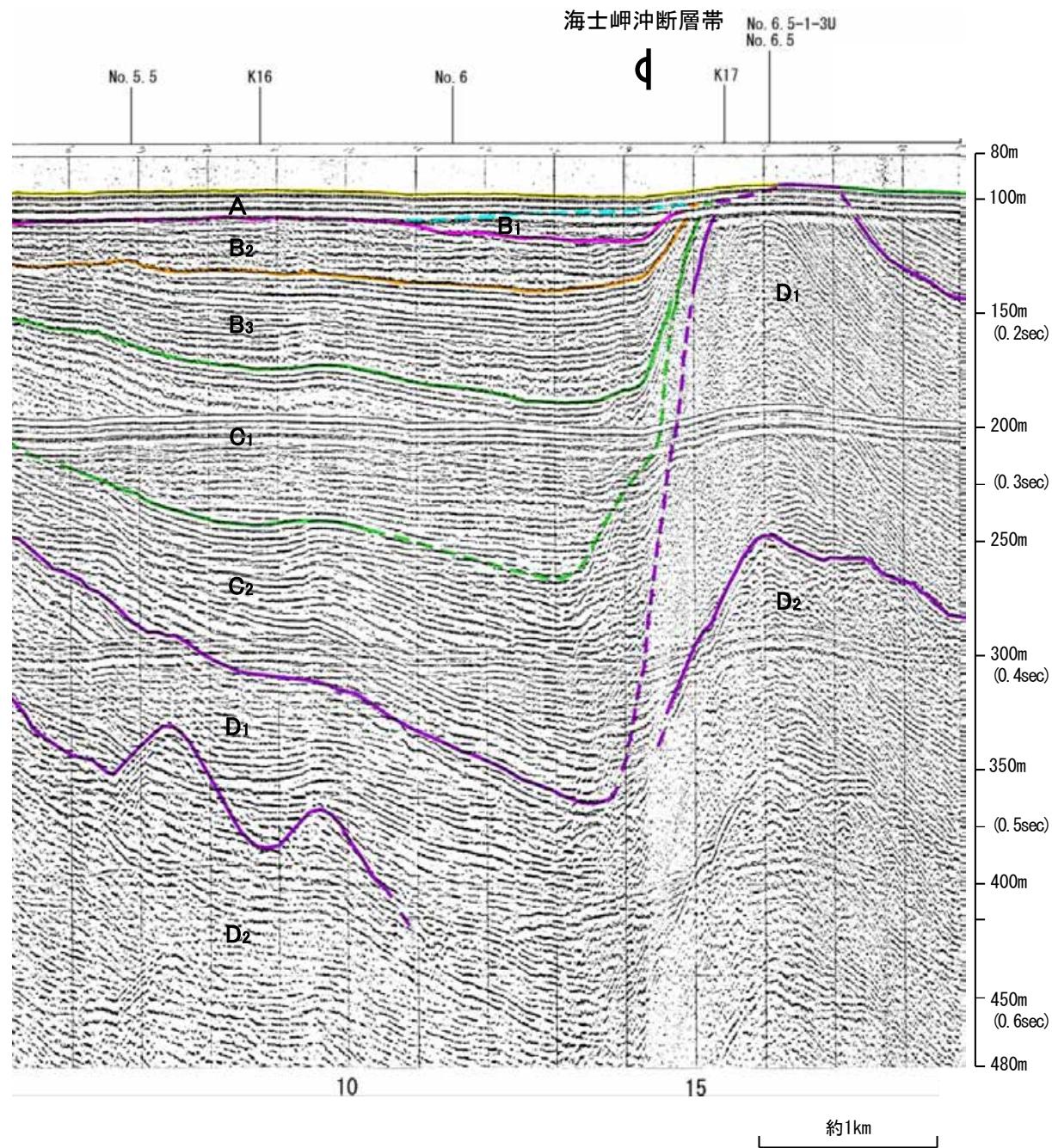
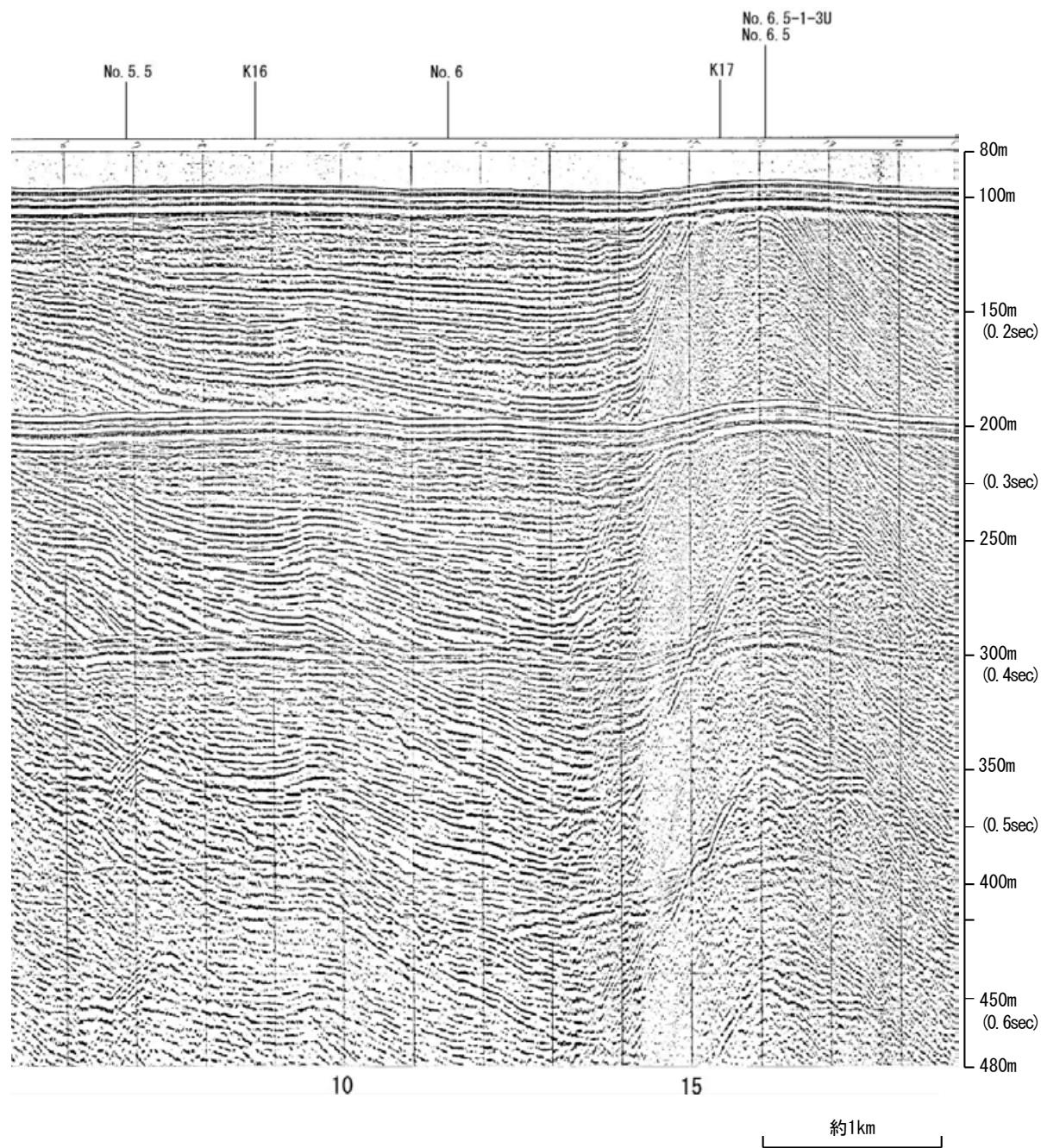
北陸電カスパーカー No.105.5-1

←N

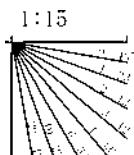
S→

←N

S→



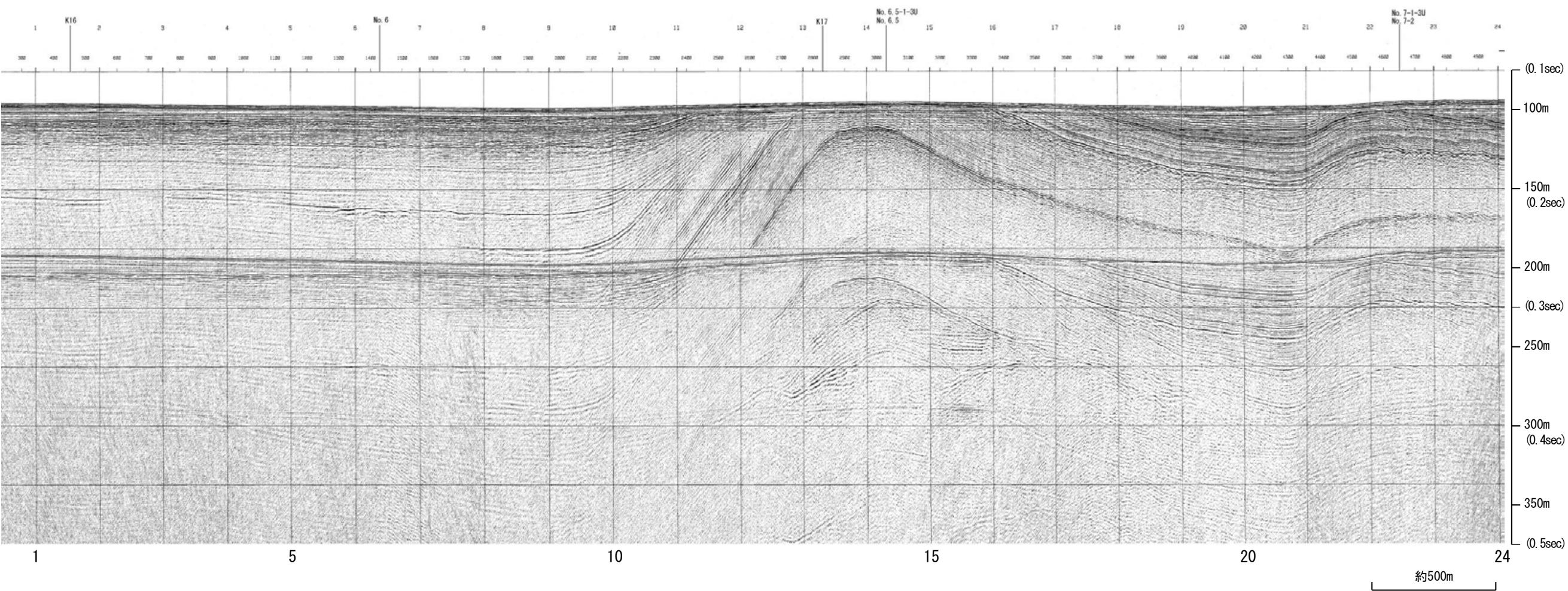
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₂ 層	



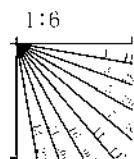
北陸電カブーマー No.105.5U

←N

S→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層	
第三紀	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀		D ₄ 層	



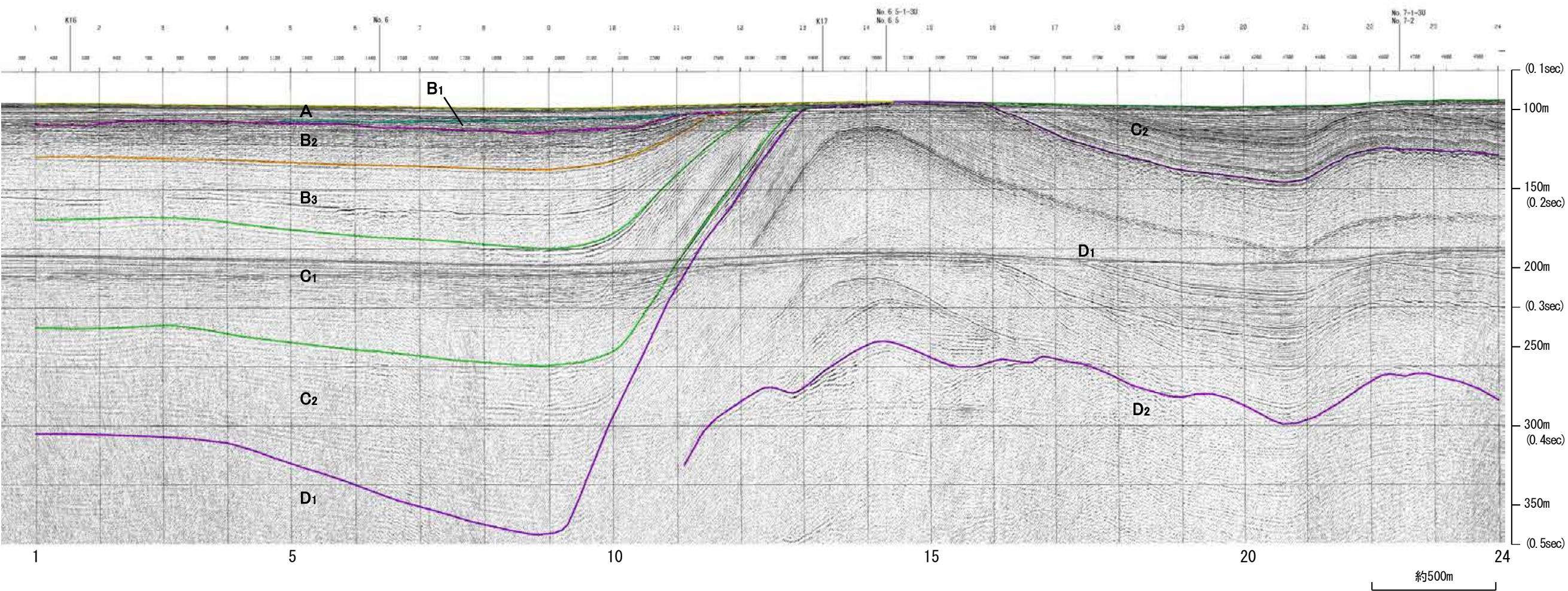
北陸電カブーマー No.105.5U

←N

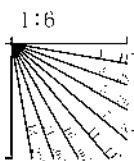
S→

海士岬沖断層帯

φ



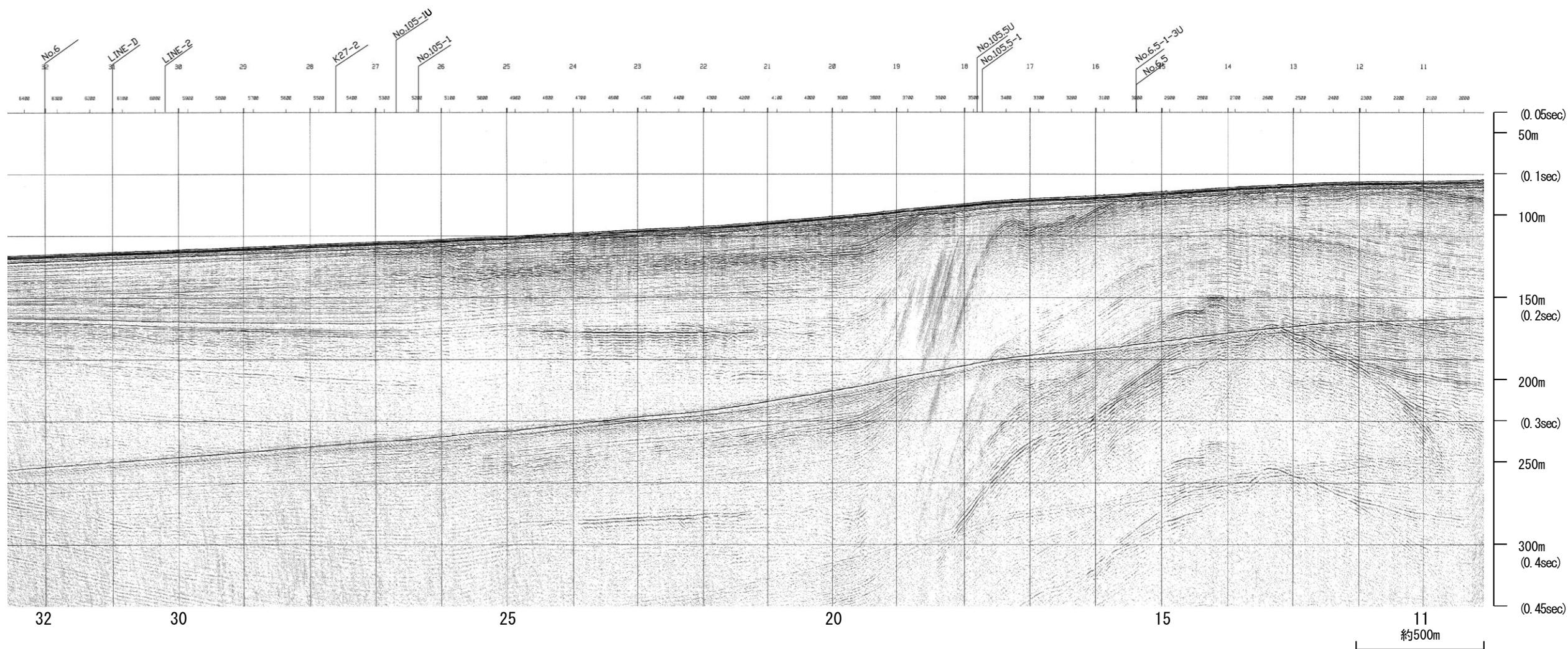
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



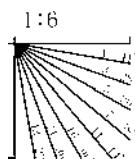
地震研ブーマー K17

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層	
新第三紀	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀		D ₄ 層	

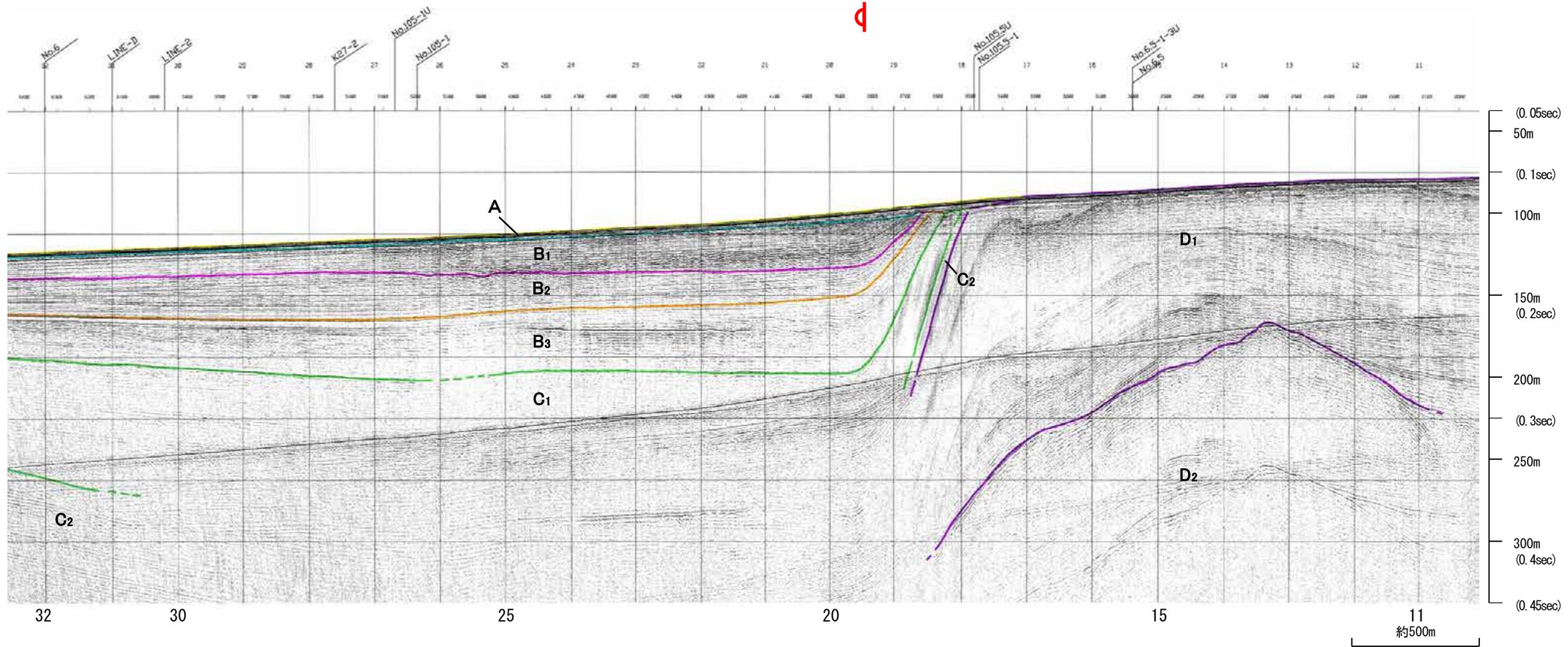


地震研ブーマー K17

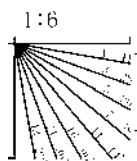
←NW

海士岬沖断層帯

SE→

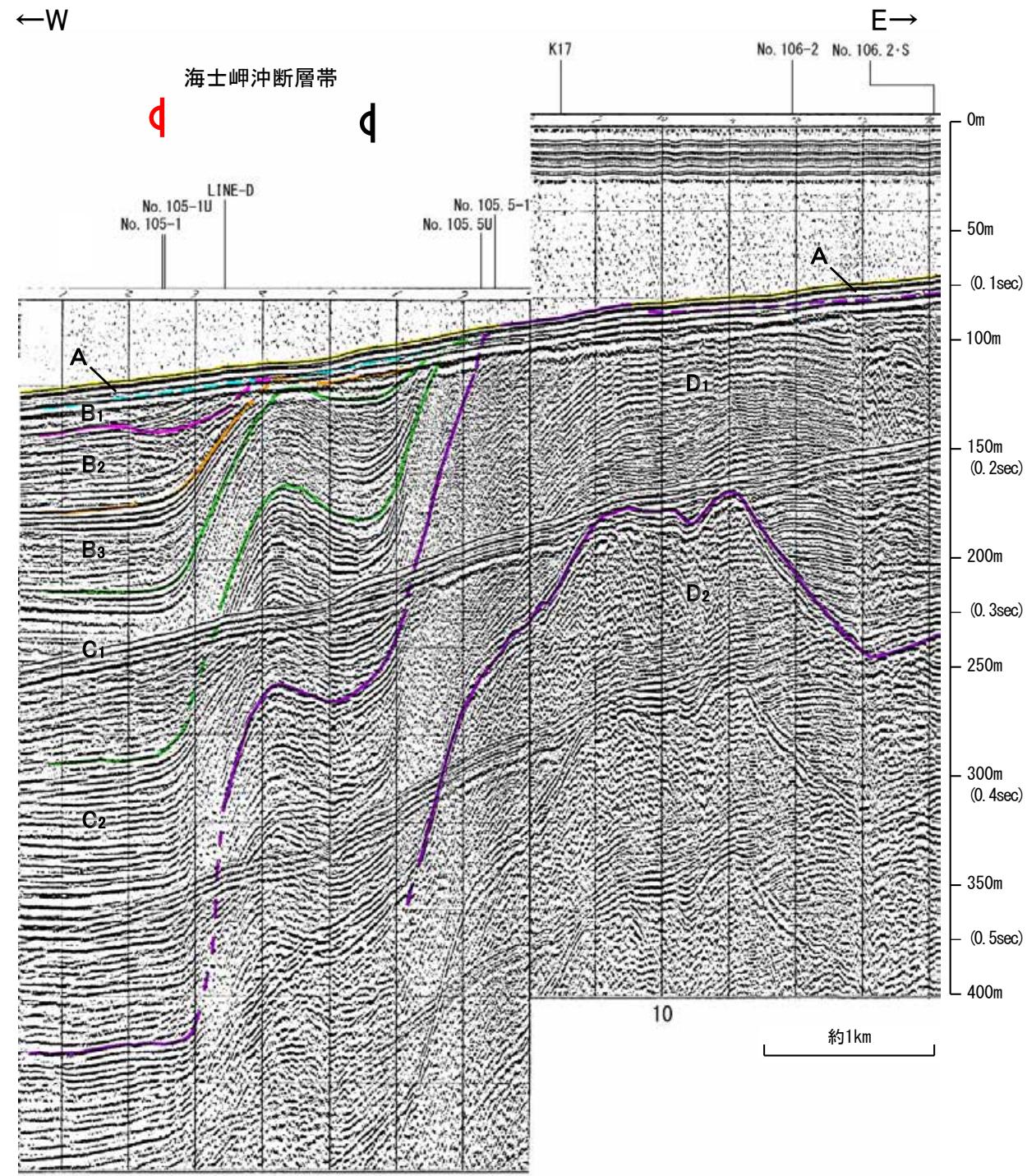
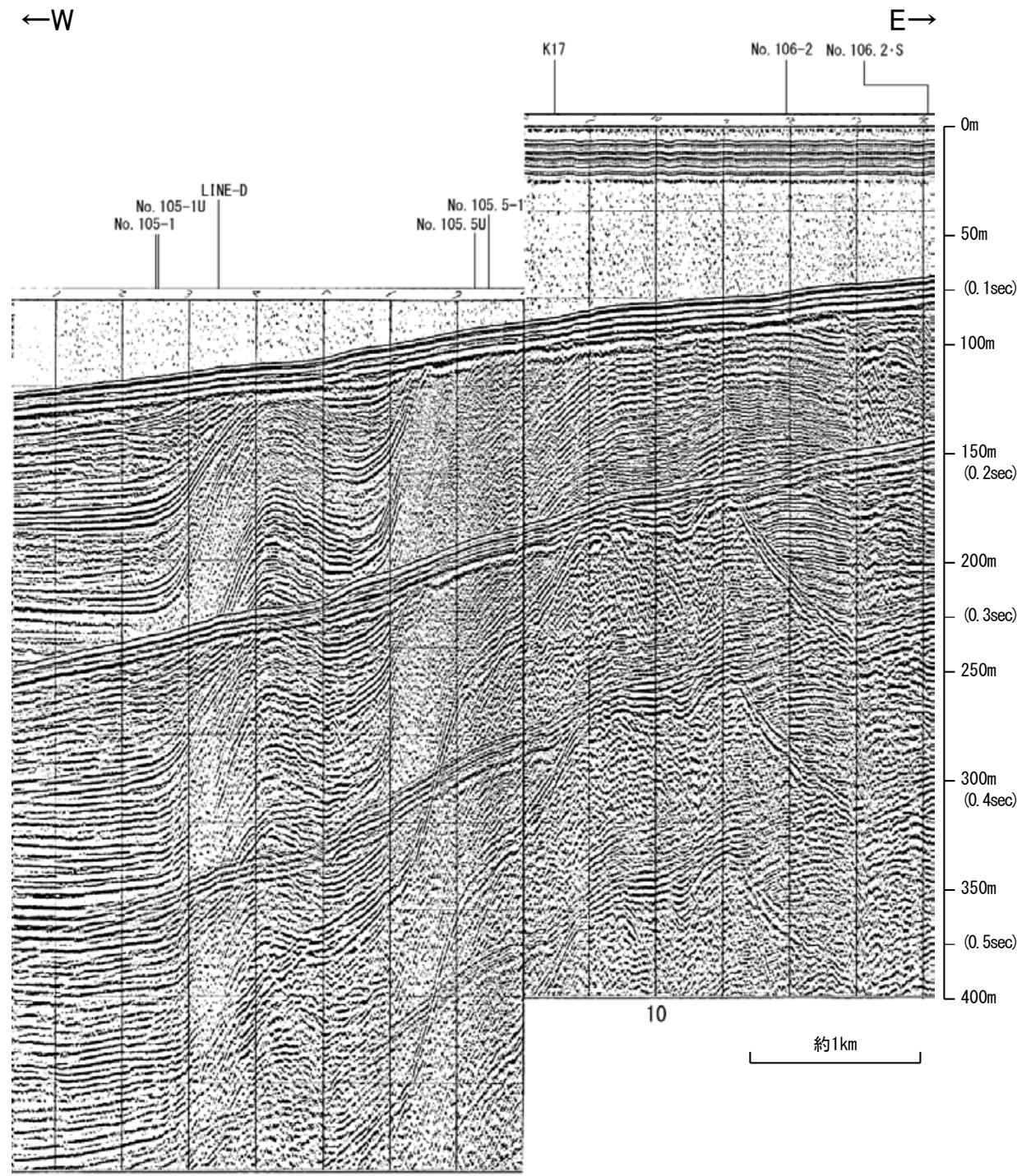


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C ₁ 層	
第三紀	中新世	C ₂ 層	
	古第三紀	D ₁ 層	
		先第三紀	D ₂ 層

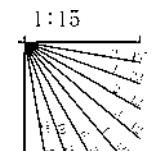


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.6.5



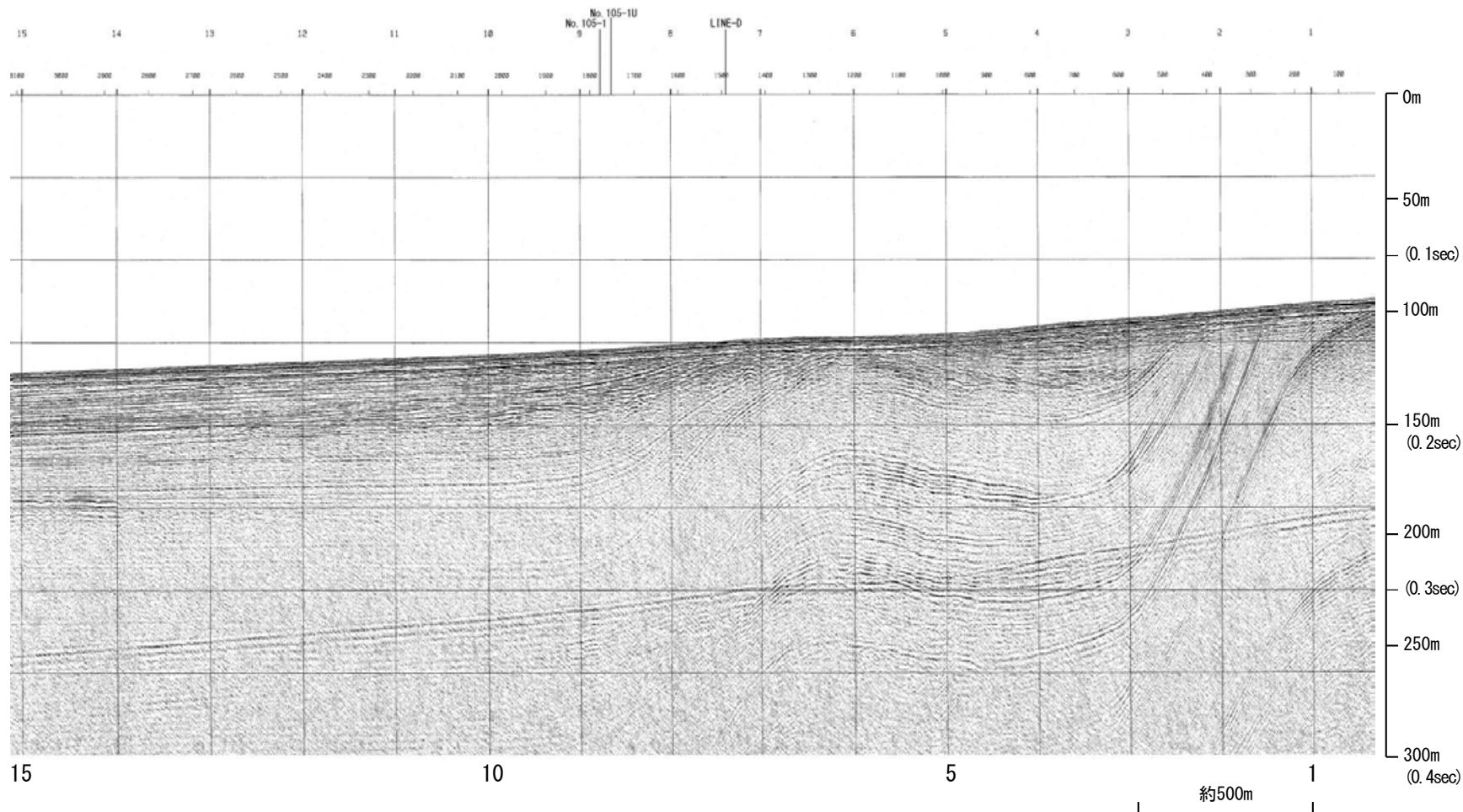
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D層	



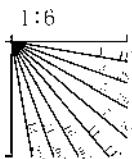
北陸電力ブーマー No.6.5-1-2U

←W

E→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層	
新第三紀	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀		D ₄ 層	



北陸電力ブーマー No.6.5-1-2U

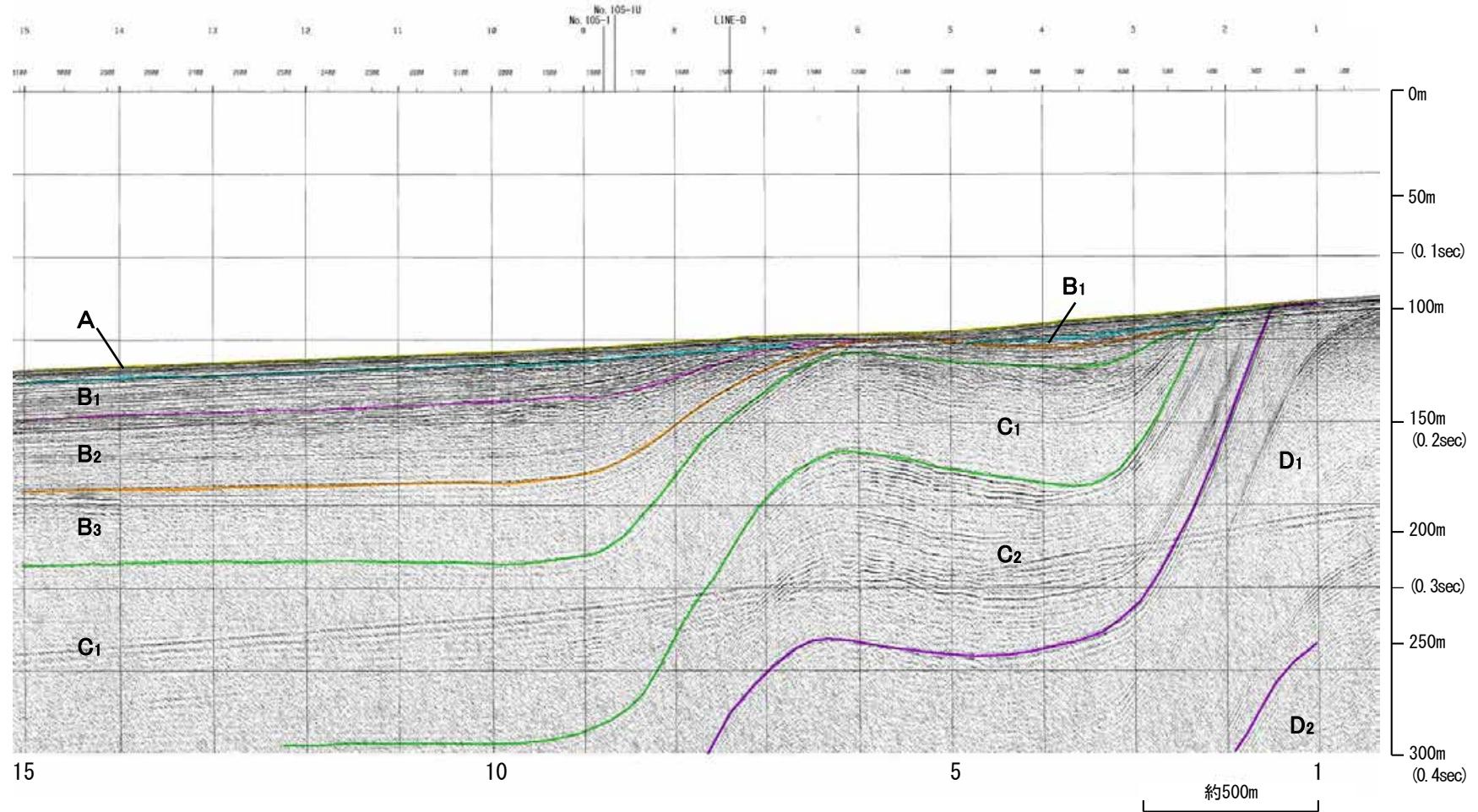
←W

E→

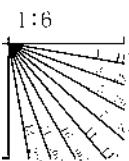
海士岬沖断層帯

d

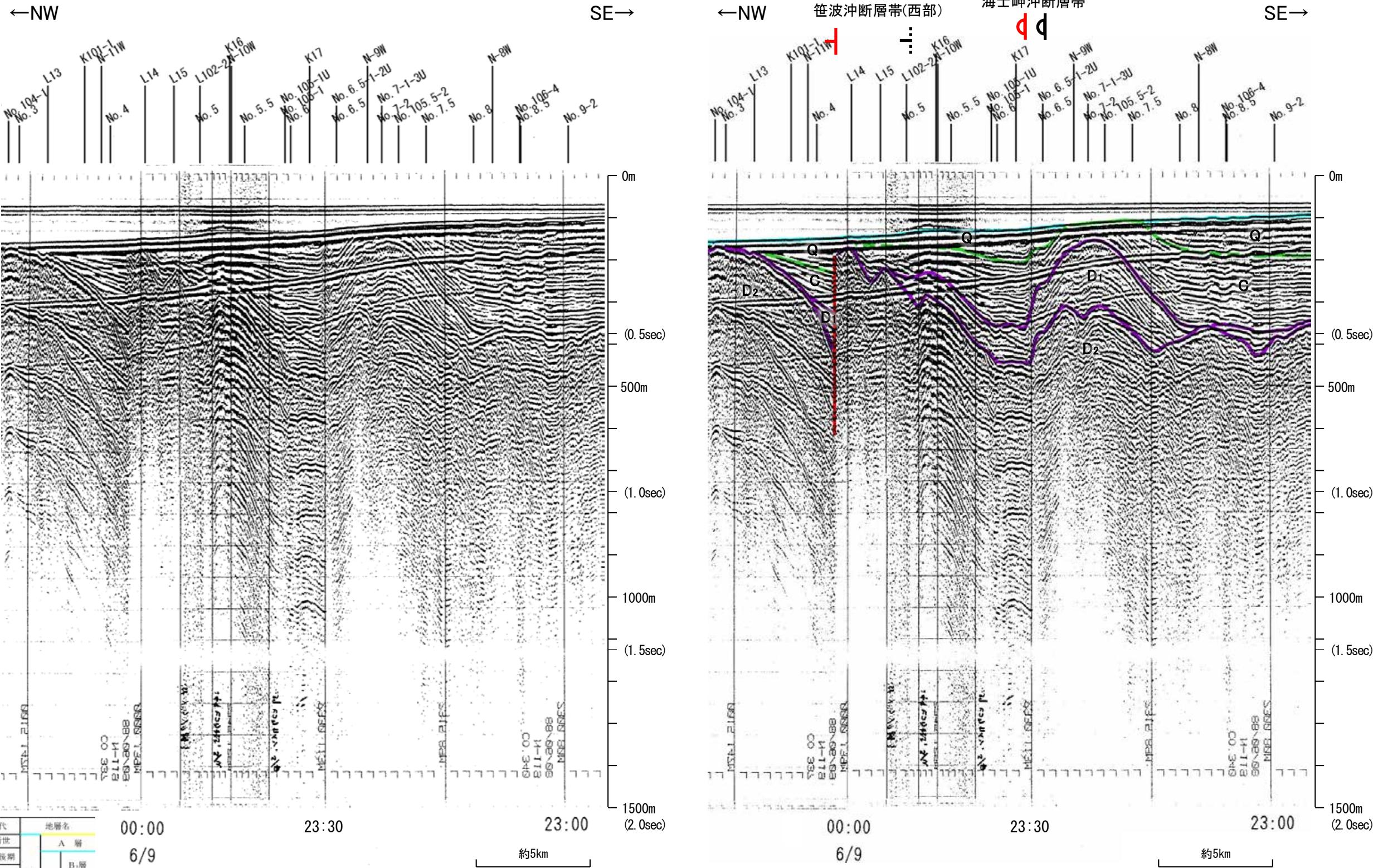
d



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世		C ₂ 層	
古第三紀		D ₁ 層	
先第三紀	D ₂ 層		

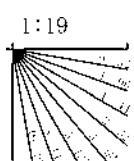


地質調査所エアガン N-119



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

00:00 23:30 23:00
6/9



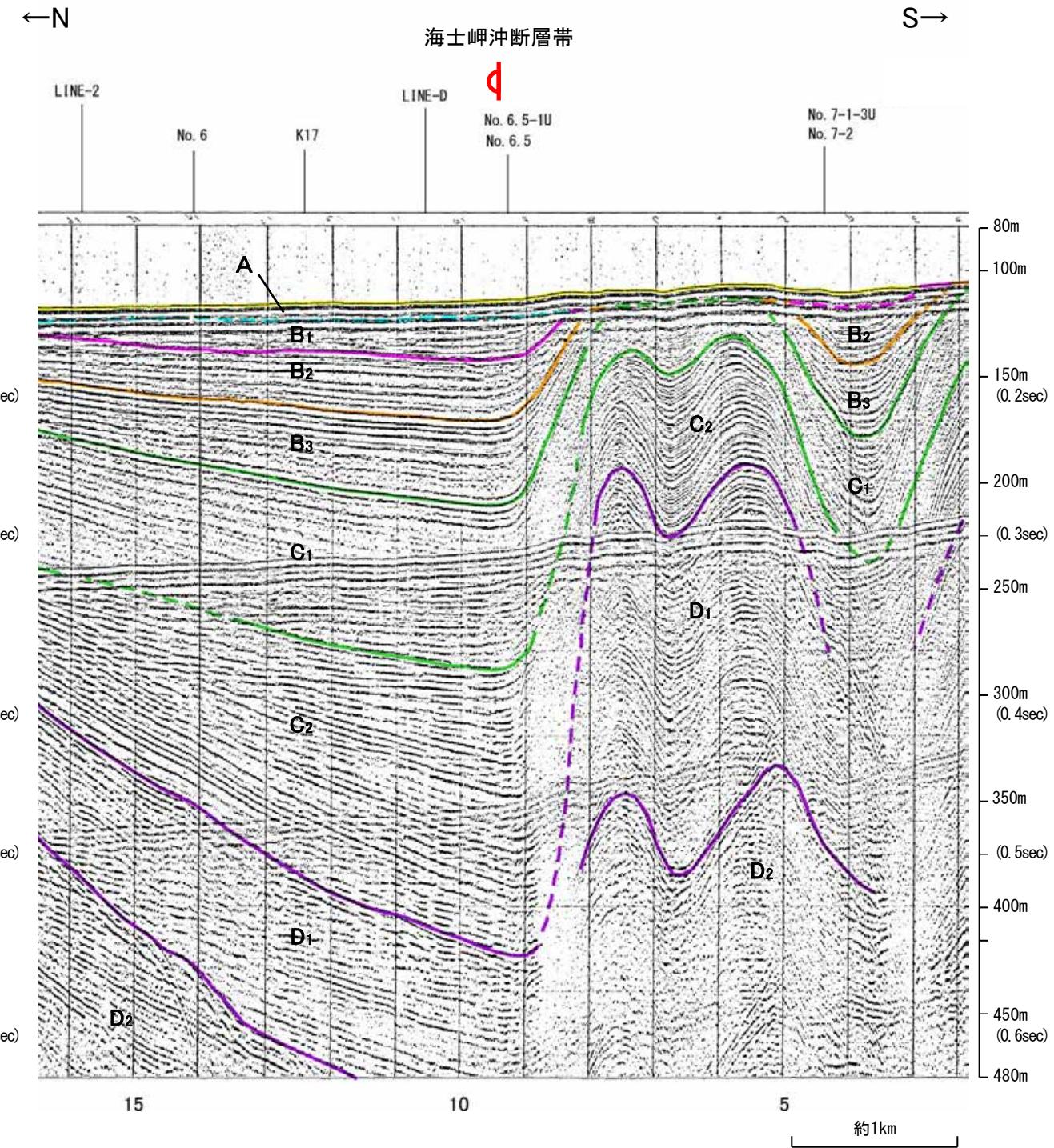
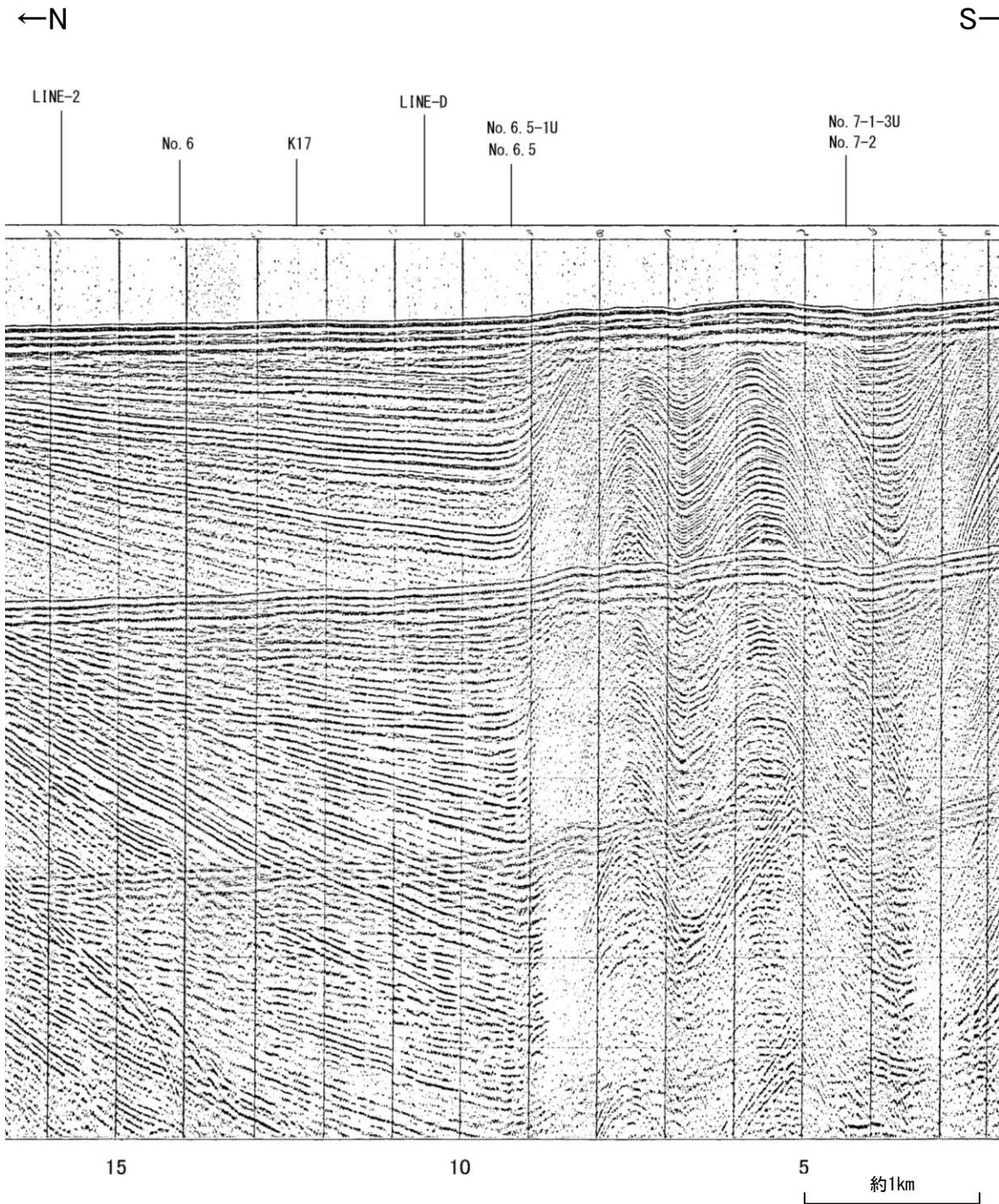
約5km

00:00 23:30 23:00
6/9

約5km

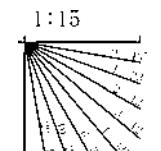
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.105-1



海士岬沖断層帯

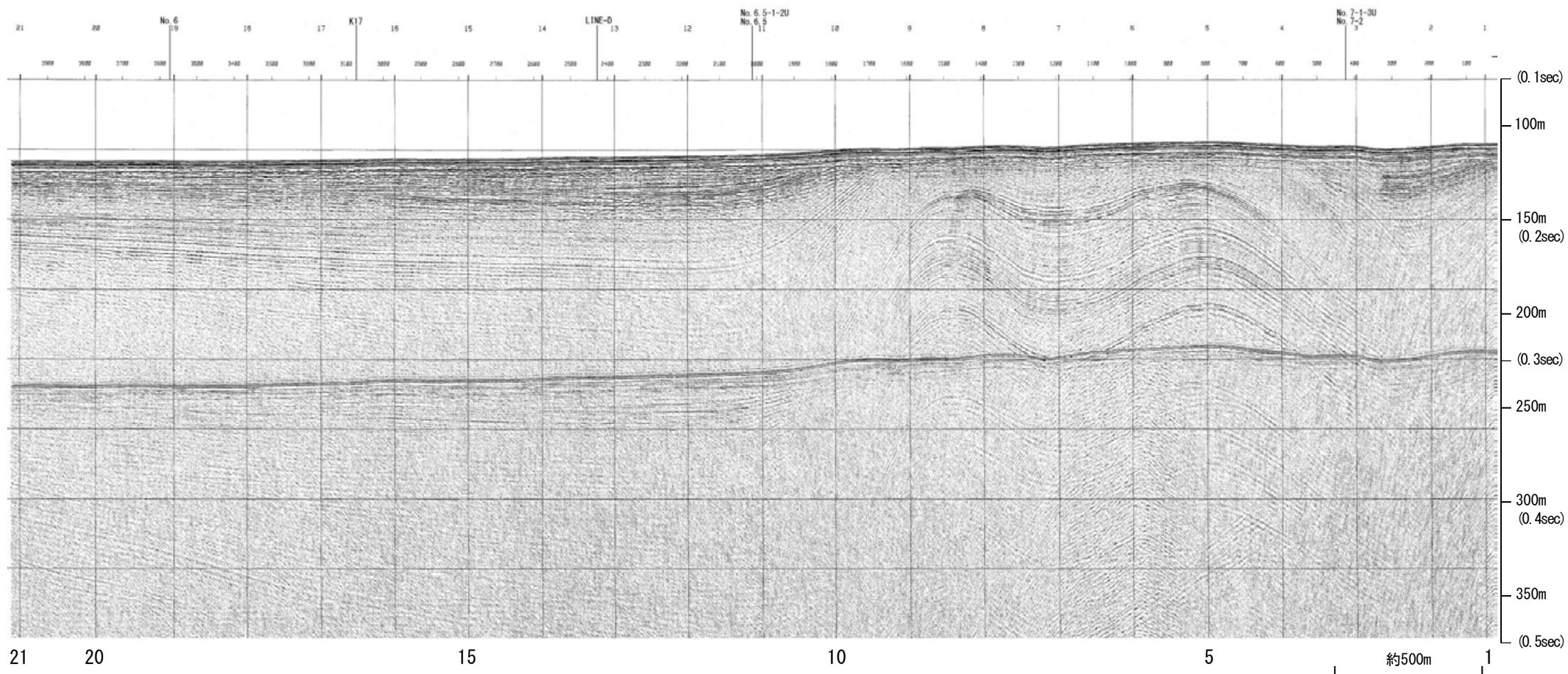
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₂ 層	



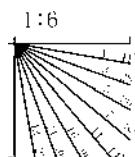
北陸電カブーマー No.105-1U

←N

S→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層	
新第三紀	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀		D ₄ 層	



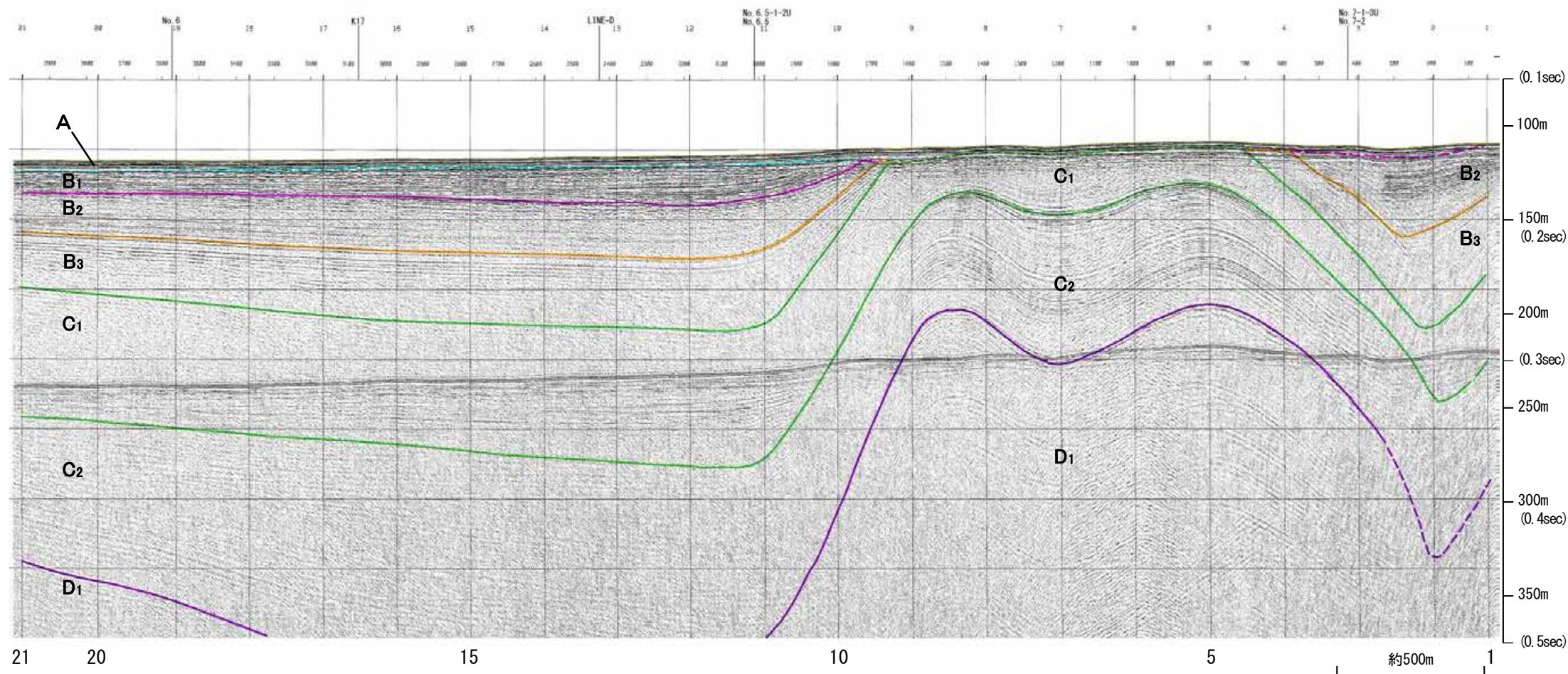
北陸電カブーマー No.105-1U

←N

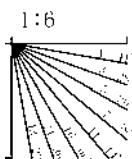
海士岬沖断層帯

S→

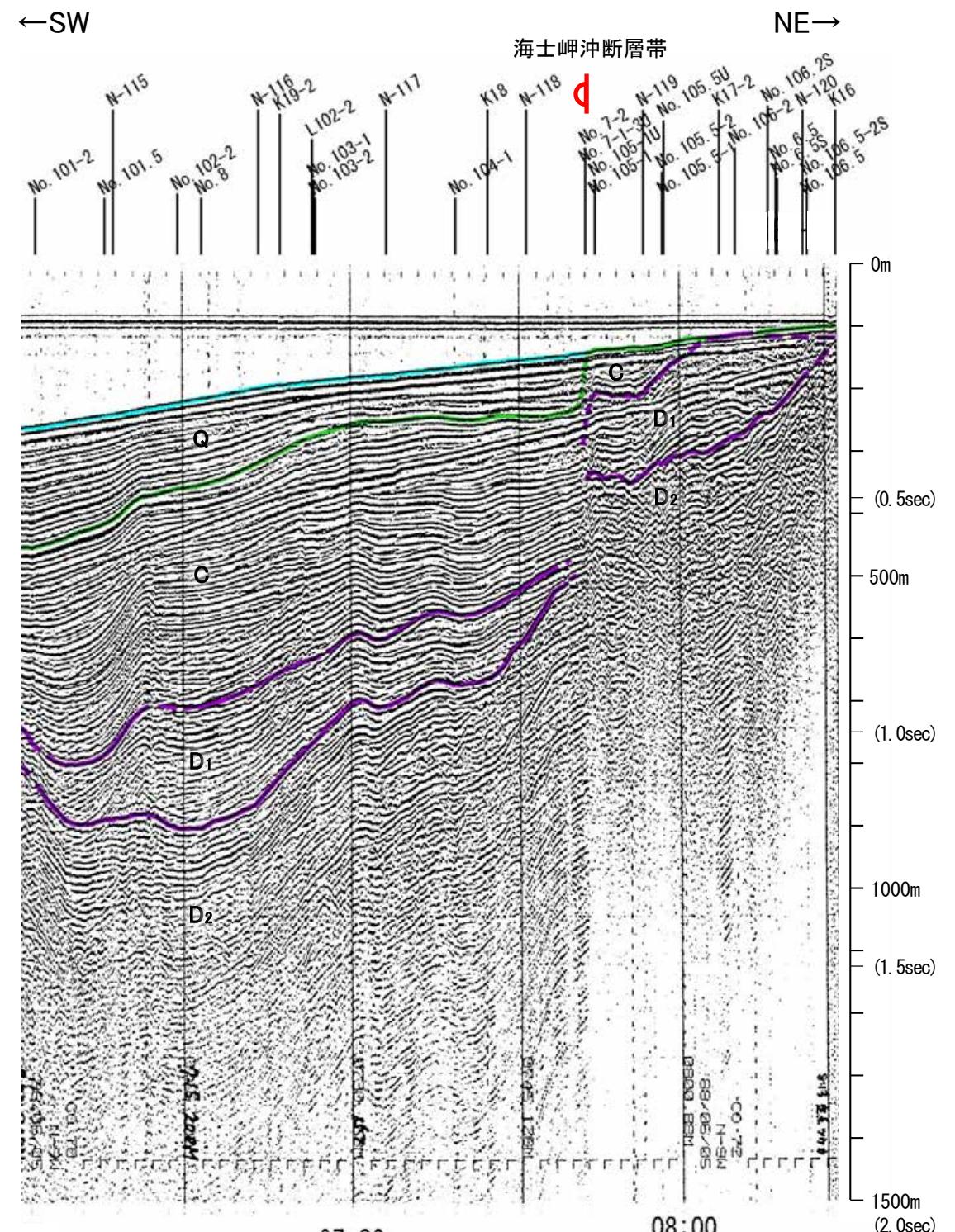
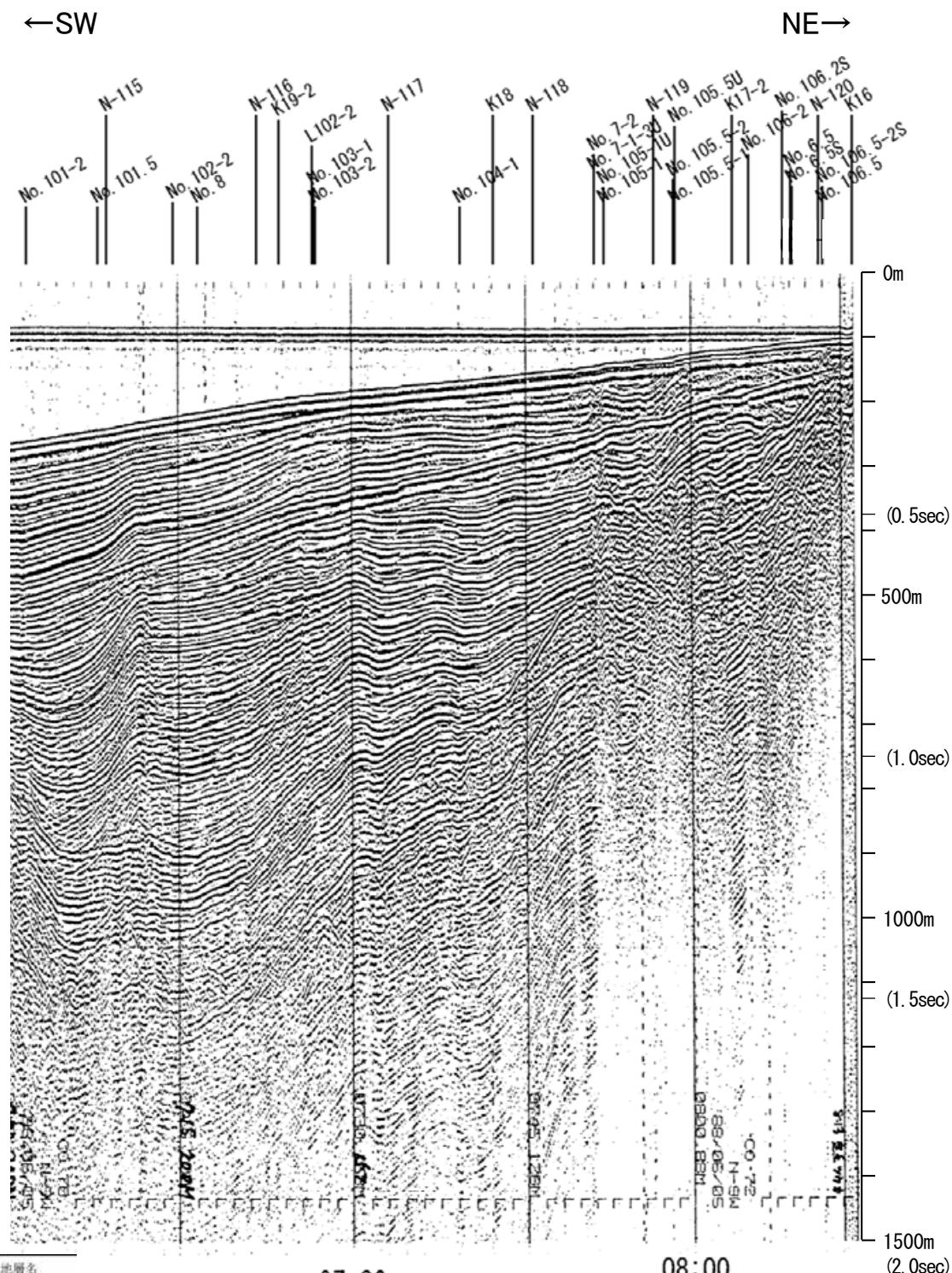
4



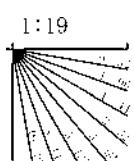
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世		C ₂ 層	
		D ₁ 層	
古第三紀	D ₂ 層		
先第三紀	D ₃ 層		



地質調査所エアガン N-9W

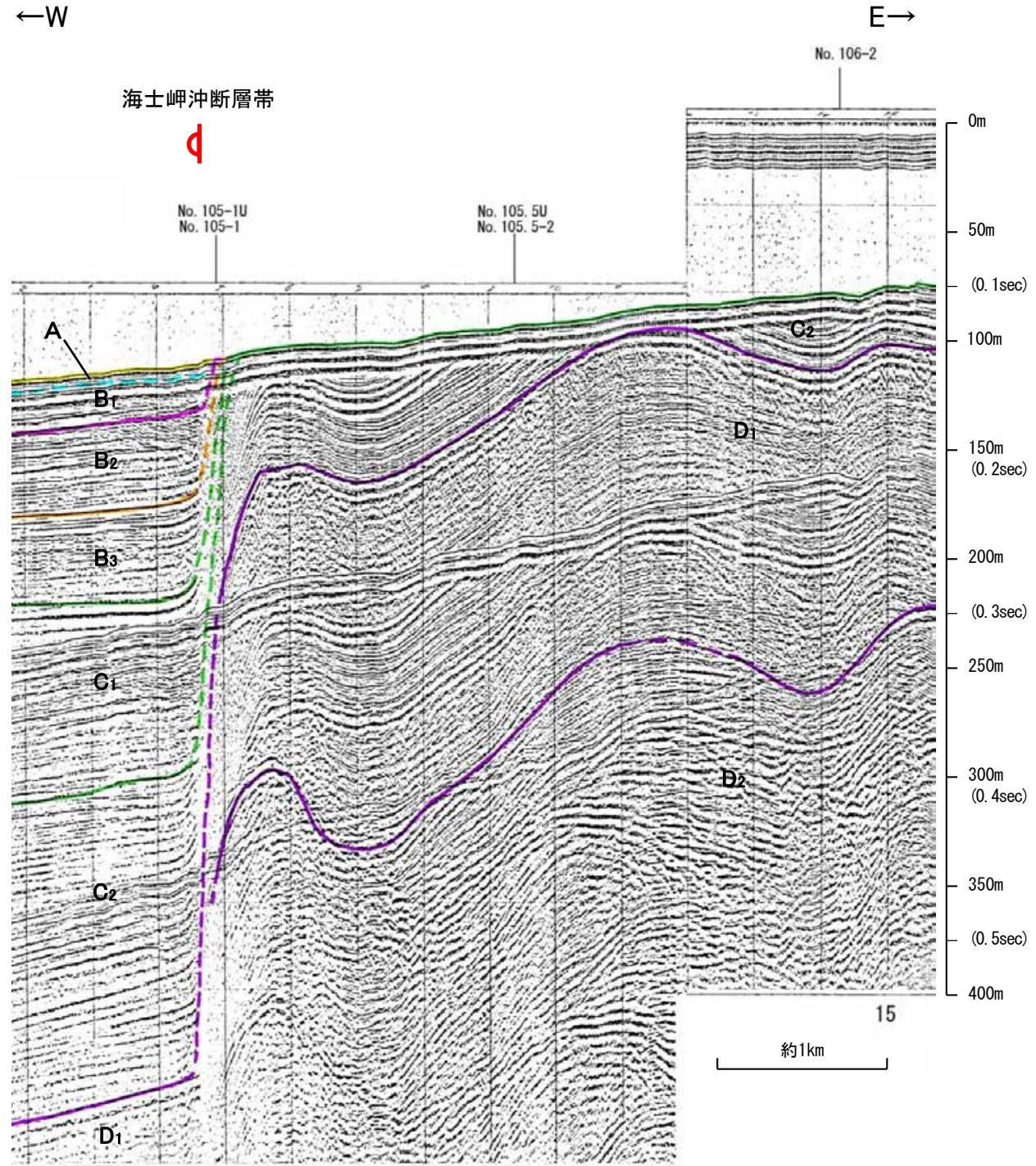
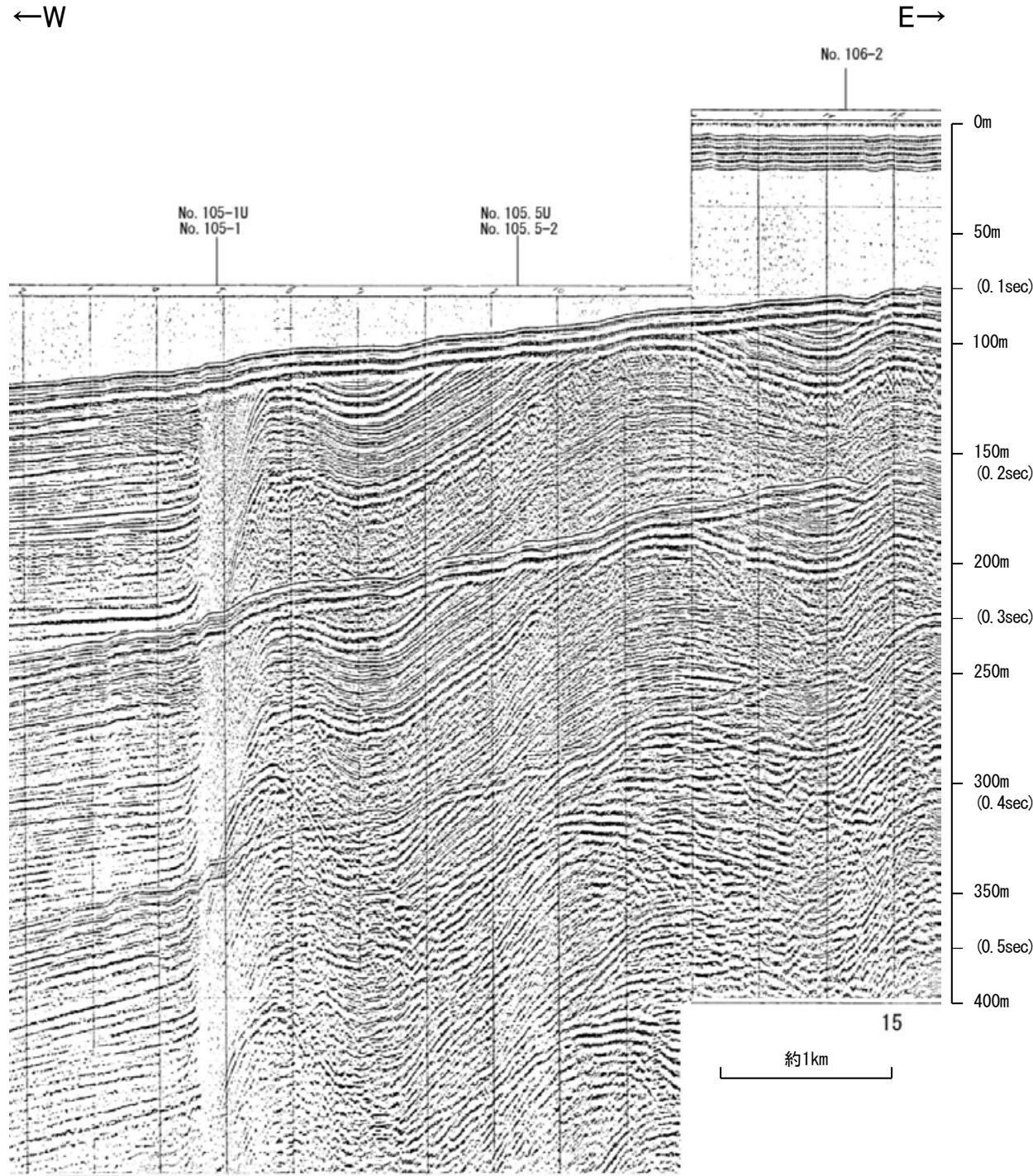


地質時代	地層名	
第四紀	更新世 後期	A層
	更新世 前期	Q層
	中新世	B層
		B層
古第三紀	C層	
	C層	
先第三紀	D層	
	D層	

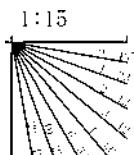


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

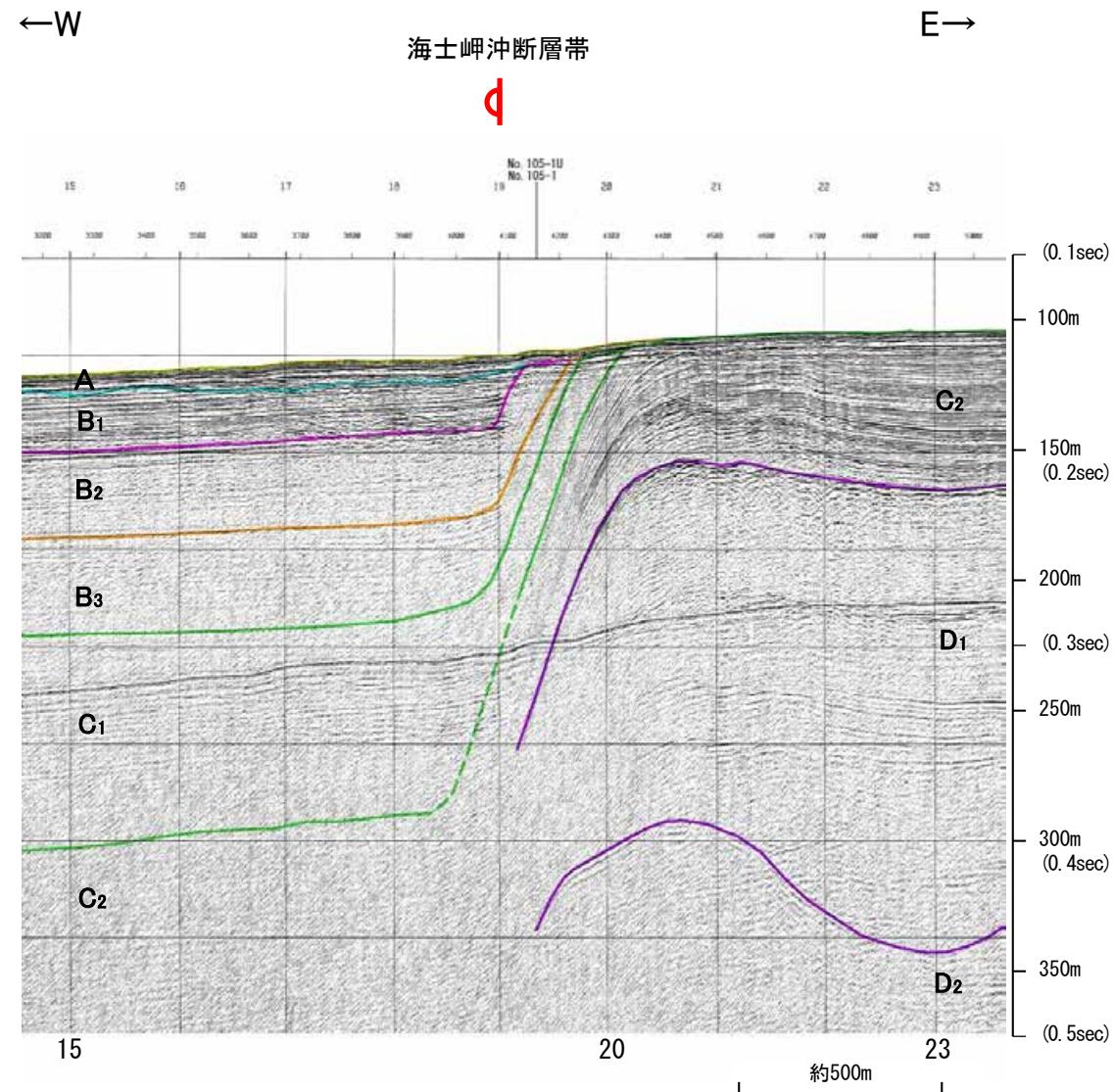
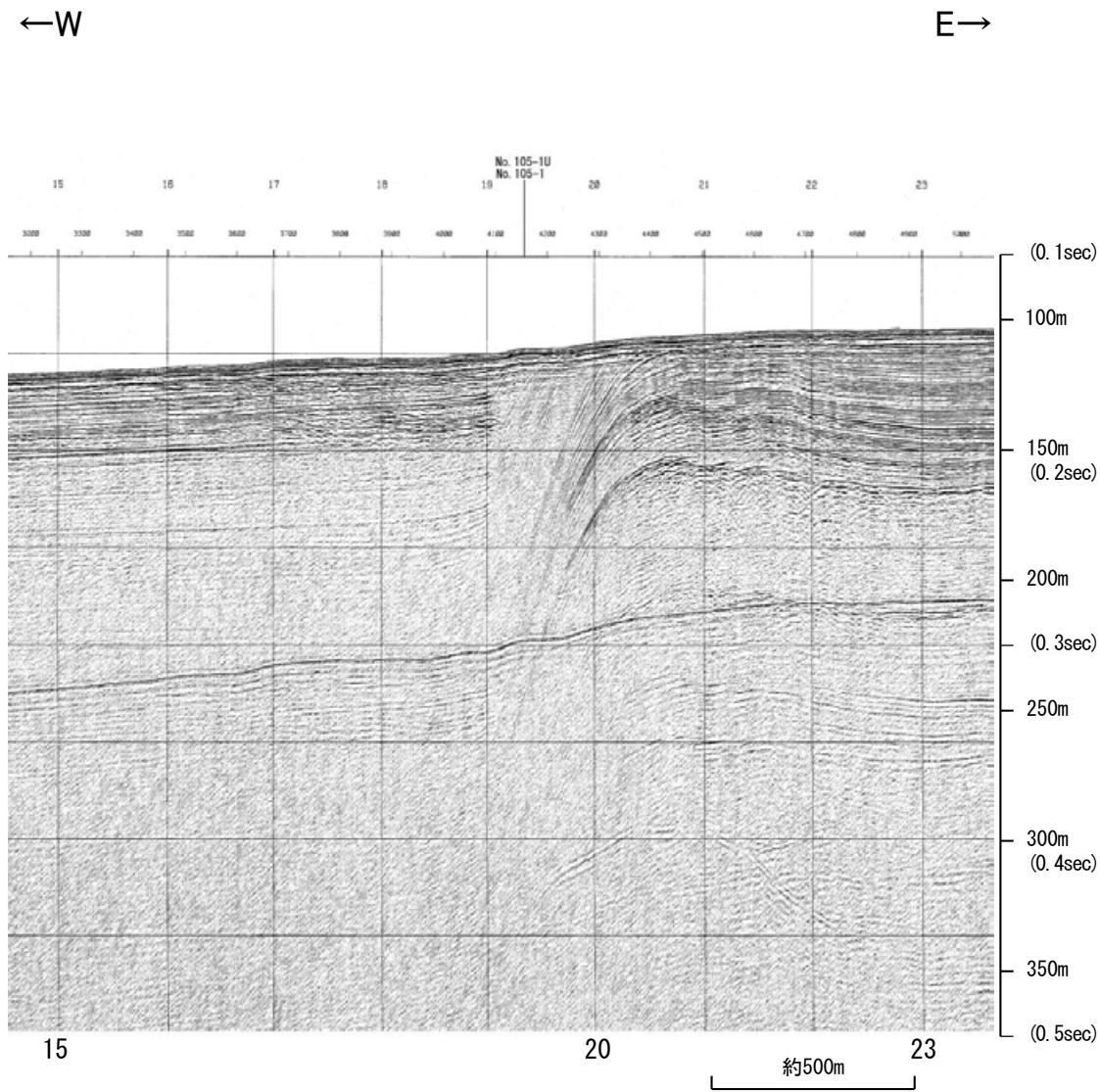
北陸電カスパーカー No.7-2



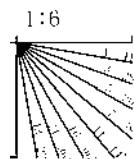
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	D ₁ 層
		中期	B層
		前期	C層
	鮮新世	C ₂ 層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層		



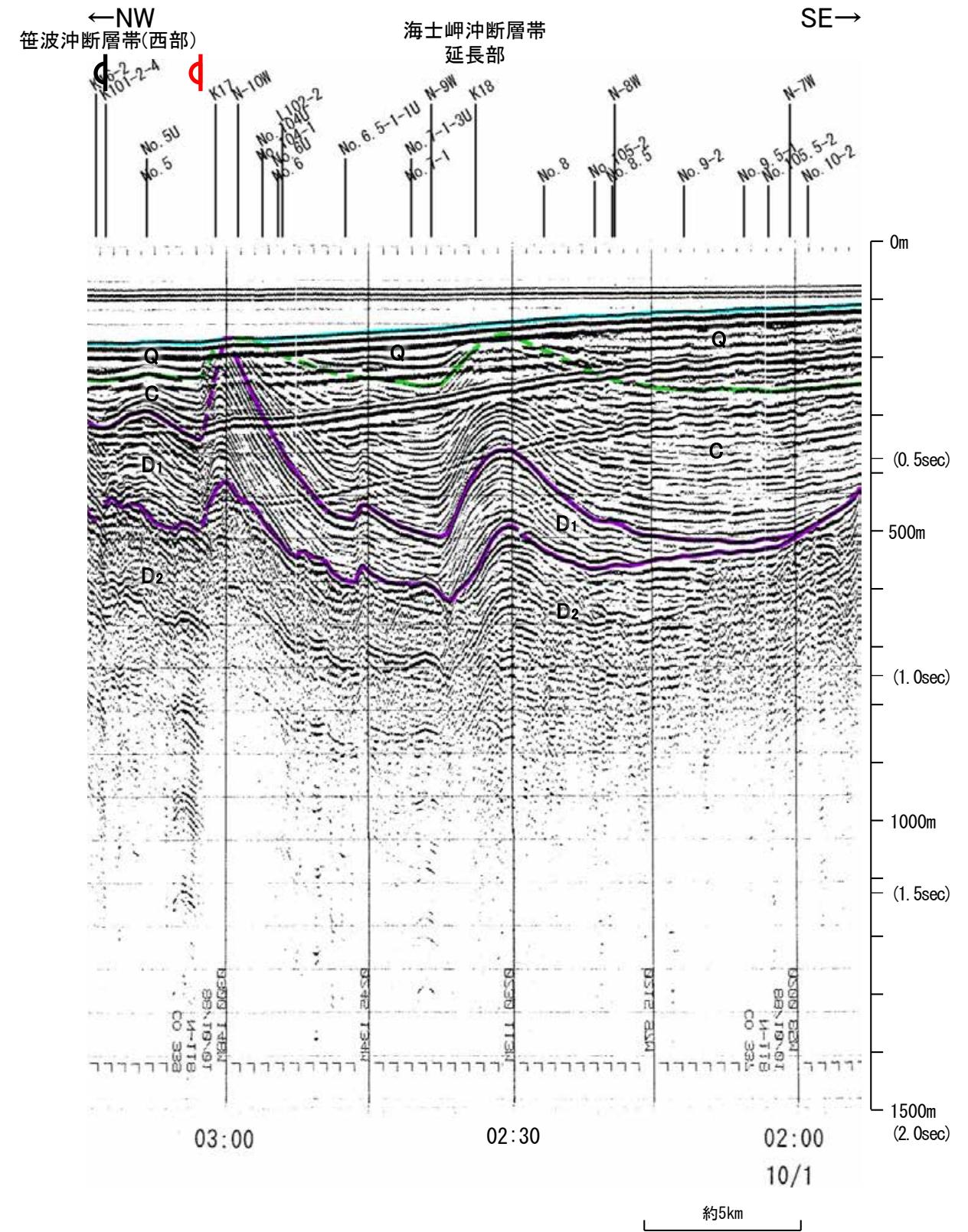
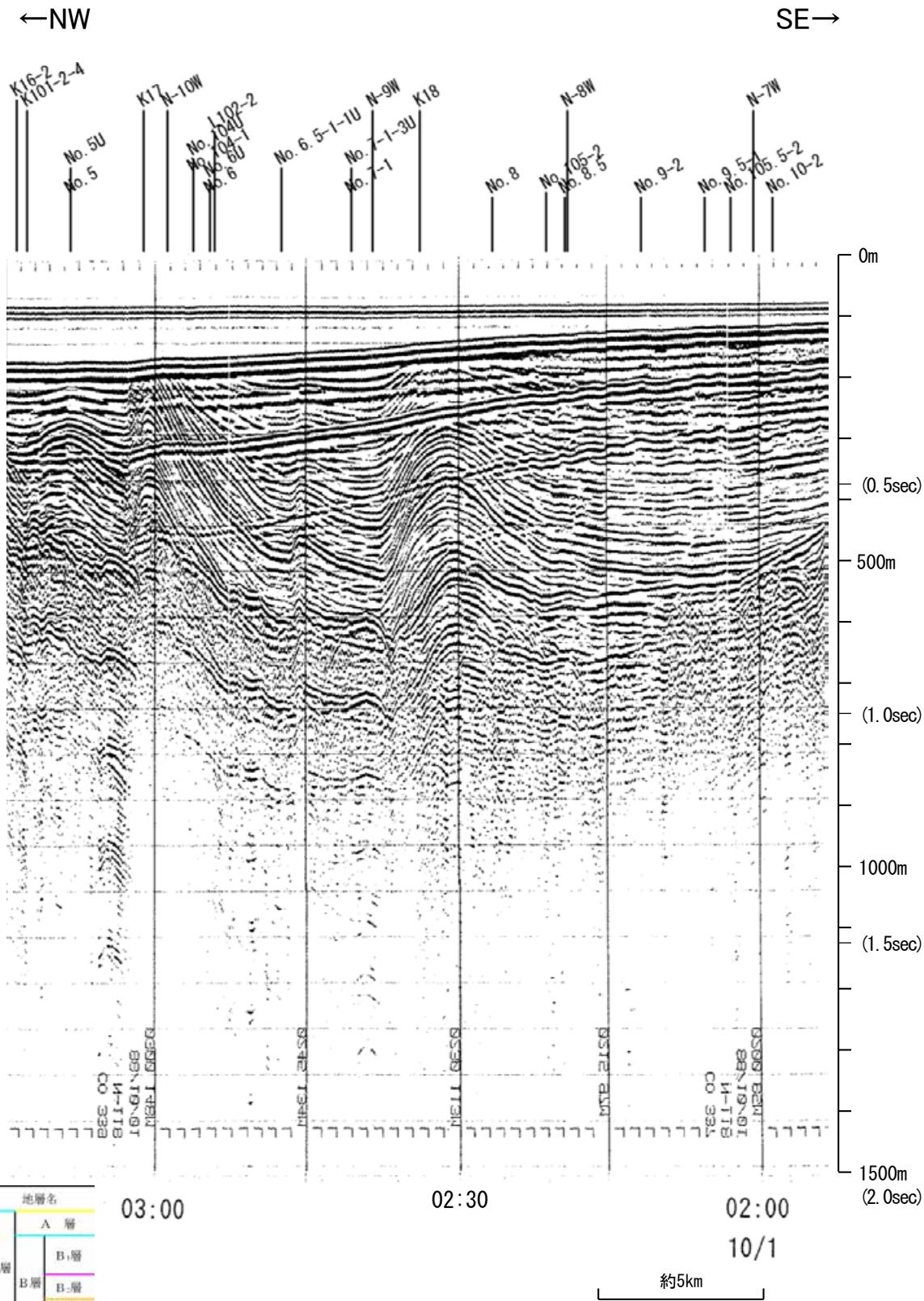
北陸電カブーマー No.7-1-3U



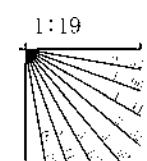
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C ₁ 層	
第三紀	中新世	C ₂ 層	
	古第三紀	D ₁ 層	
		先第三紀	D ₂ 層



地質調査所エアガン N-118



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世 中期	B層
	更新世 前期	C層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

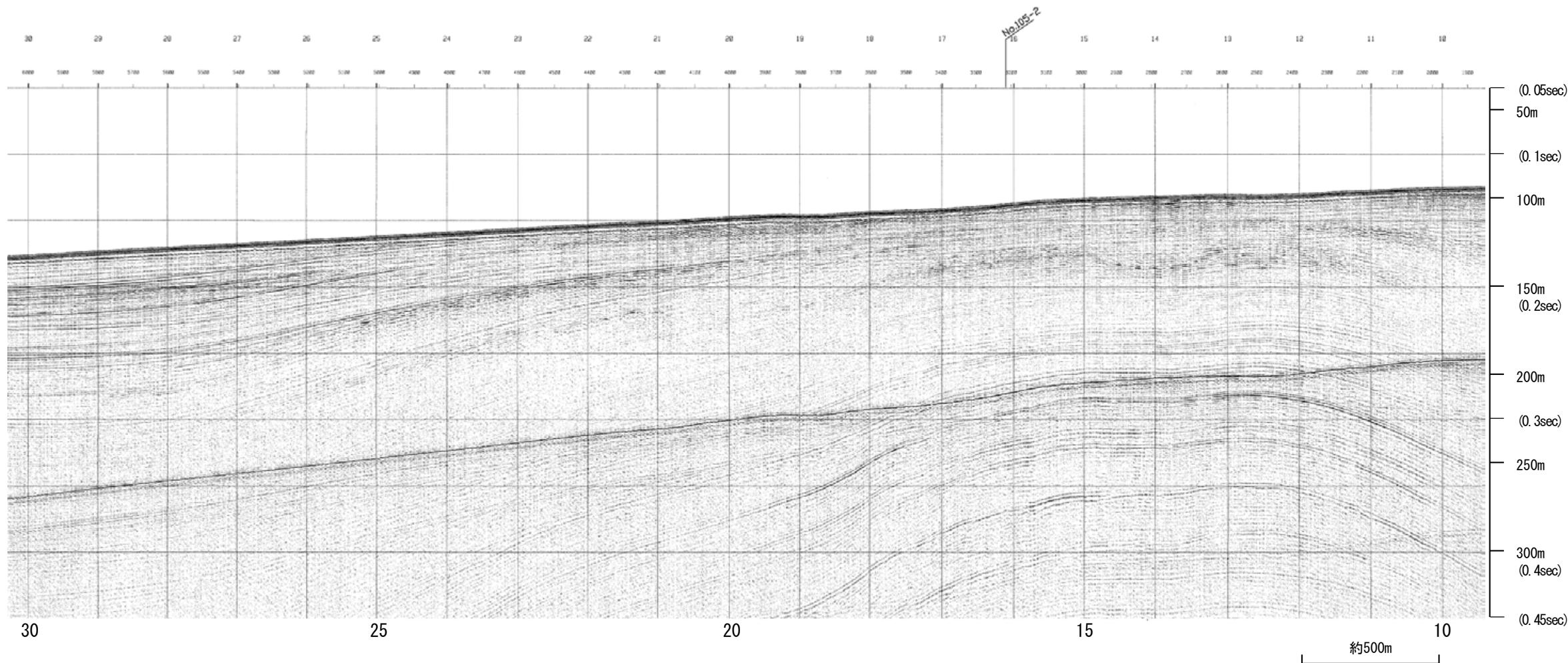


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

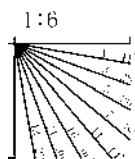
地震研ブーマー K18

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層	
第三紀	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

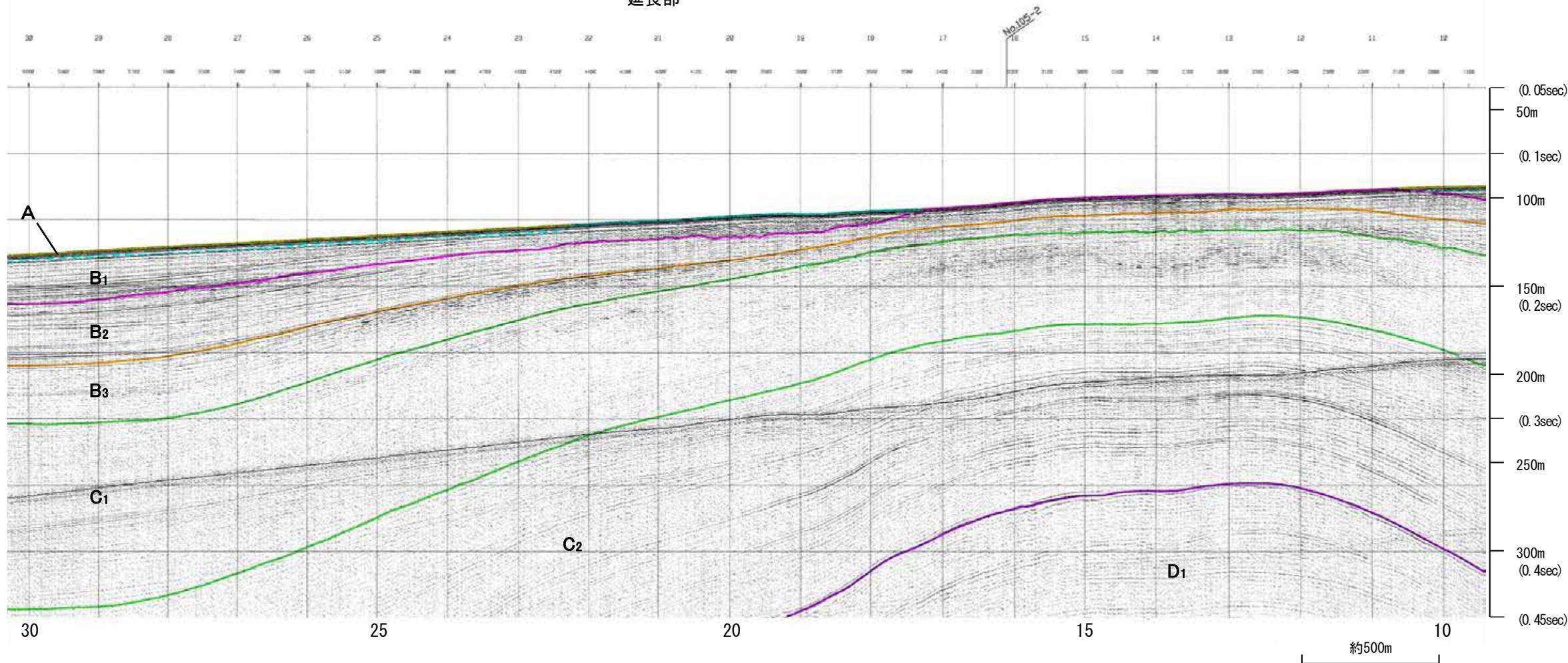


地震研ブーマー K18

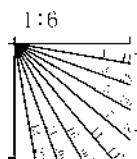
←NW

SE→

海士岬沖断層帯
延長部



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世		C ₂ 層	
古第三紀		D ₁ 層	
先第三紀	D ₂ 層		

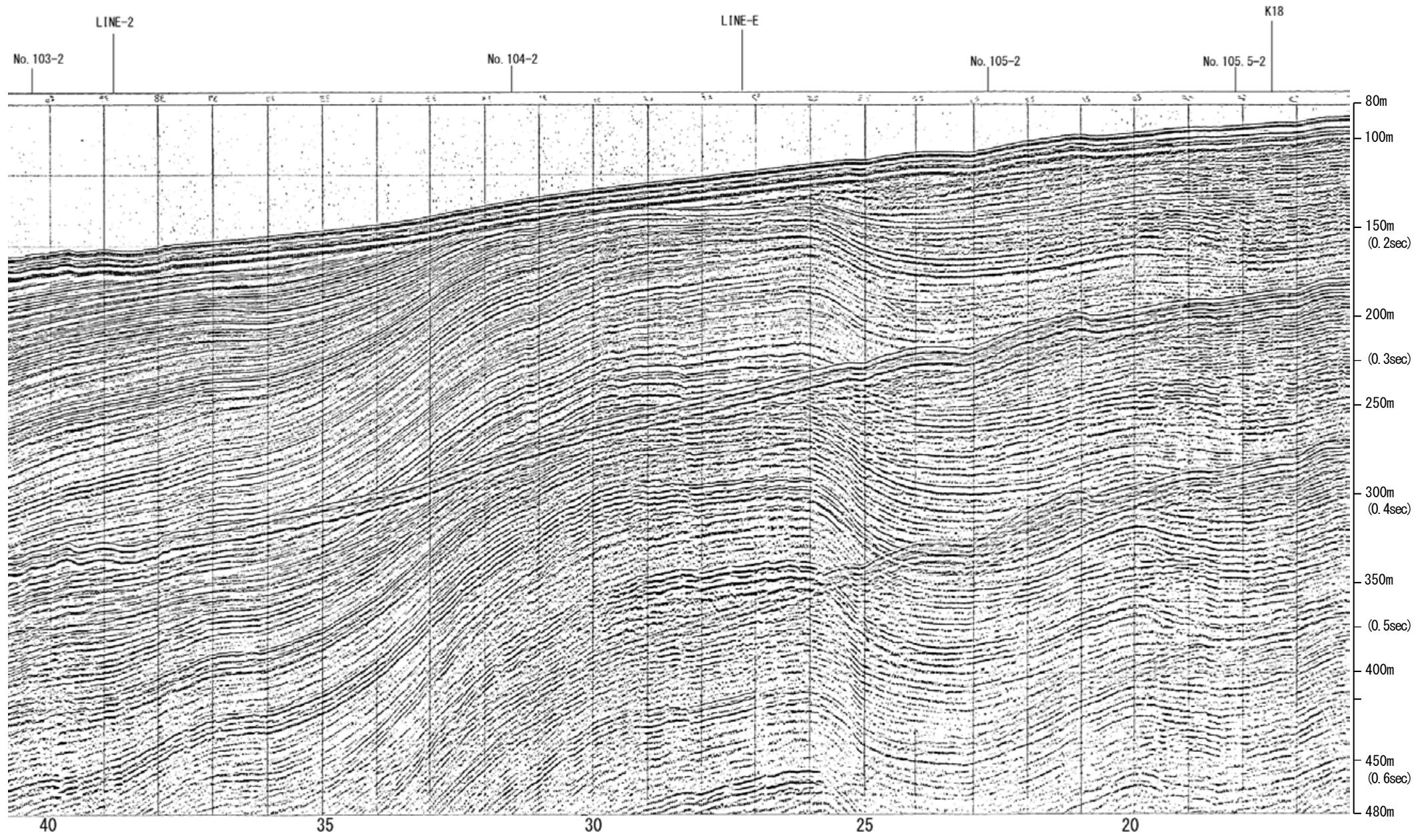


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.8

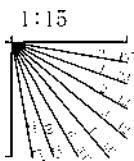
←W

E→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	鮮新世		C ₂ 層
第三紀	中新世		D ₁ 層
	古第三紀		D ₂ 層
先第三紀			D ₃ 層

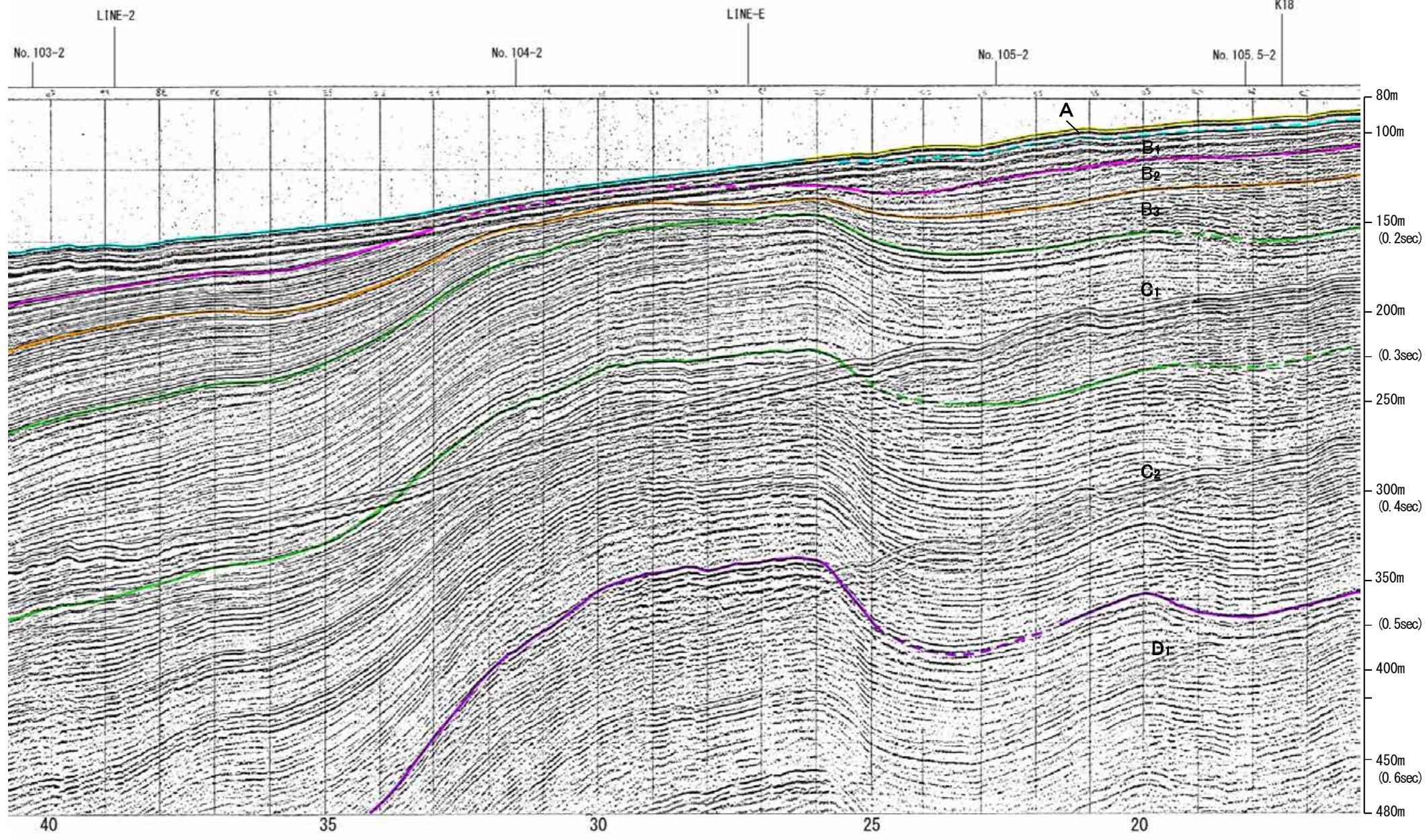


北陸電カスパーカー No.8

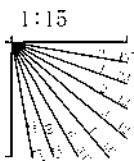
←W

E→

海士岬沖断層帯
延長部



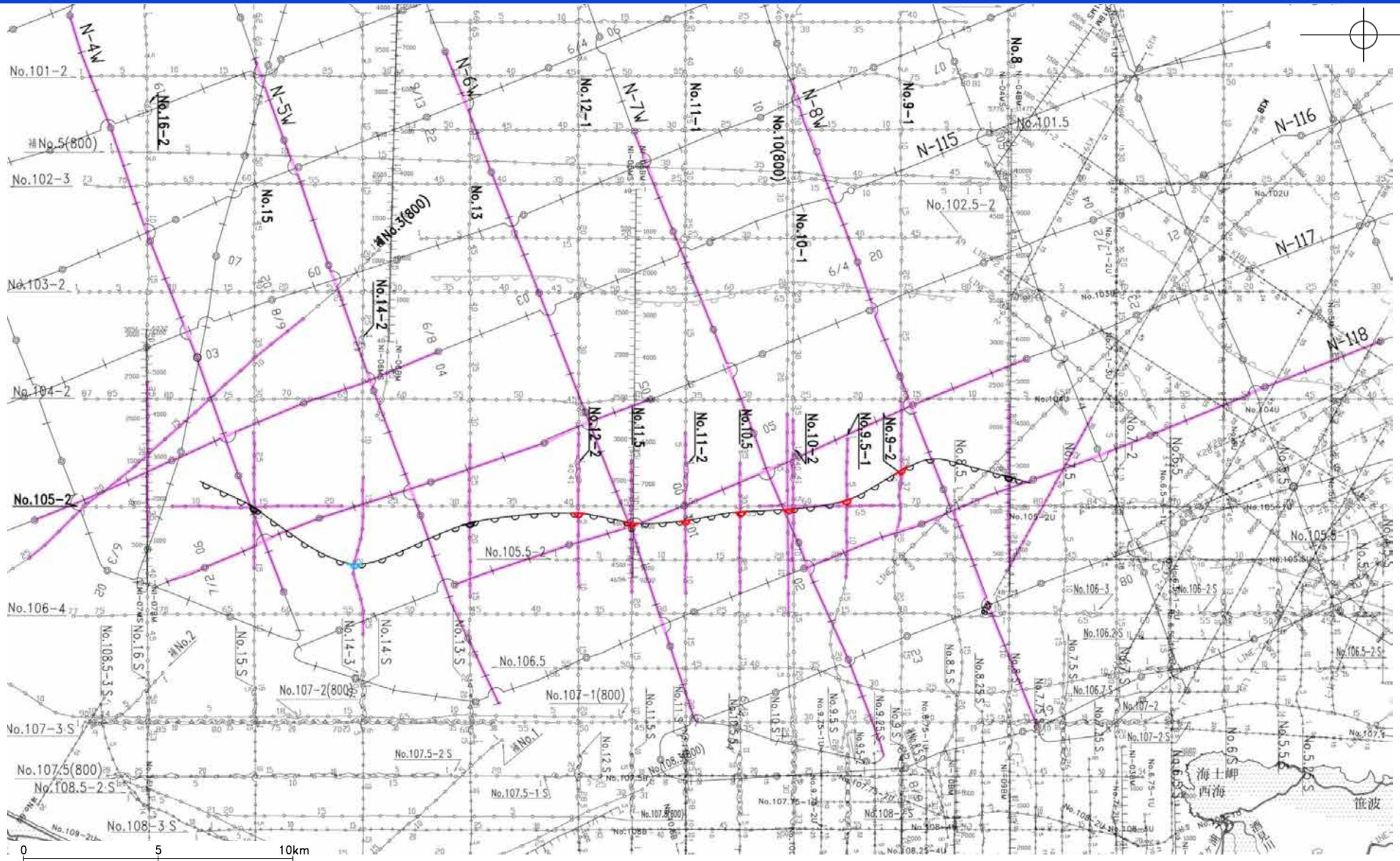
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	C ₁ 層	
	中新世	D ₁ 層	
古第三紀		D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



余白

羽咋沖東撓曲

音波探査記録 添付測線(羽咋沖東撓曲)



凡 例

⊥ (二) 断 層 (伏在断層)

⊥ ⊥ 断 層 } 連続性のない断層

⊥ ⊥ 伏在断層

⊥ ⊥ 撓 曲

No. 8 ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約2 4 5 0 ジュール)

No. 9 . S ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約3 6 0 ジュール)

No. 8 U ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約2 0 0 ジュール)

No. 1 1 B ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約2 0 0 ジュール)

LINE - A ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル)

添付した音波探査記録

K 1 7 ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (東京大学地震研究所: プーマー・マルチチャンネル)

L 5 ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)

N I - 0 6 B M ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (原子力安全保安院: プーマー・マルチチャンネル)

N I - 0 6 M S ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (原子力安全保安院: ウォーターガン・マルチチャンネル)

N - 1 1 8 ⊥ ⊥ ⊥ 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)

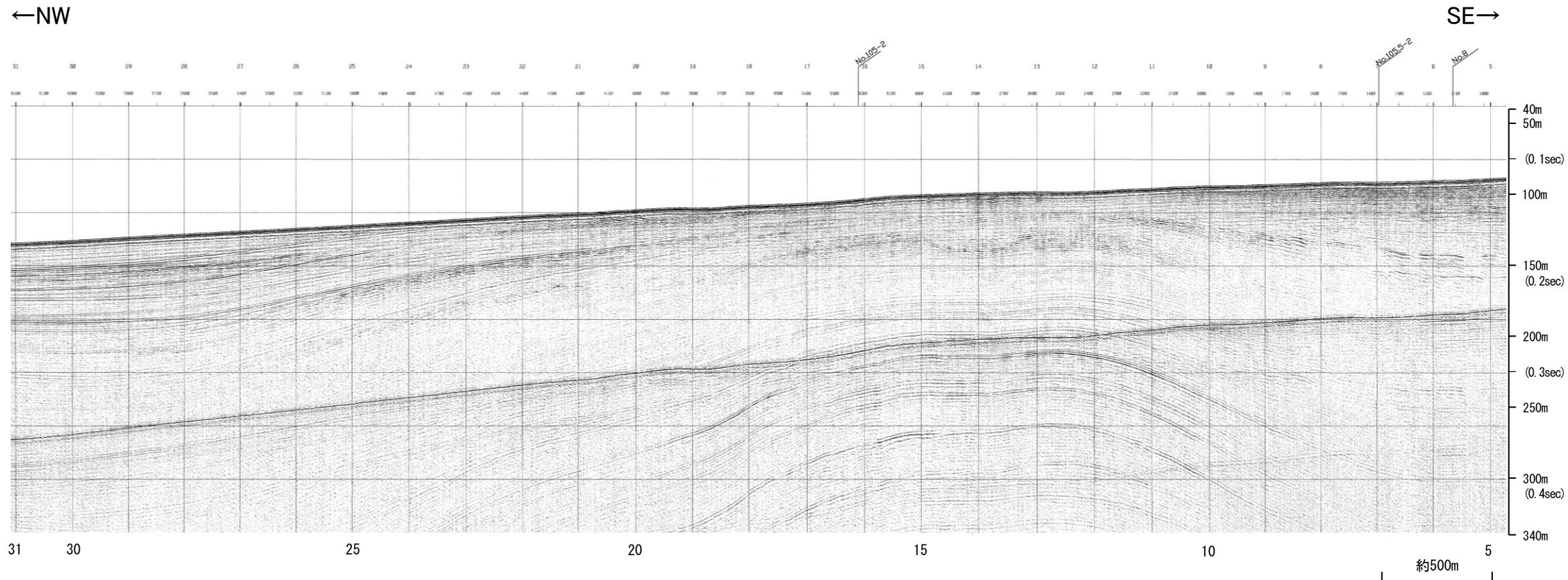
(測線位置における活動性)

⊥ ⊥ ⊥ B₁層以上に変位, 変形が認められる

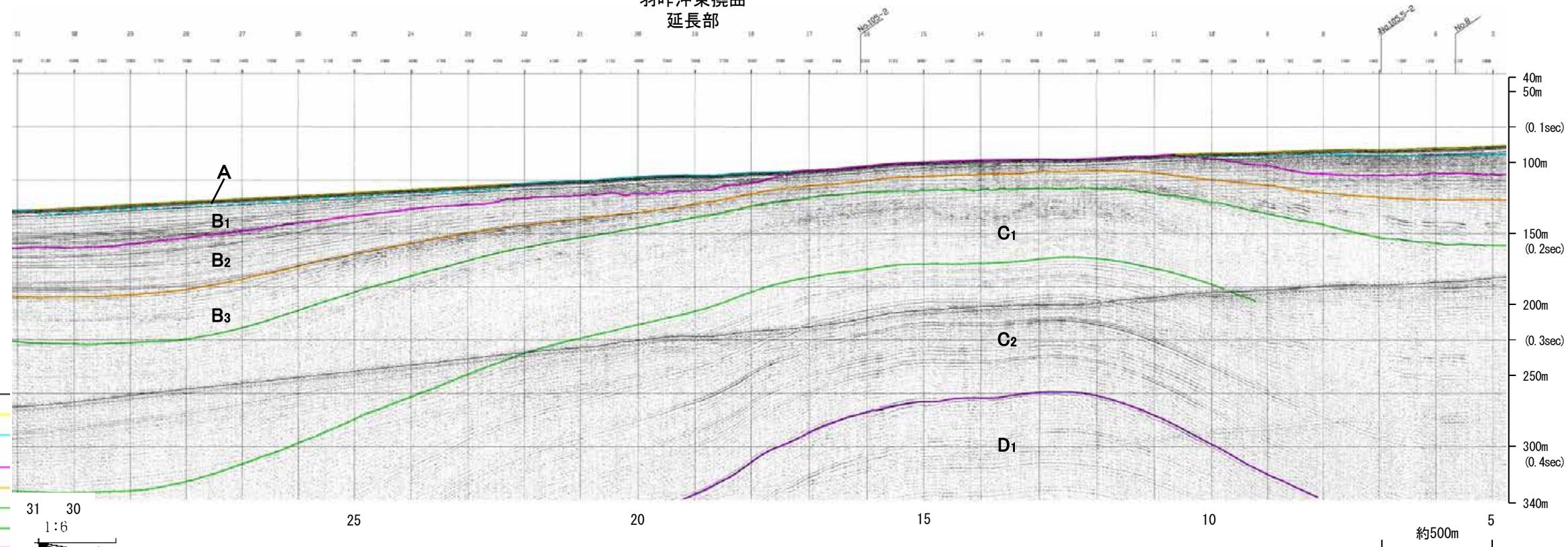
⊥ ⊥ ⊥ B₁層以上に変位, 変形の可能性が否定できない

⊥ ⊥ ⊥ B₁層以上に変位, 変形が認められない

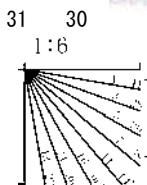
地震研ブーマー K18



羽咋沖東撓曲
延長部

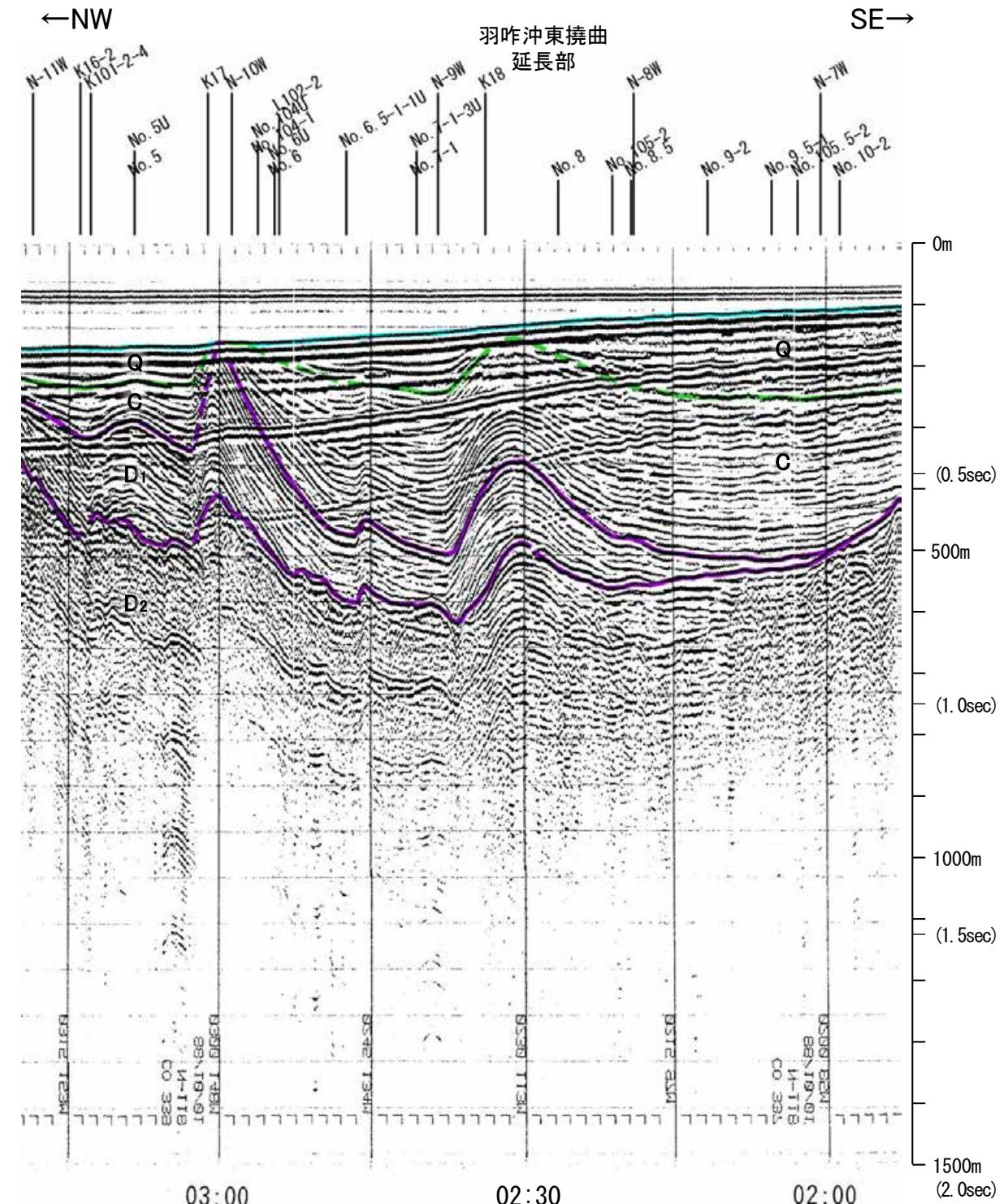
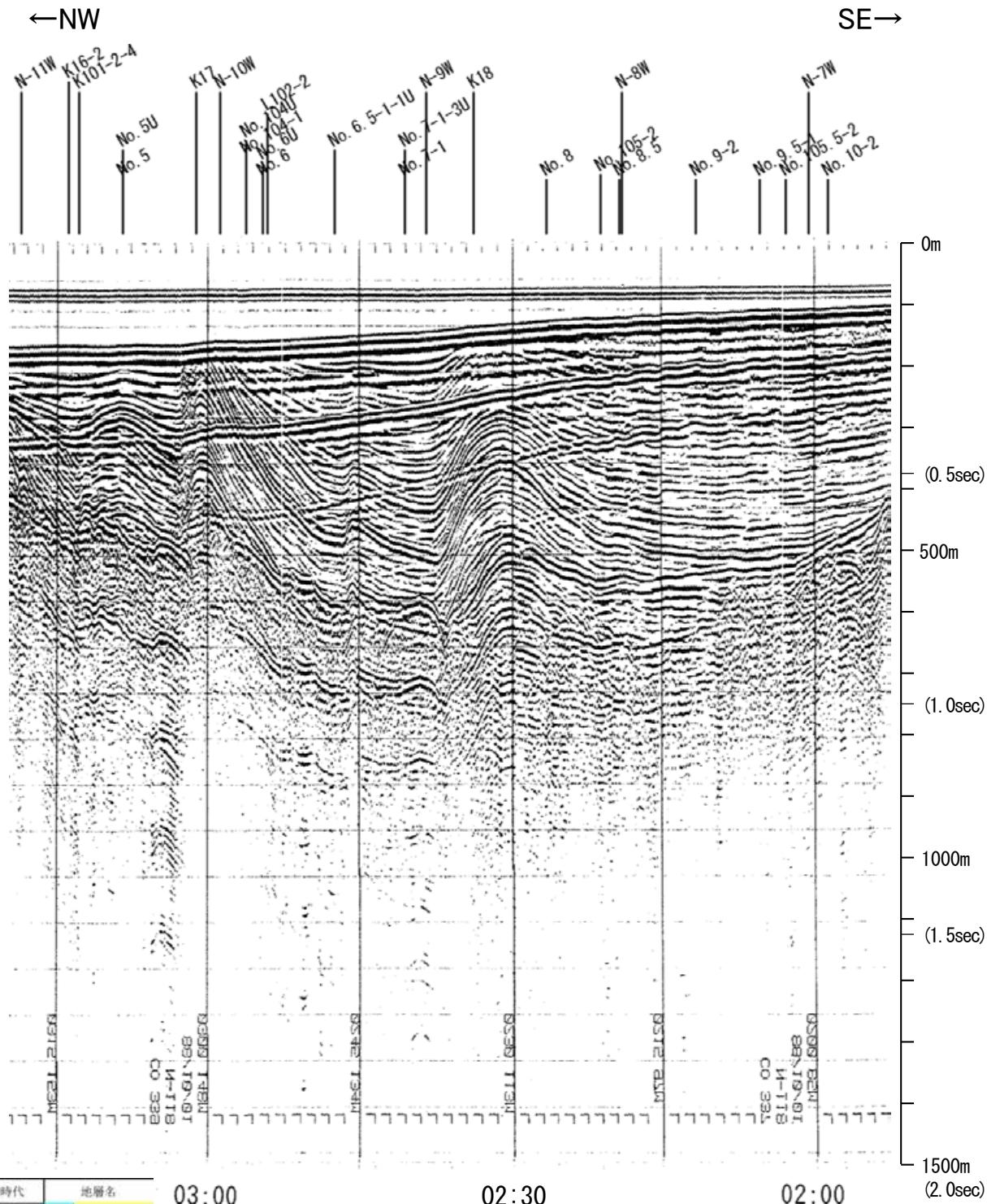


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
	中新世	D ₁ 層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

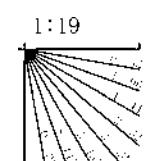


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-118

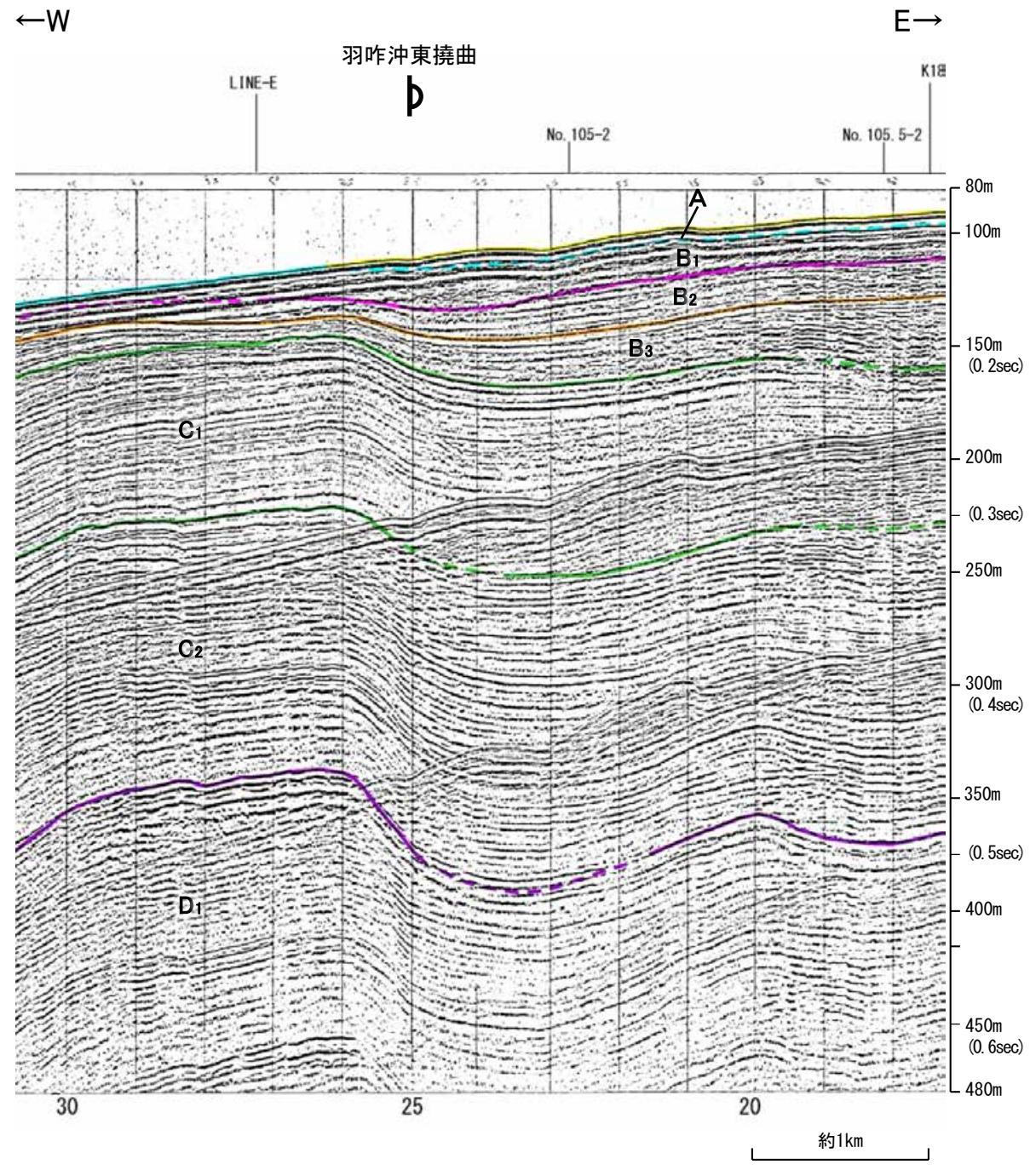
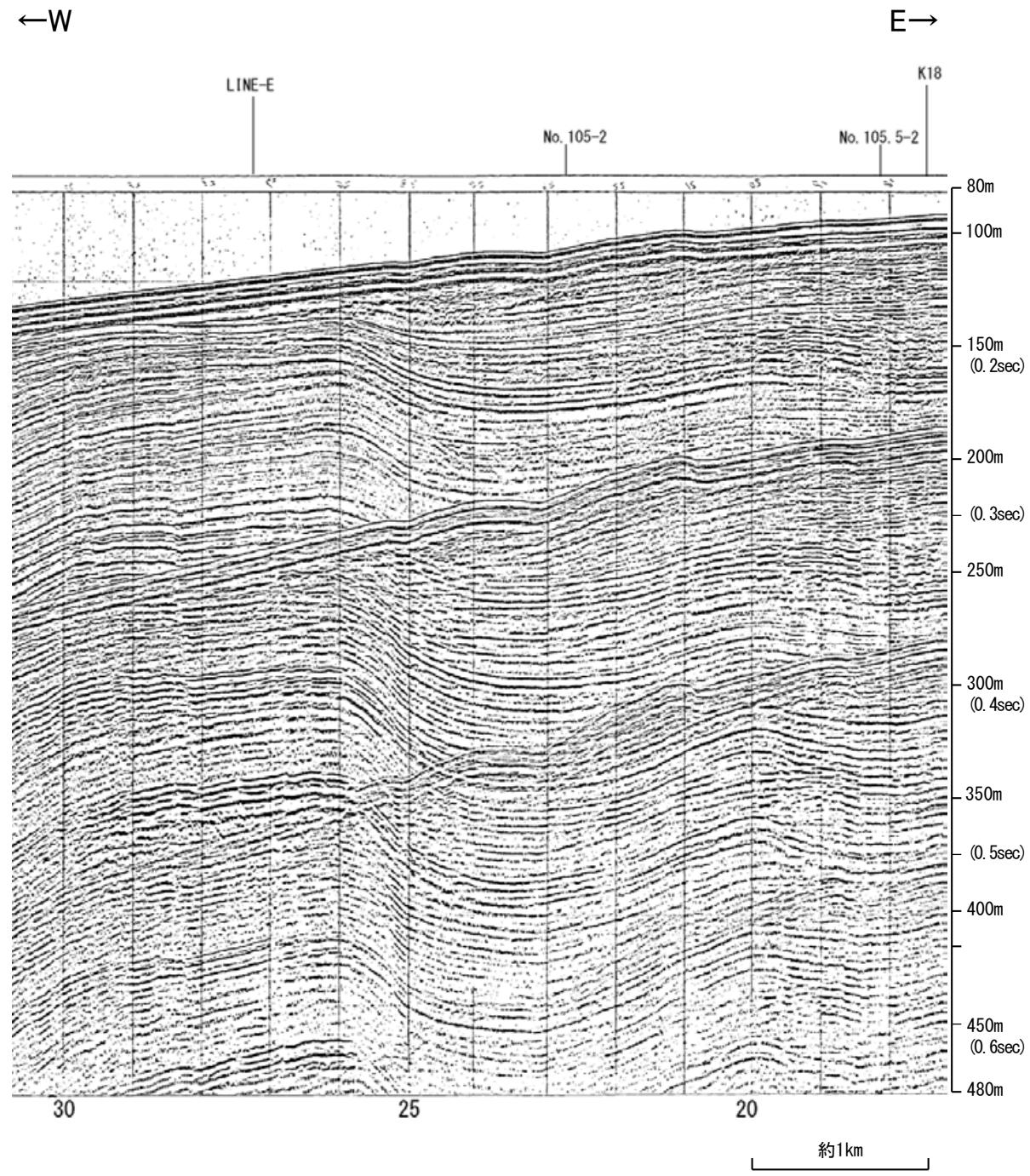


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	C層
	D層	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

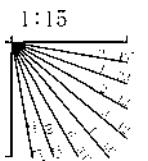


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.8



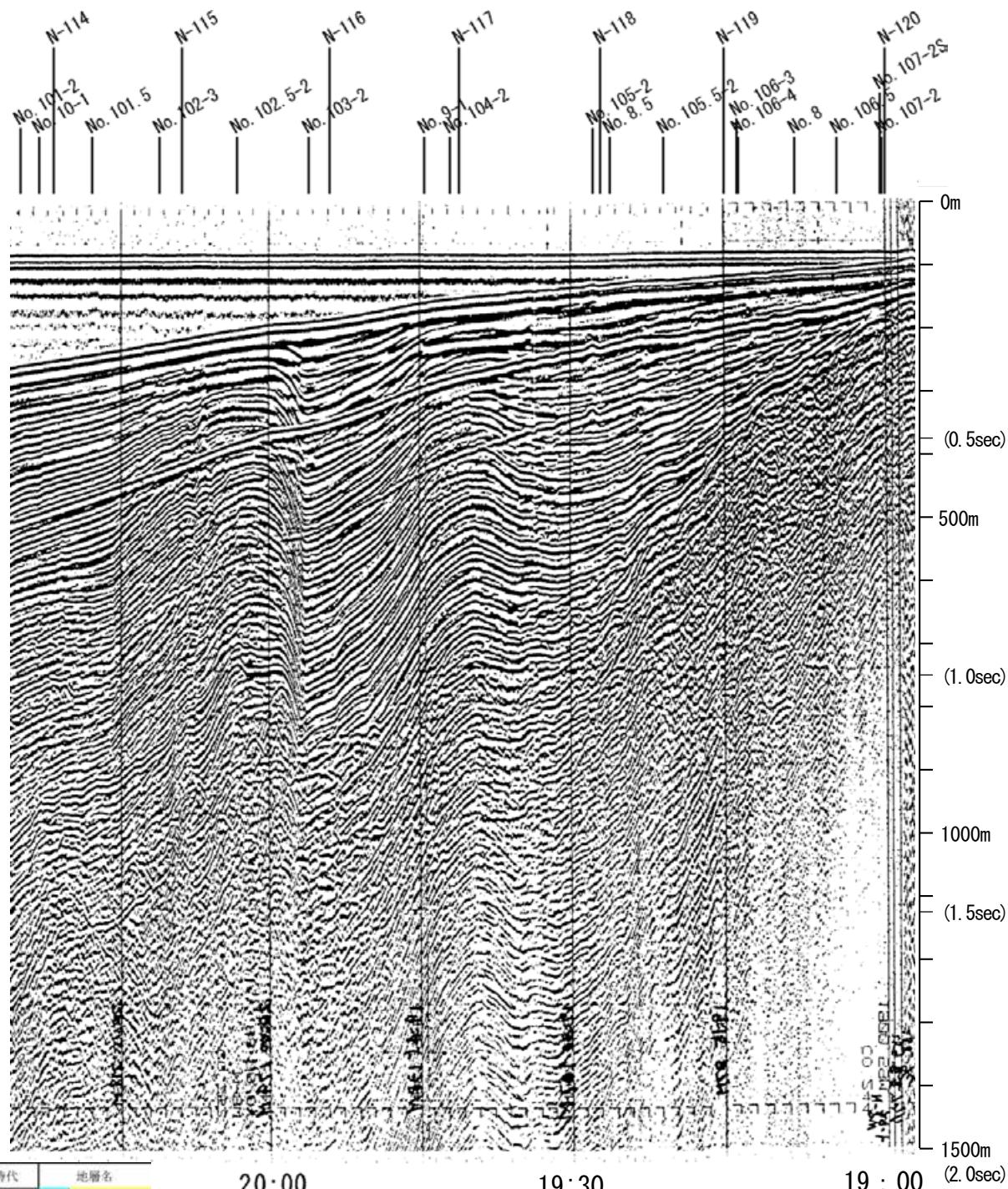
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D層	



地質調査所エアガン N-8W

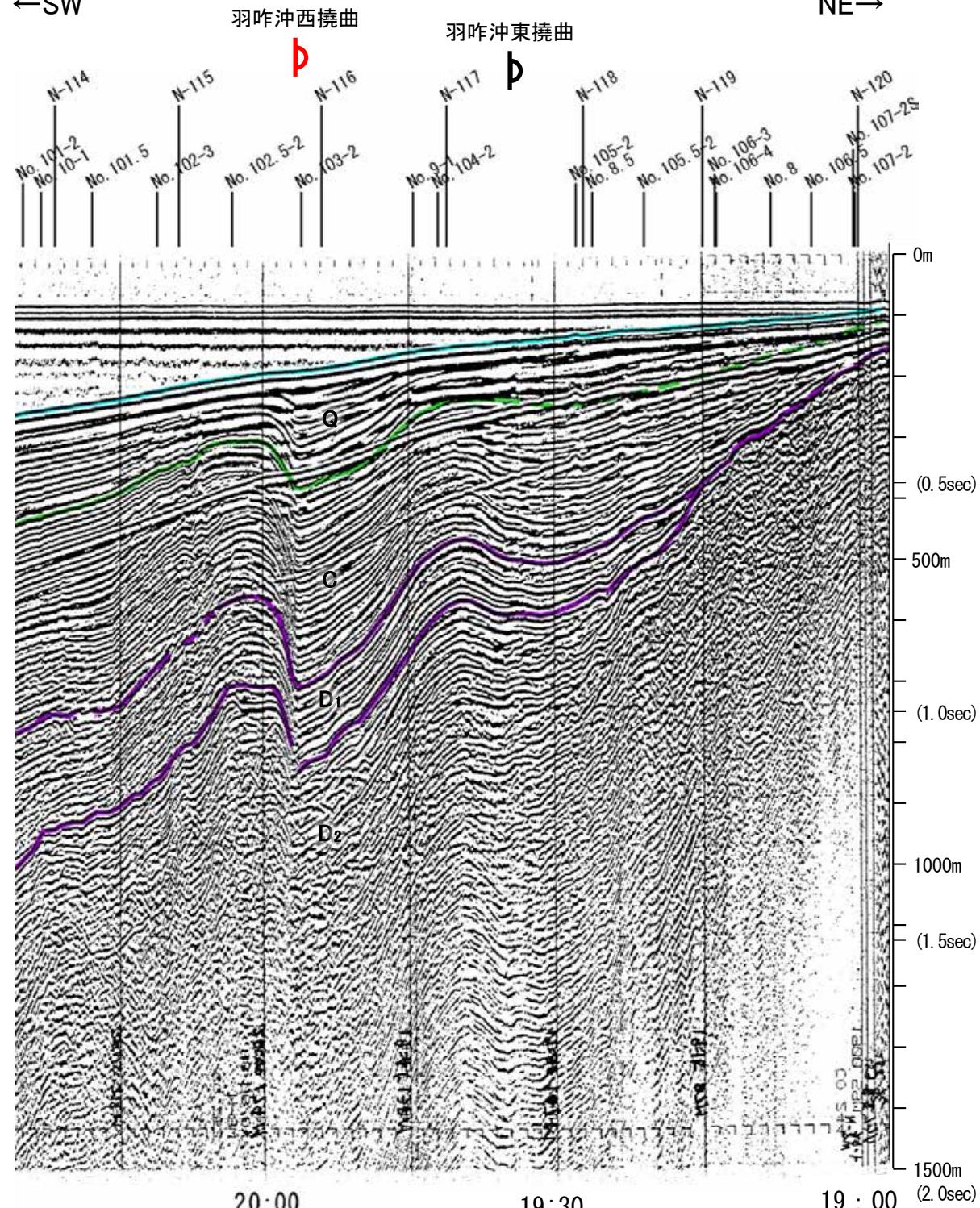
←SW

NE→

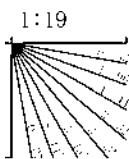


←SW

NE→

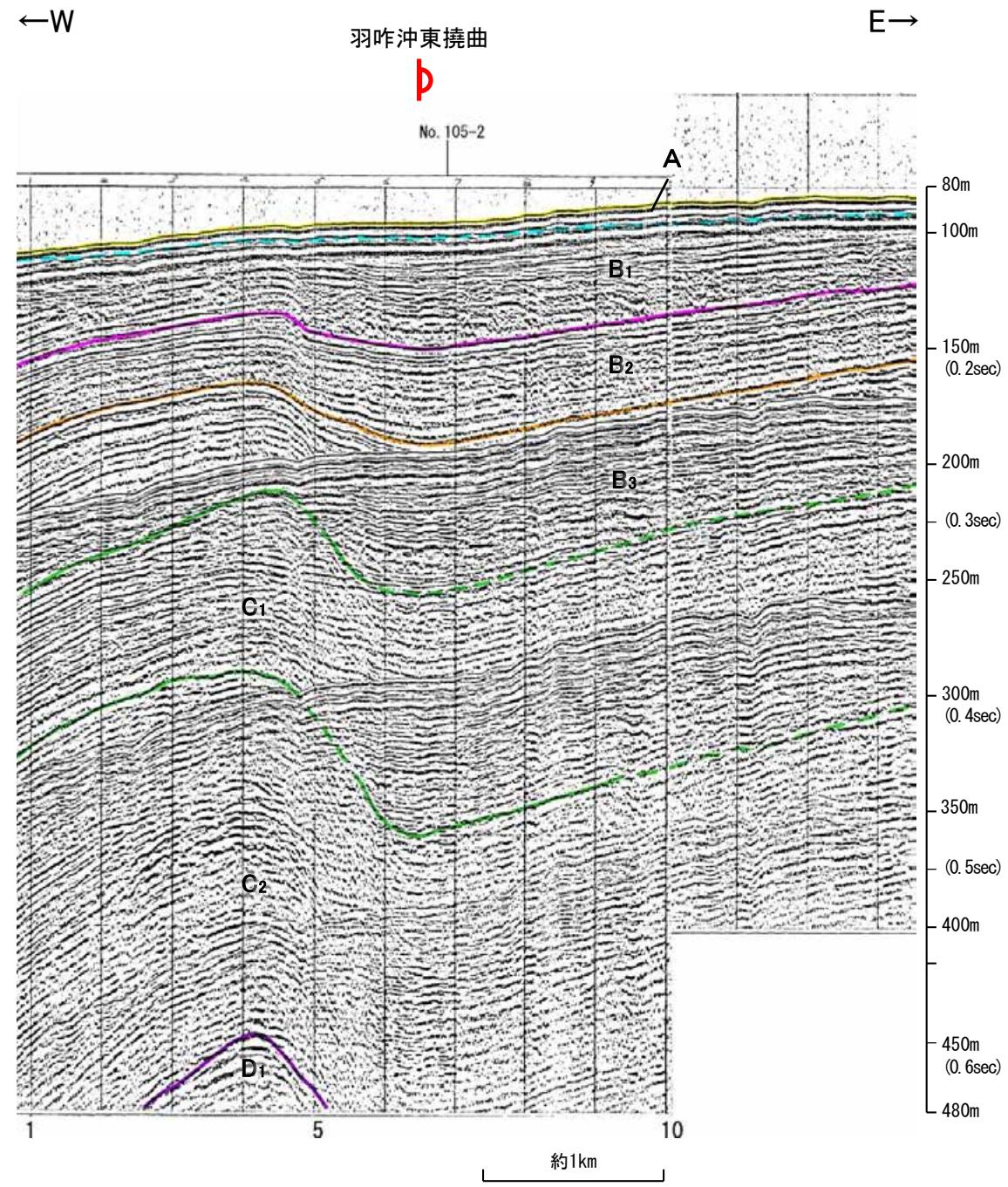
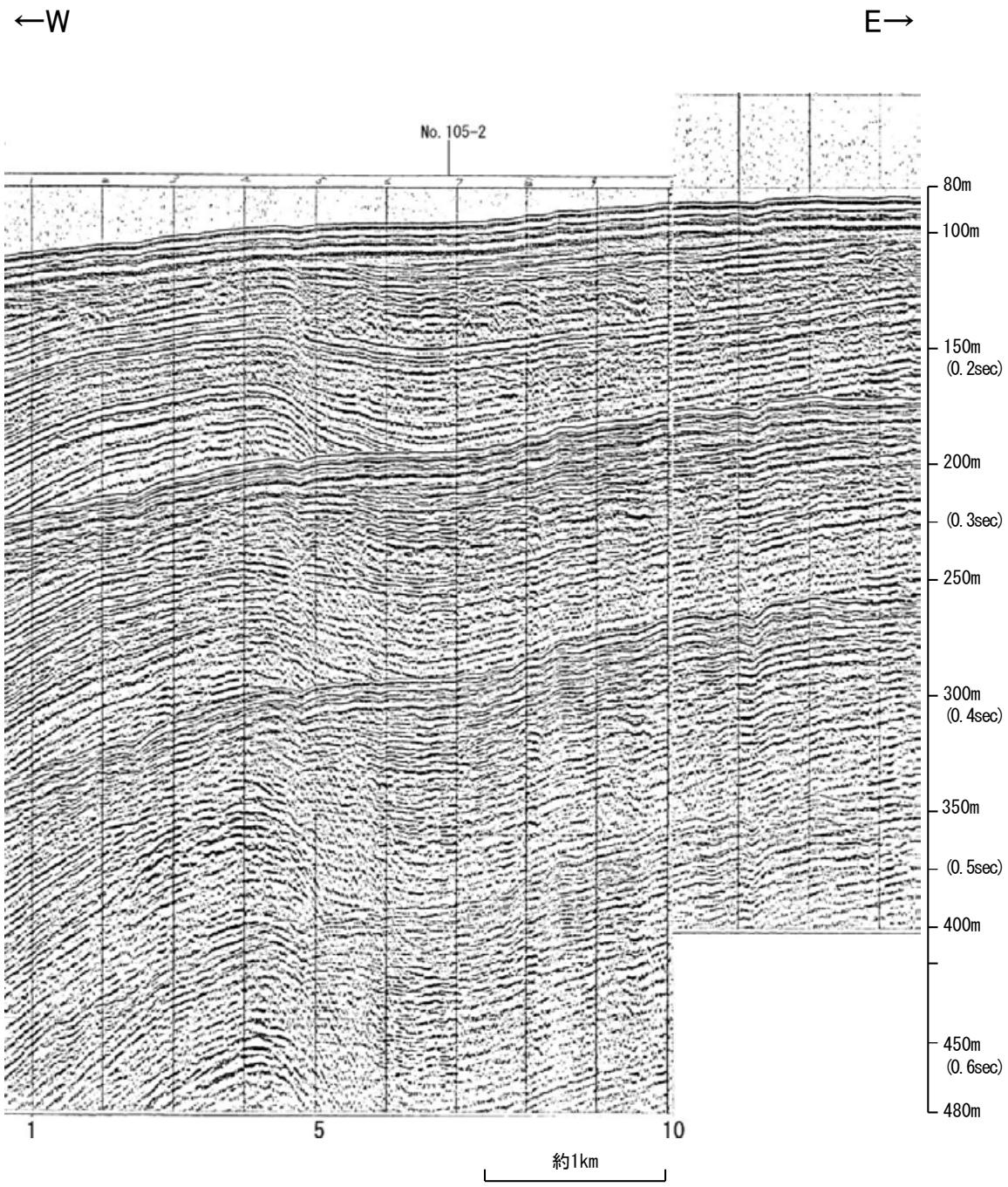


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世	Q層
	中期	B層
第三紀	前期	B層
	鮮新世	C層
	中新世	C層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

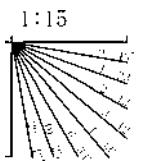


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

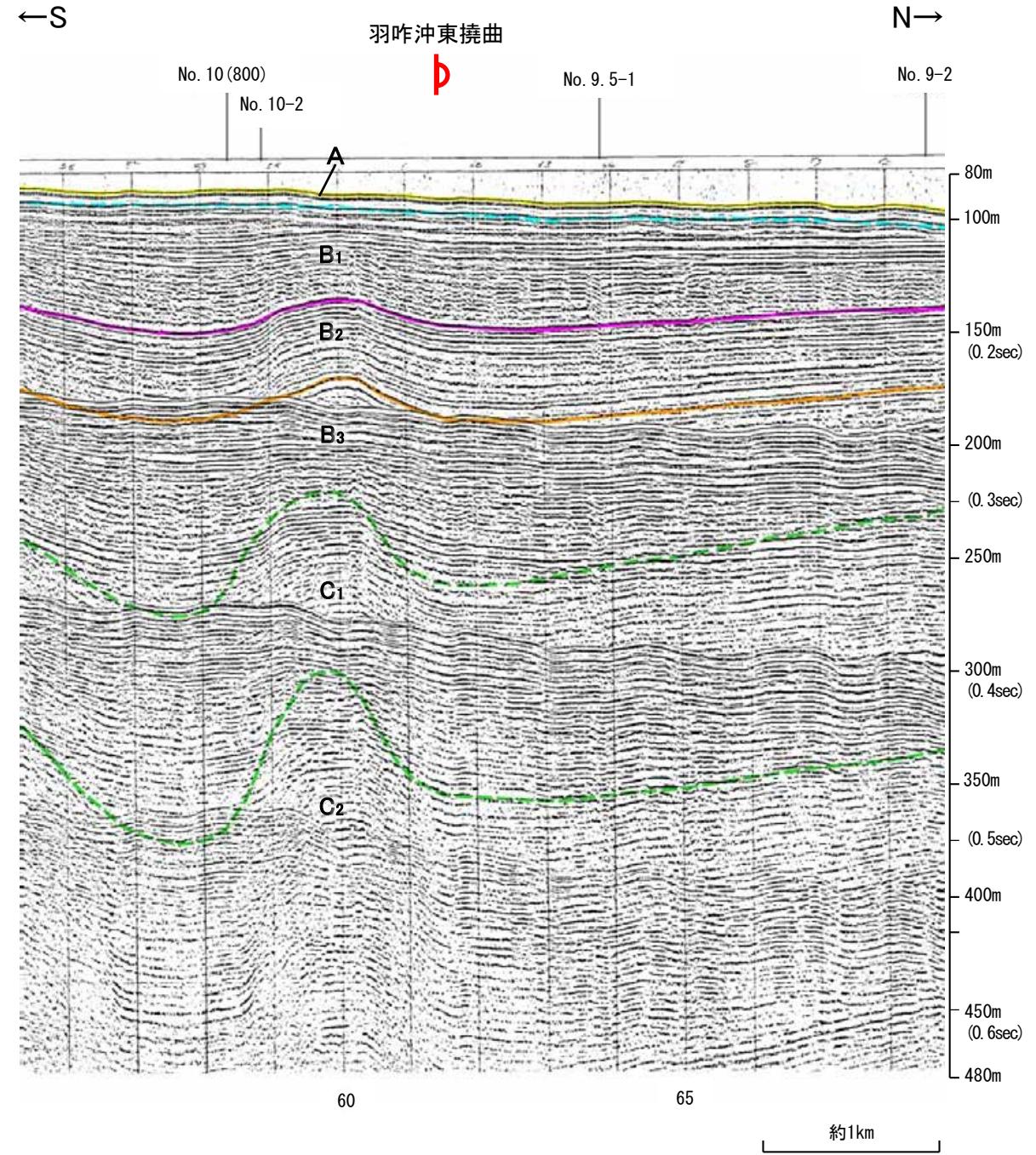
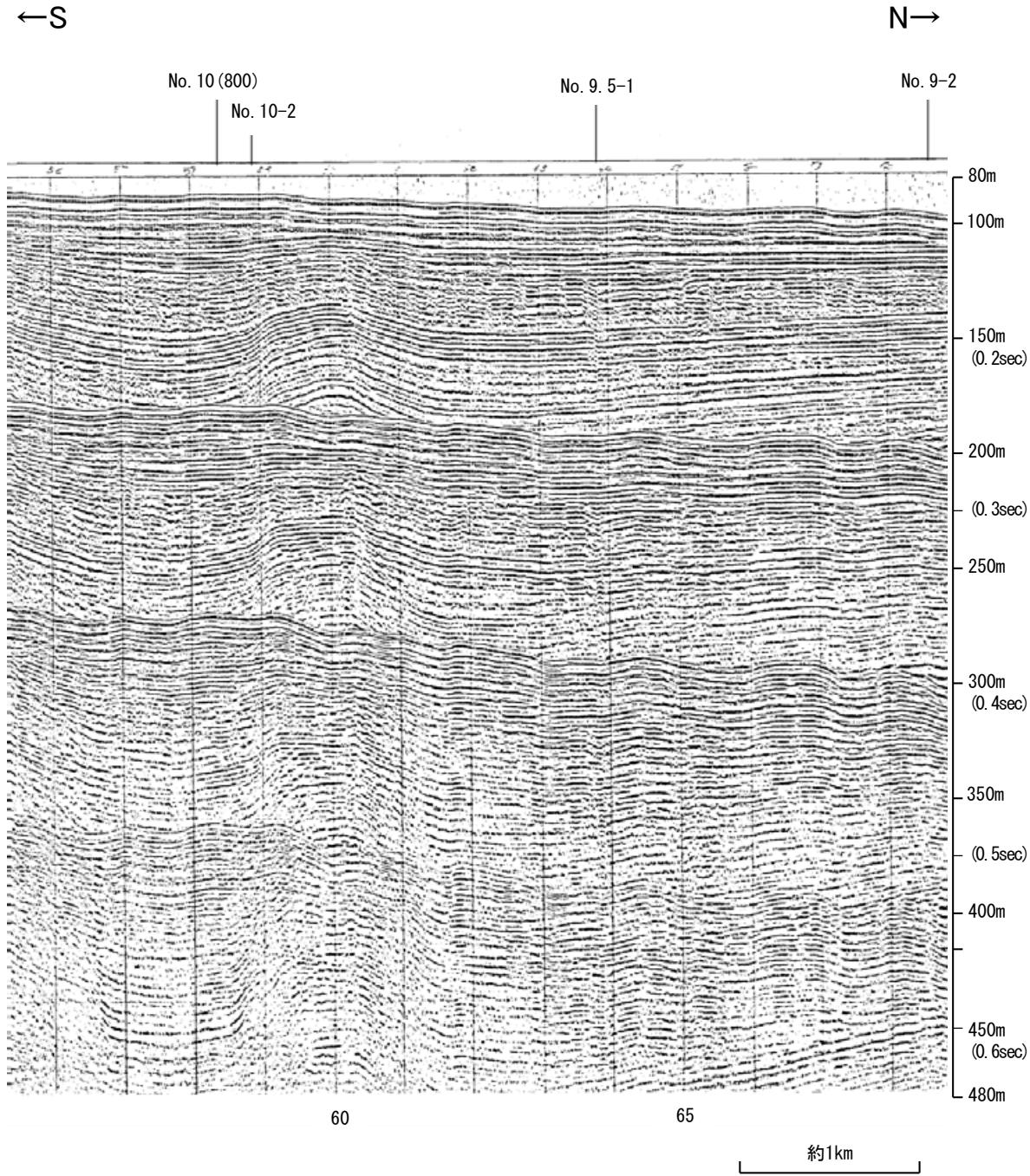
北陸電カスパーカー No.9.5-1



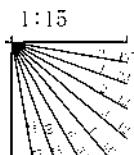
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	B層	B ₁ 層
		B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C層
鮮新世	C ₁ 層	
	D ₁ 層	
中新世	D層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



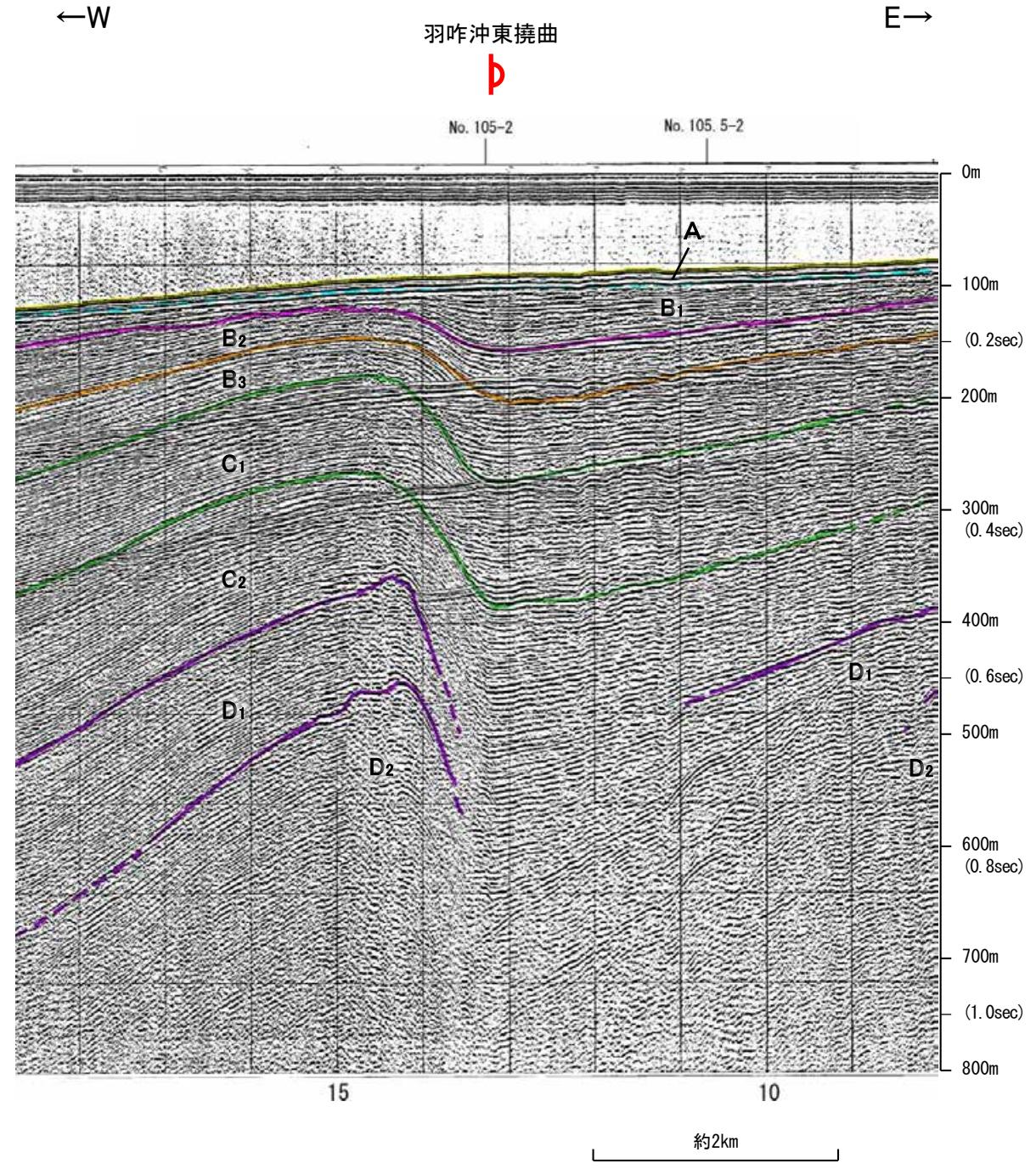
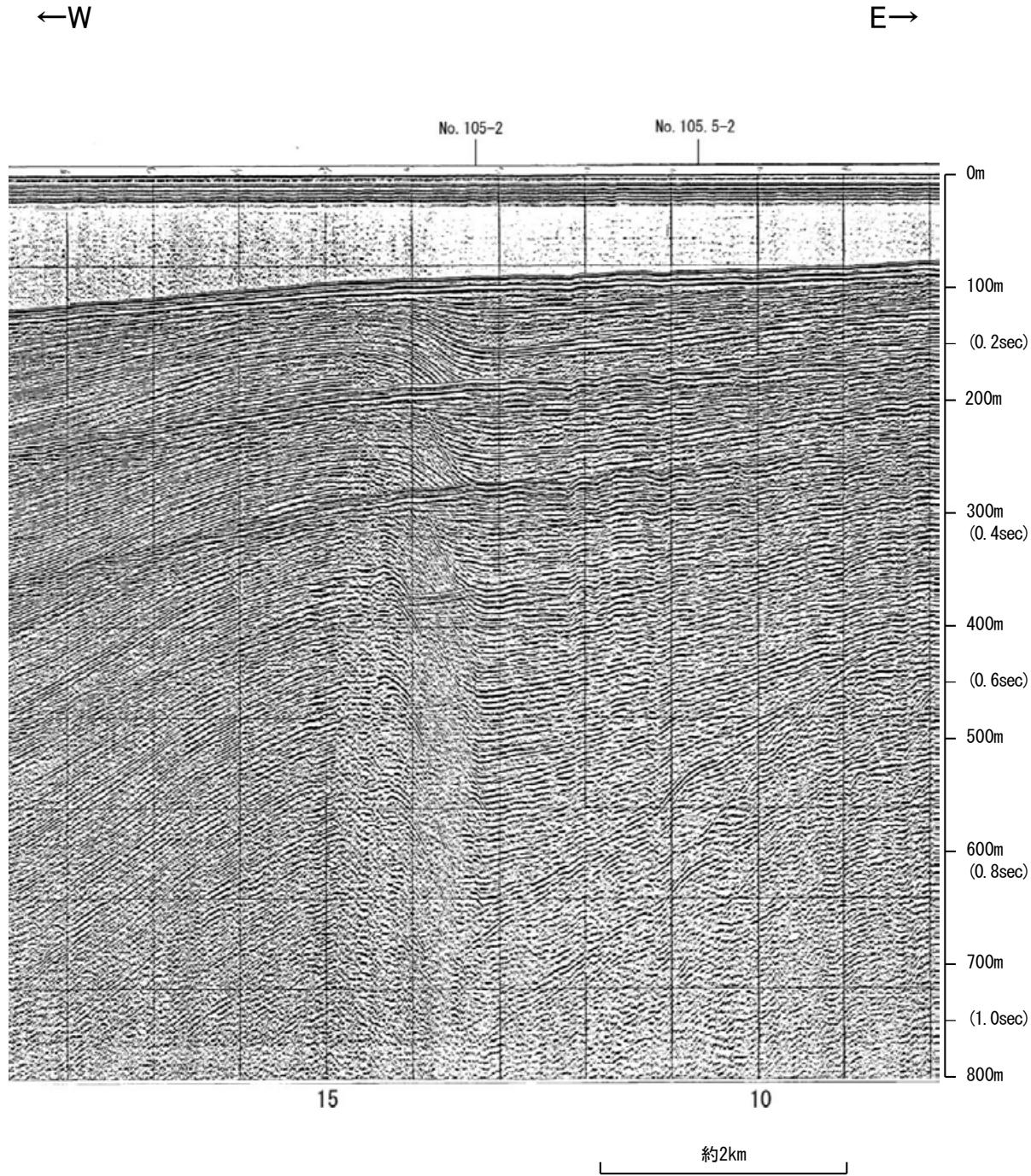
北陸電カスパーカー No.105-2



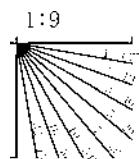
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



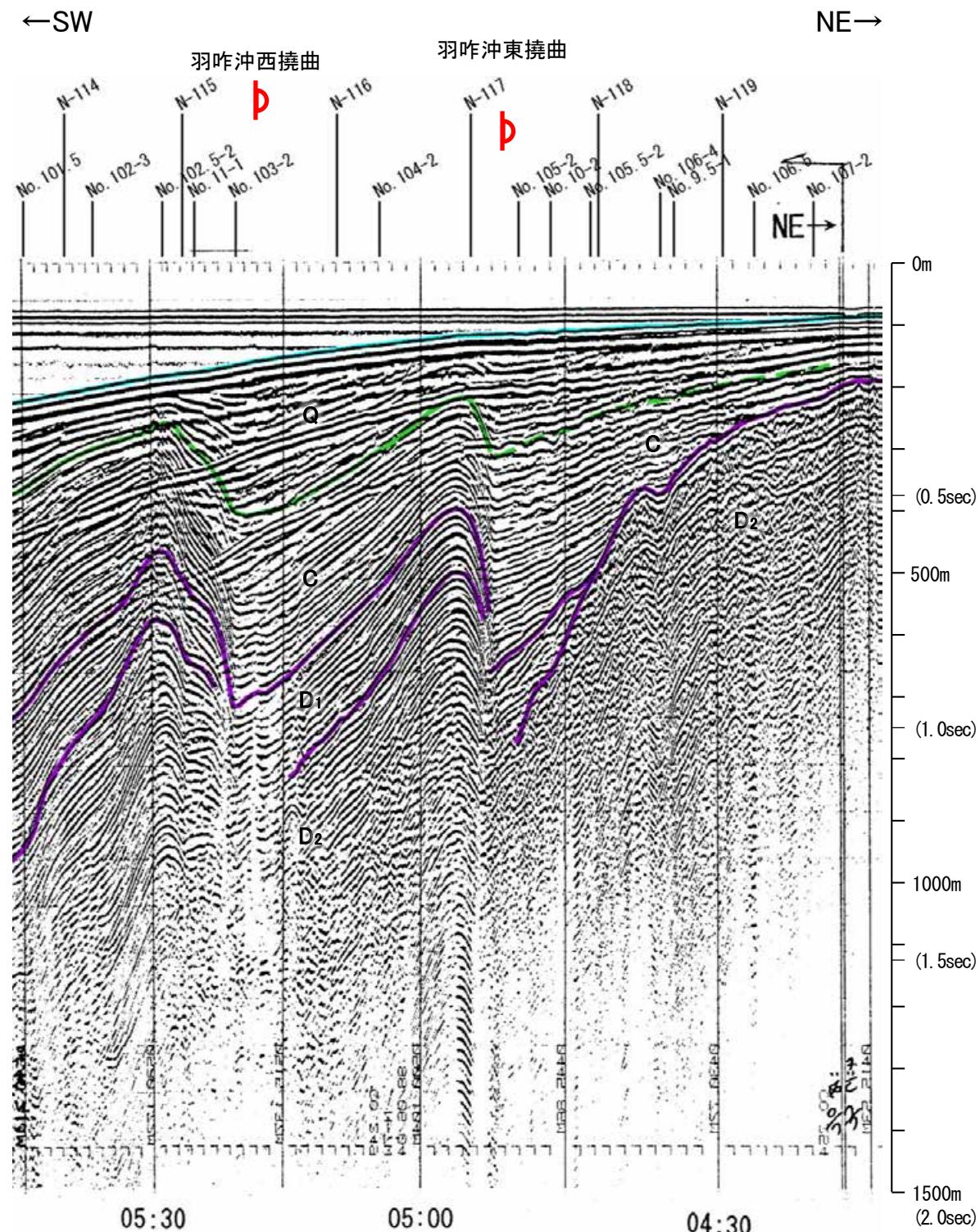
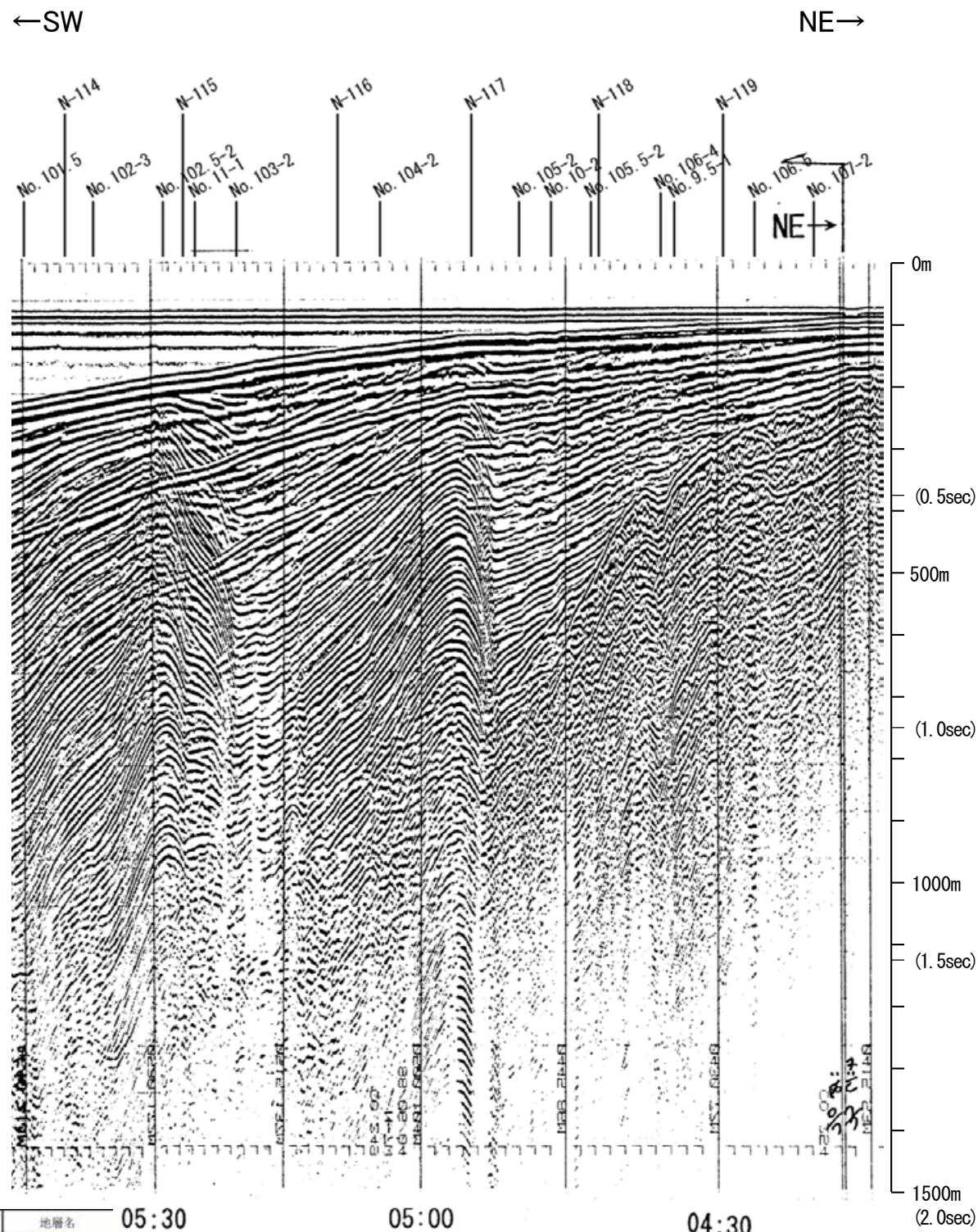
北陸電カスパーカー No.10(800)



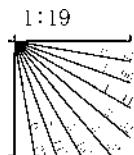
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	鮮新世	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀		D ₂ 層



地質調査所エアガン N-7W

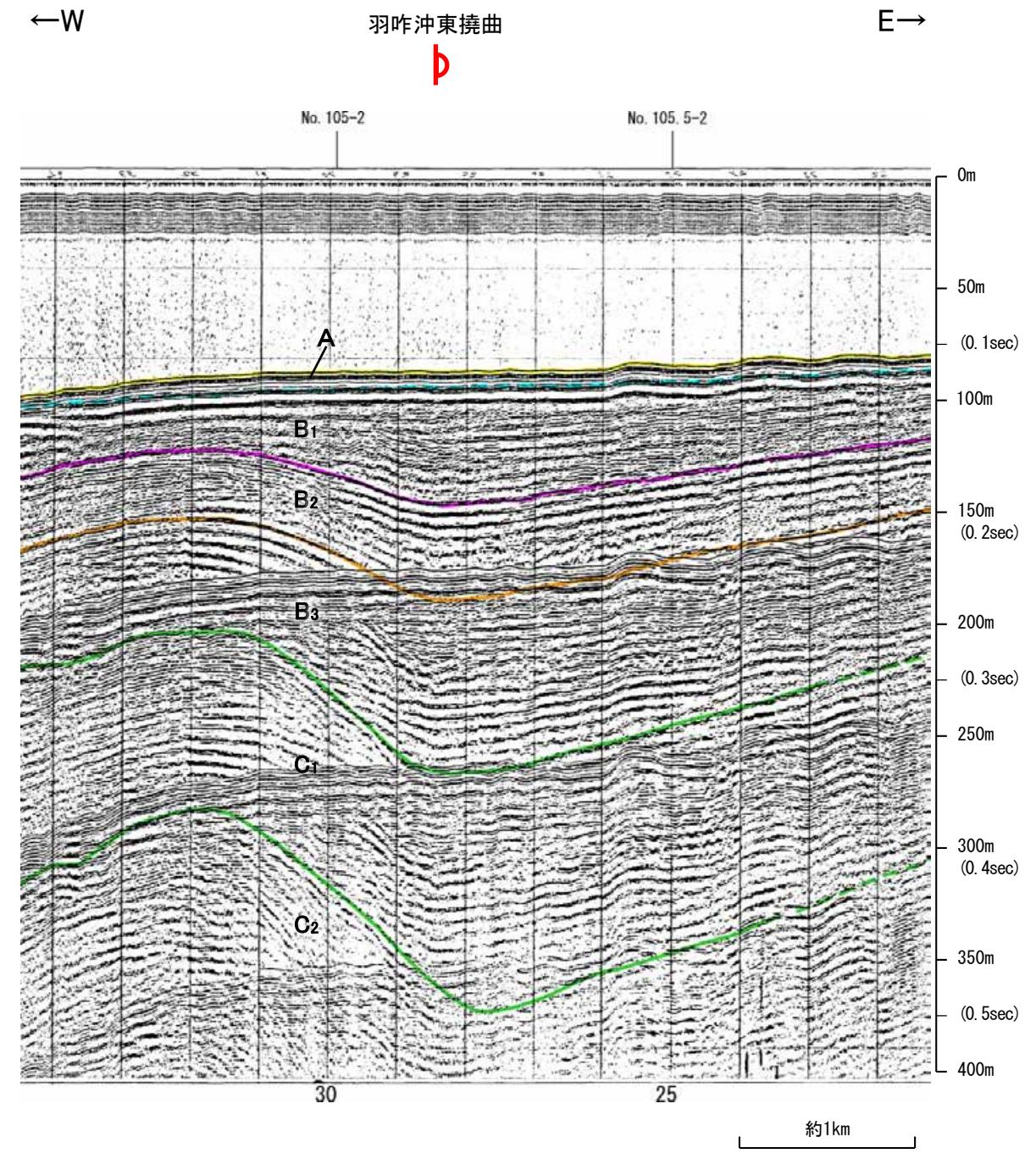
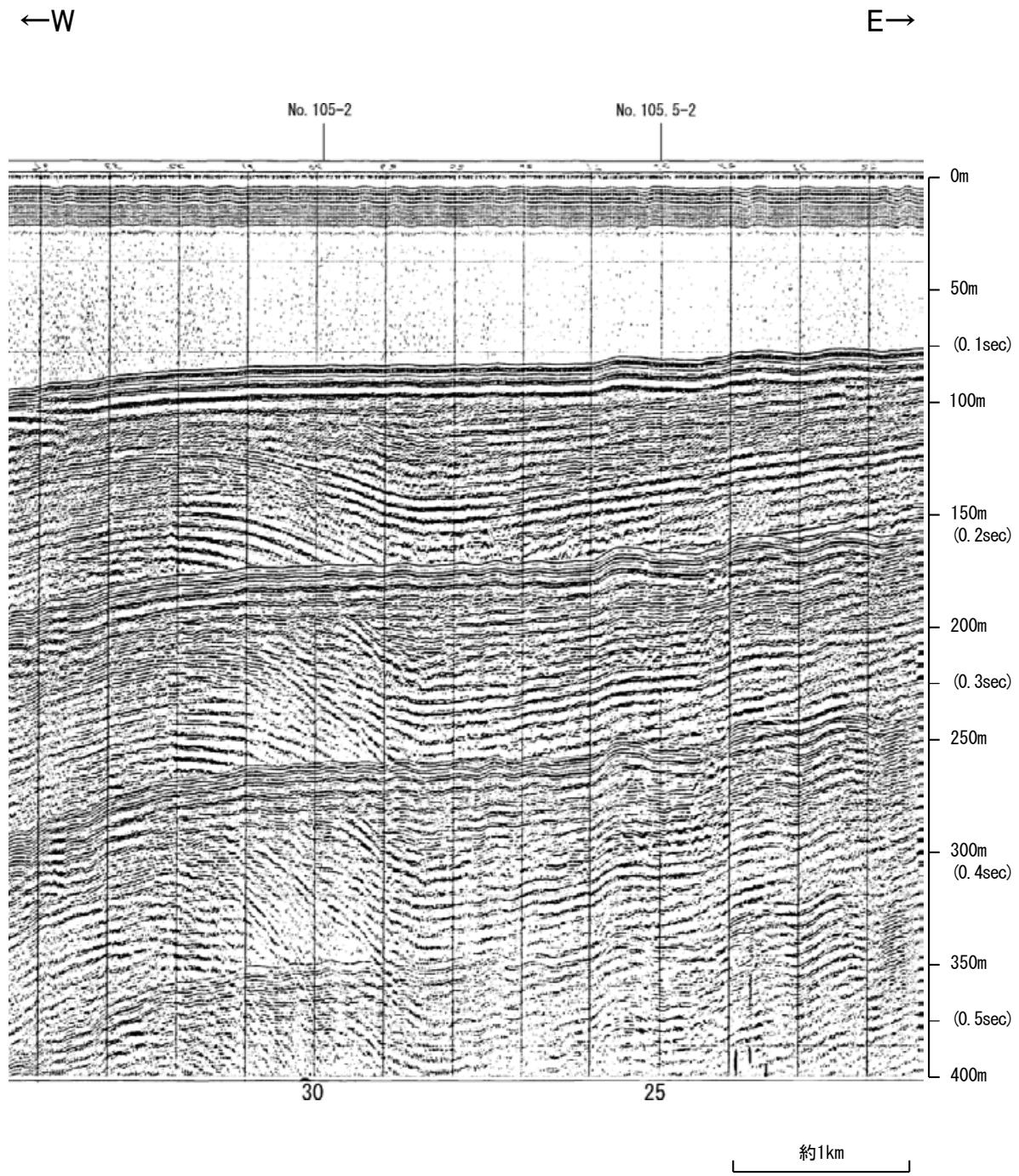


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	C層	
	C層	
第三紀	鮮新世	D層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

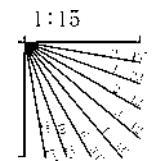


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

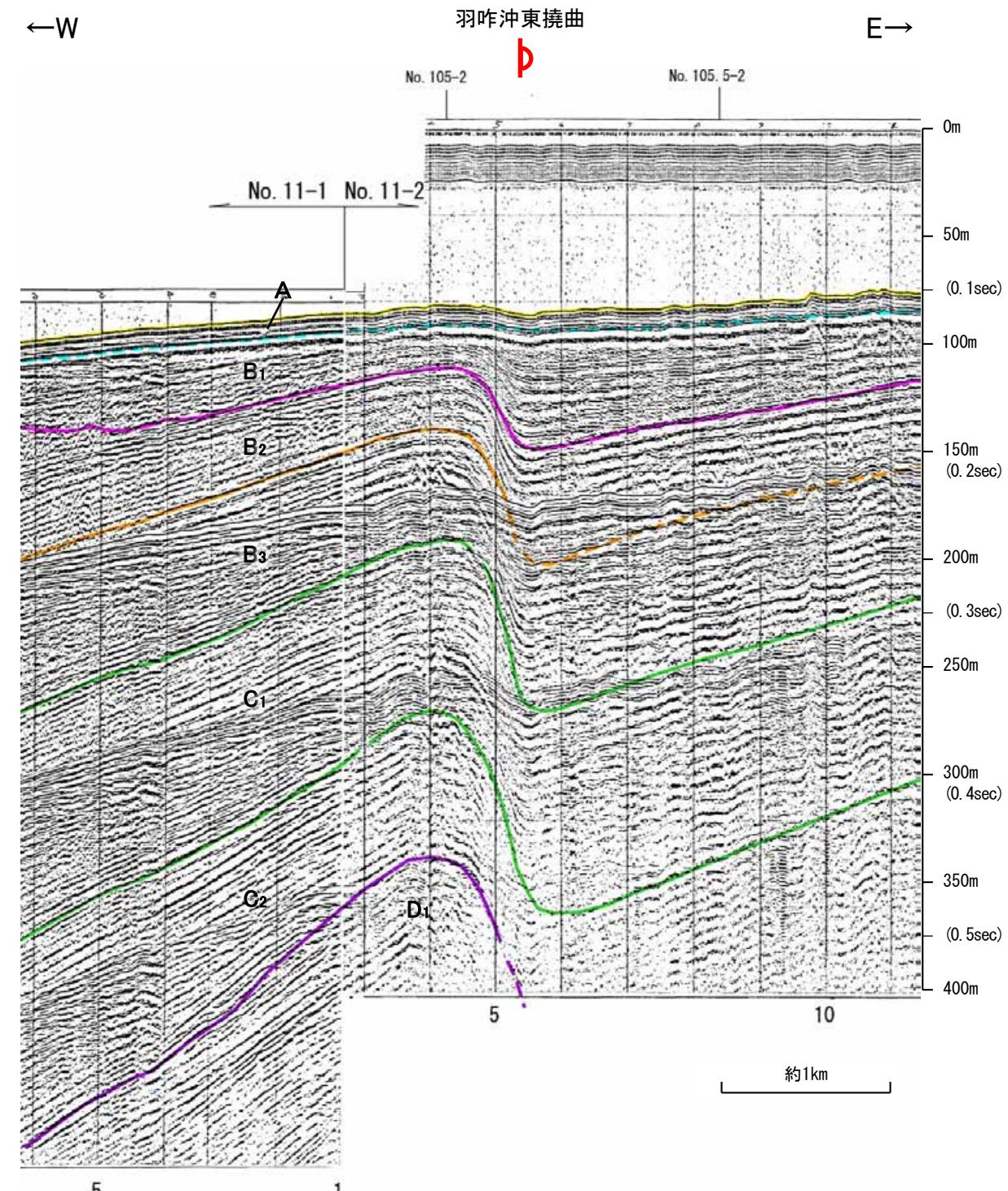
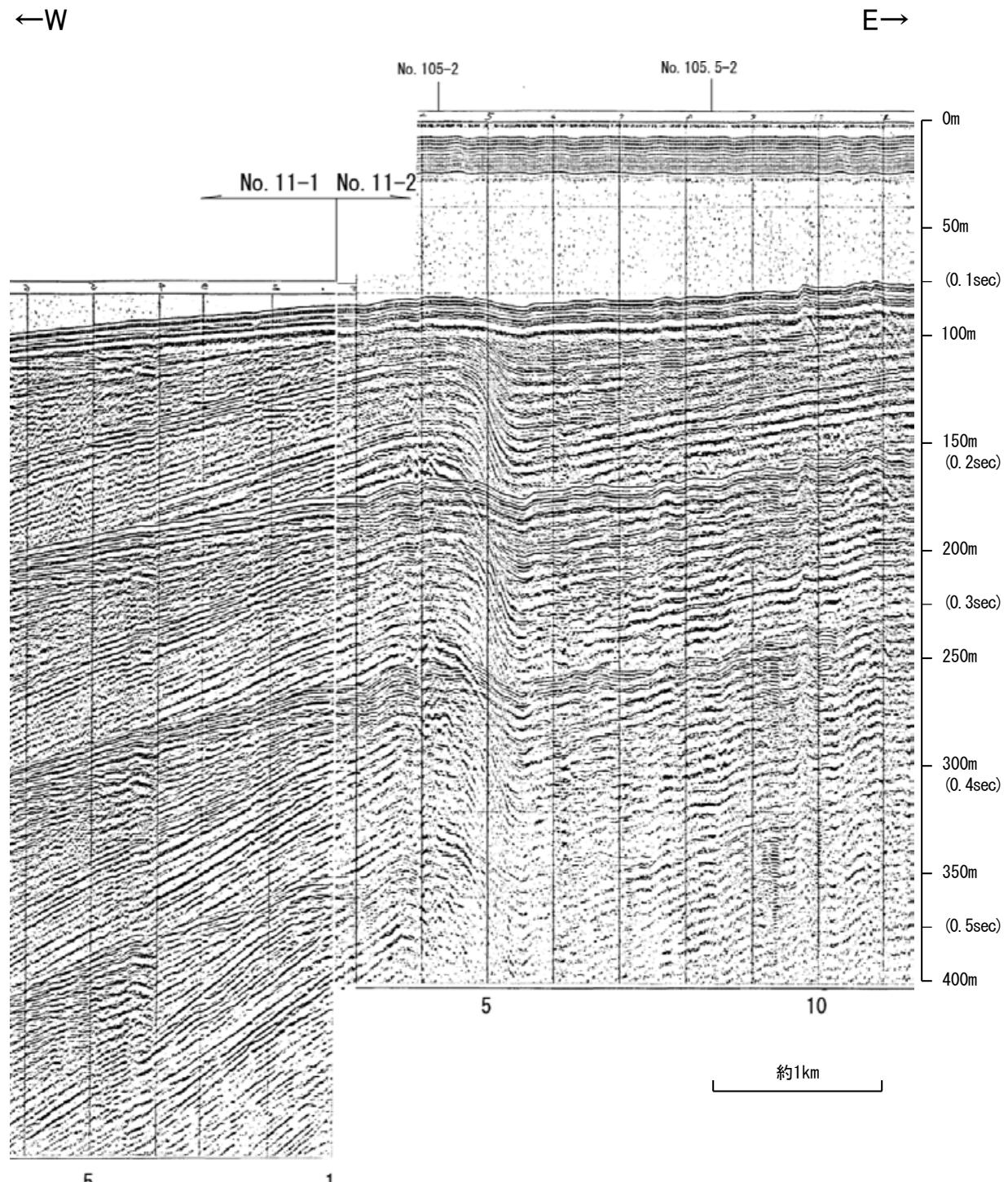
北陸電カスパーカー No.10.5



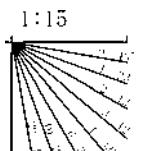
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D層	



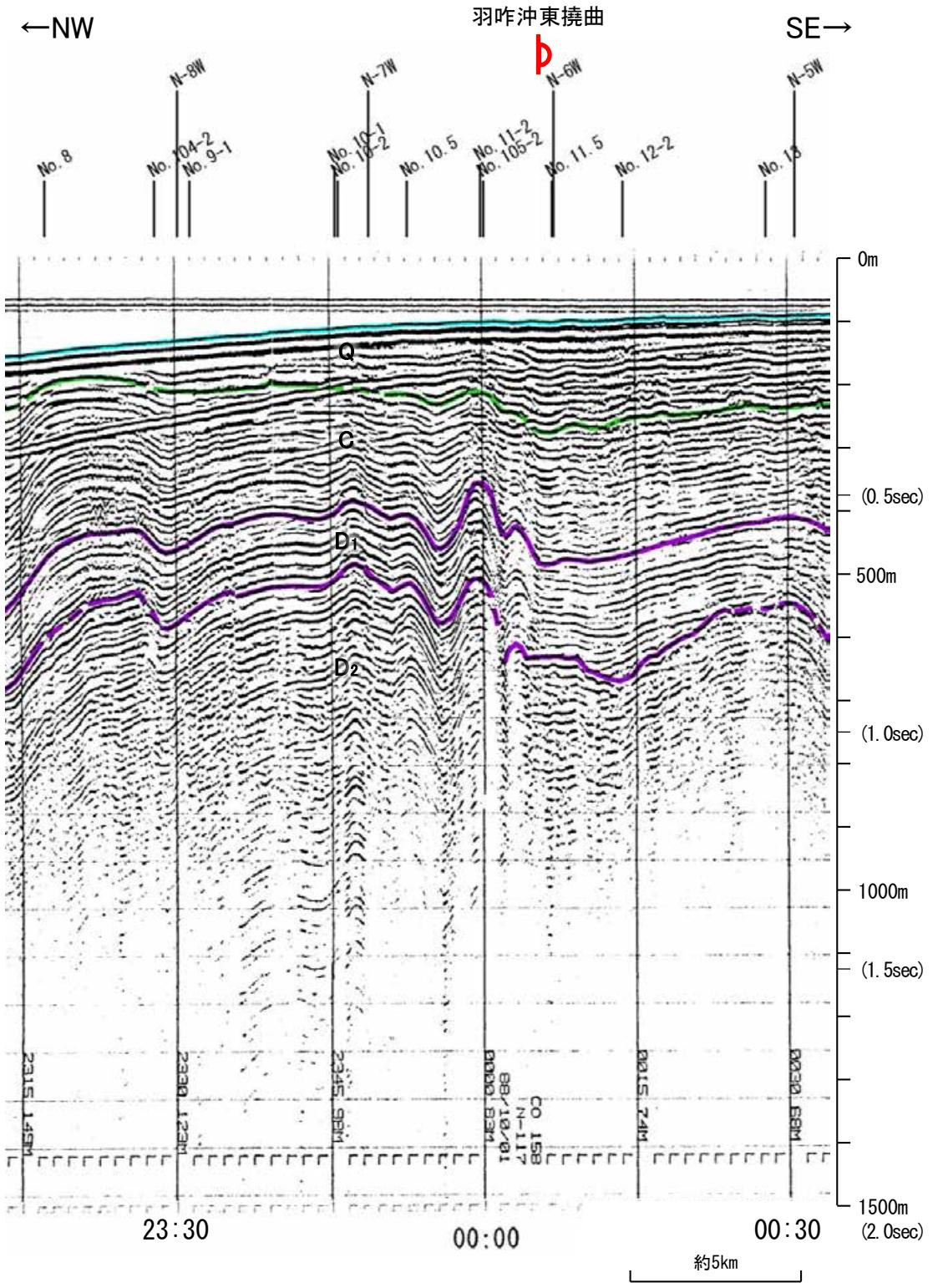
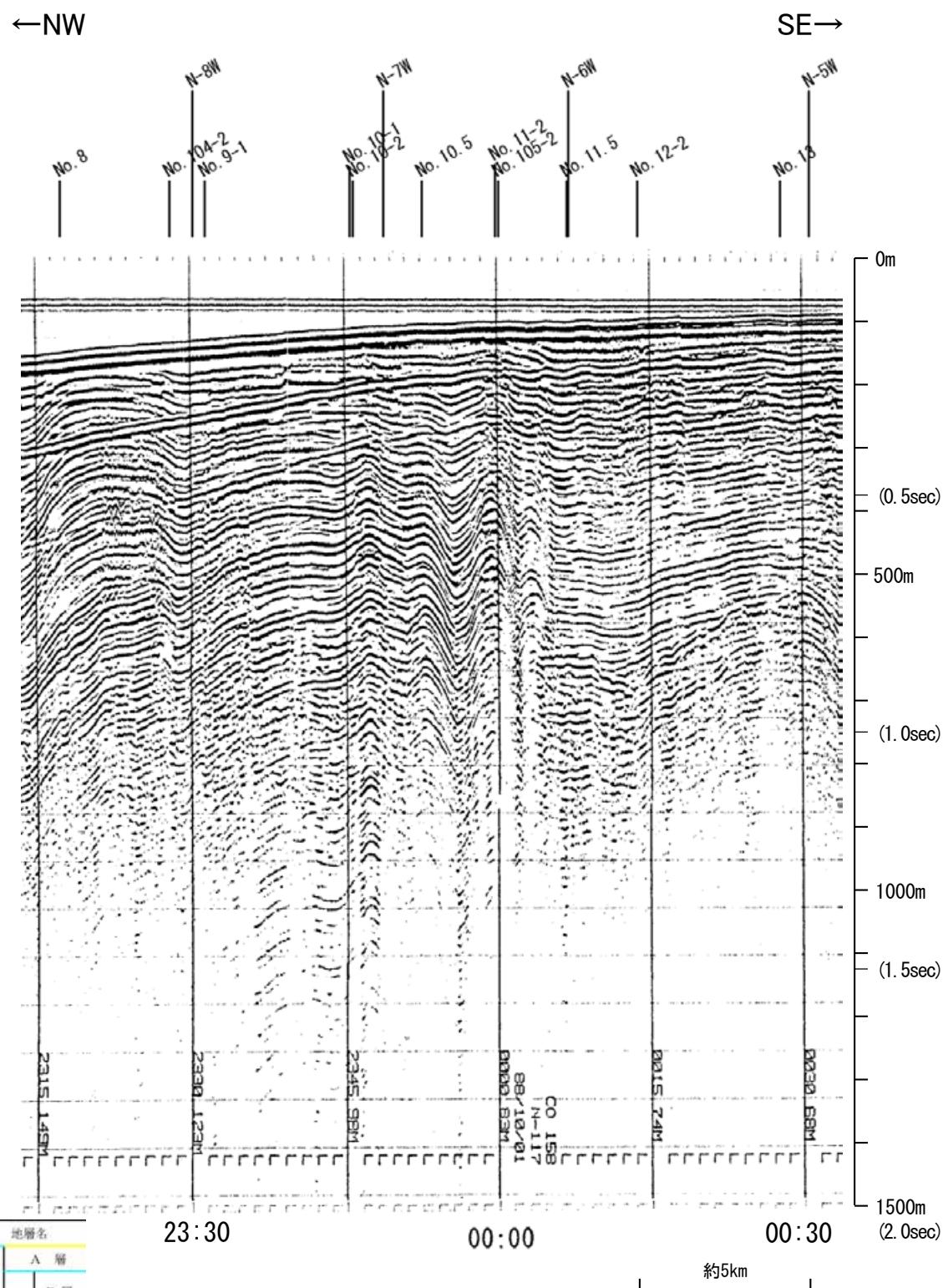
北陸電カスパーカー No.11-1, No11-2



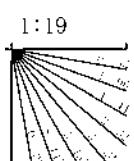
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B層
		B ₂ 層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世	D層	
	D ₁ 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



地質調査所エアガン N-117

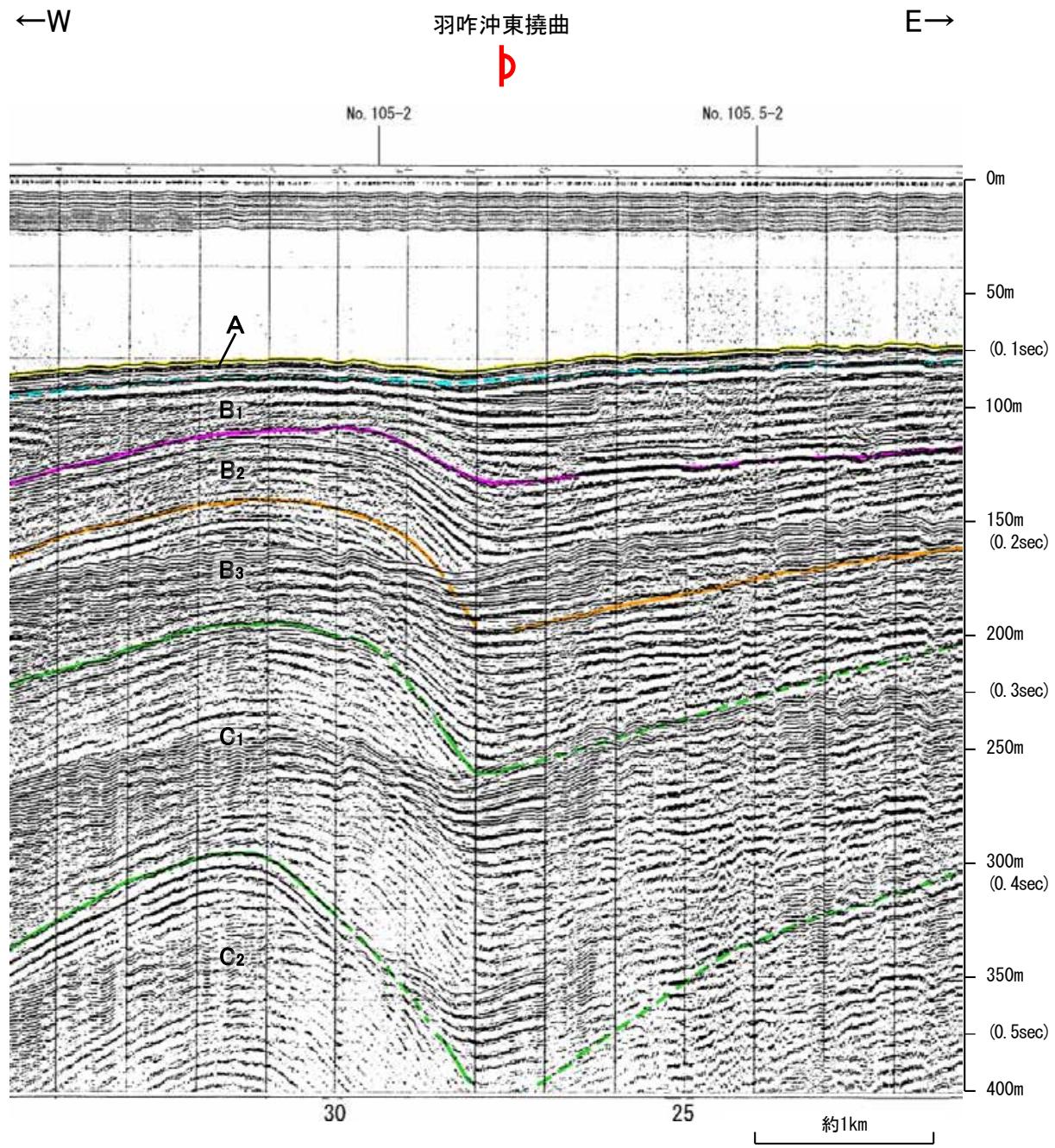
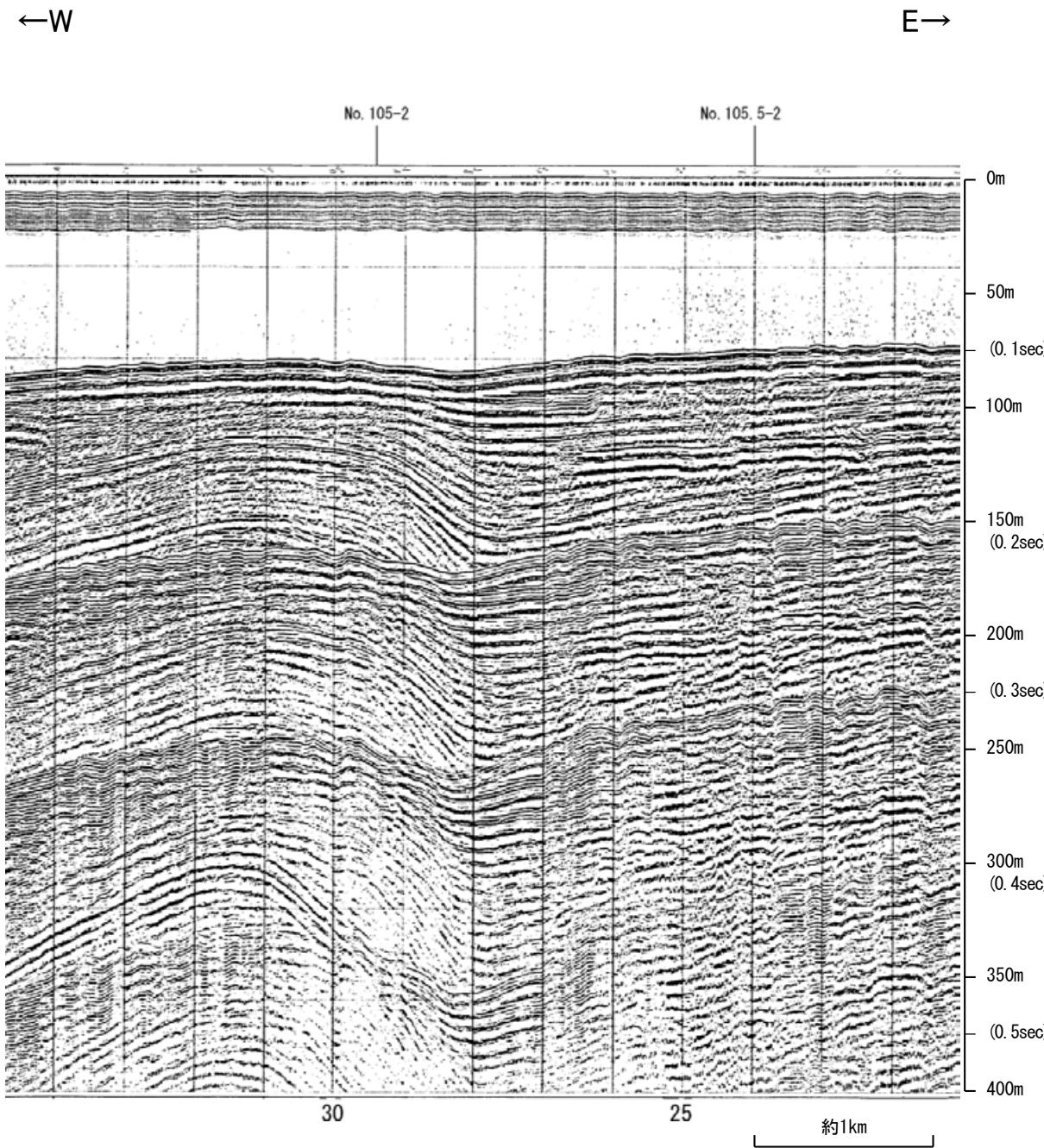


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	Q層
	更新世	B層
	中期	B層
第三紀	前期	C層
	鮮新世	C層
古第三紀	中新世	D層
	先第三紀	D層

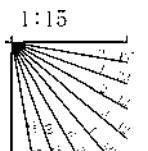


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

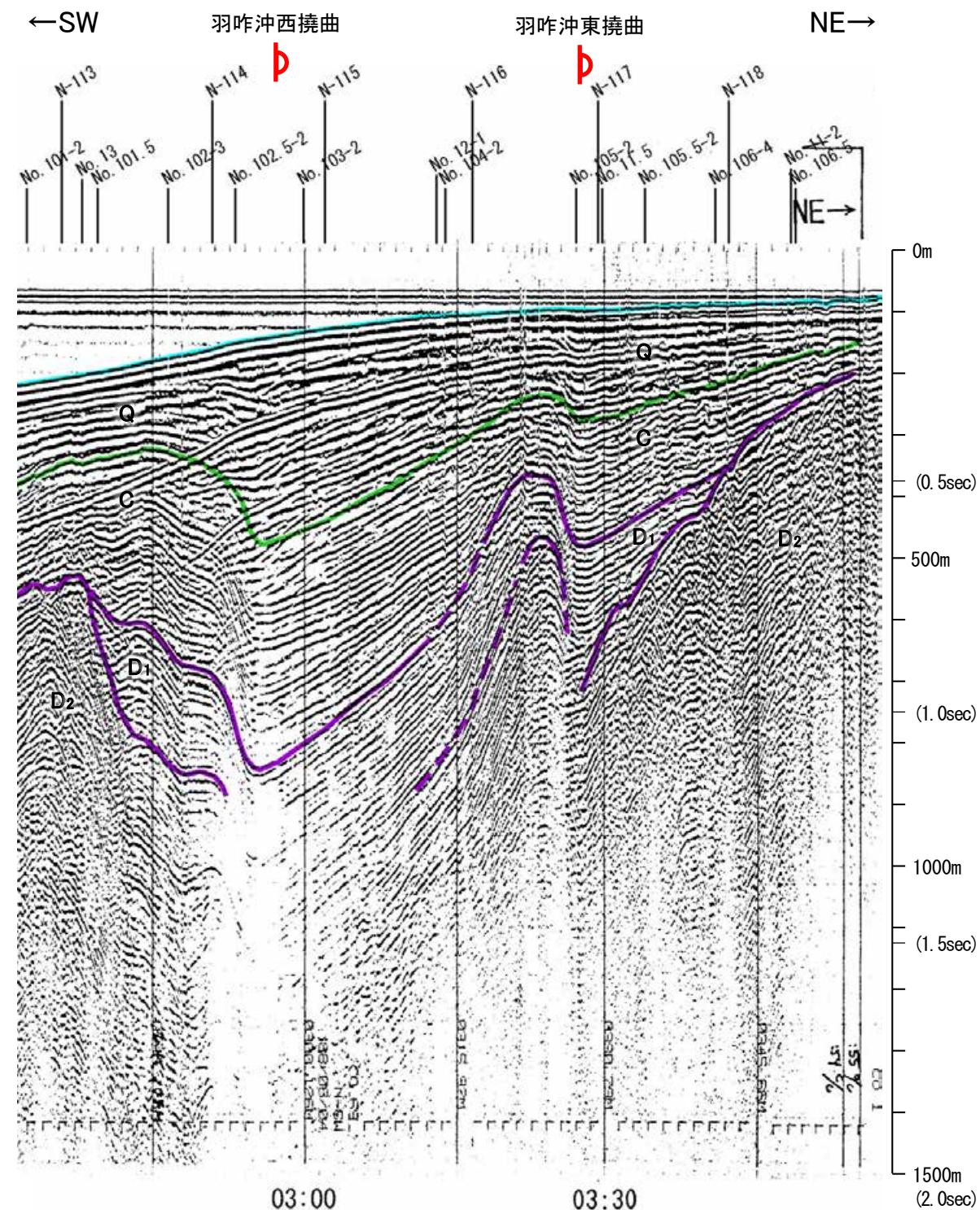
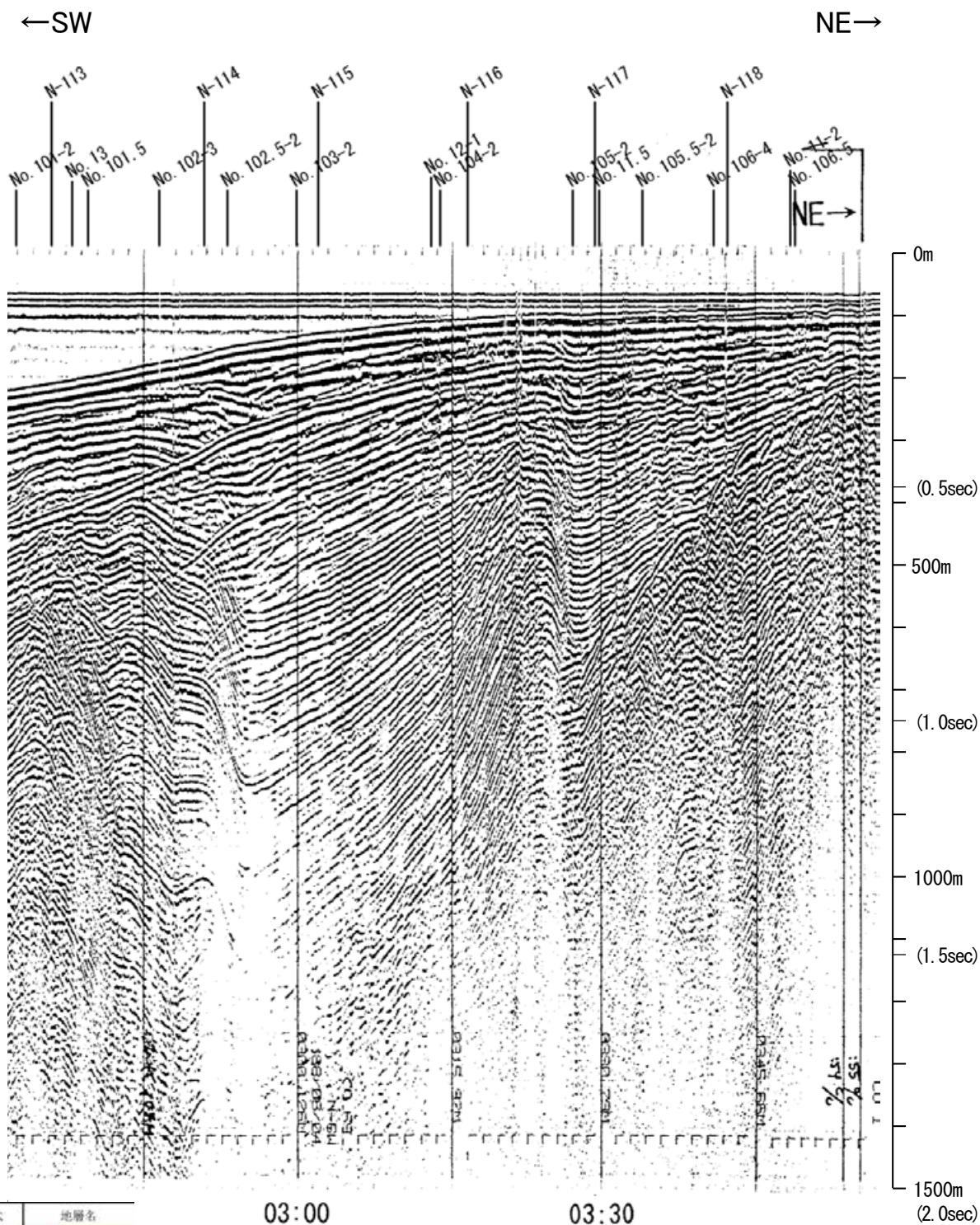
北陸電カスパーカー No.11.5



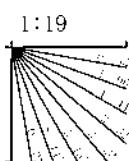
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	C ₁ 層
D層		C ₂ 層	
第三紀	中新世	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



地質調査所エアガン N-6W

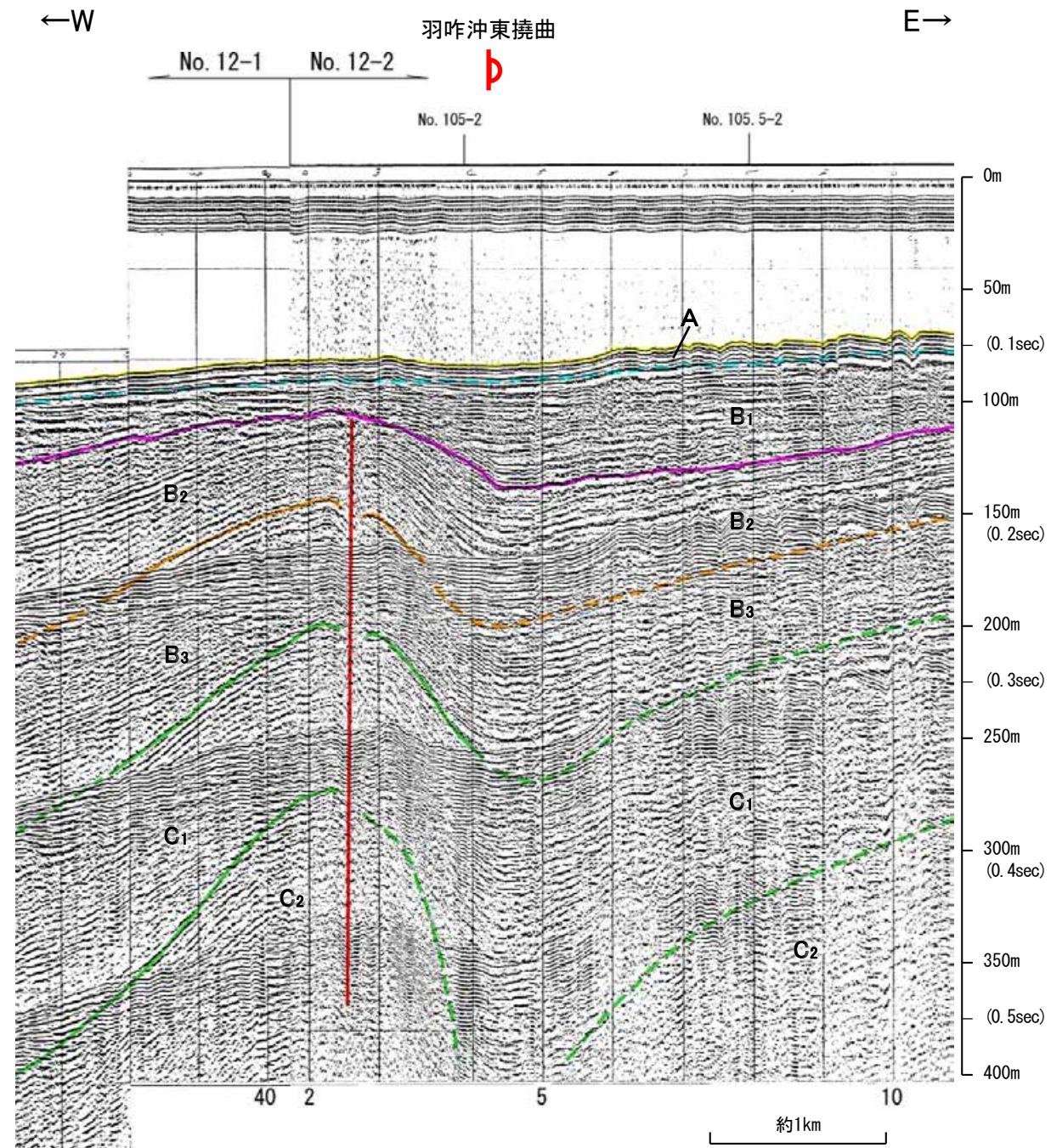
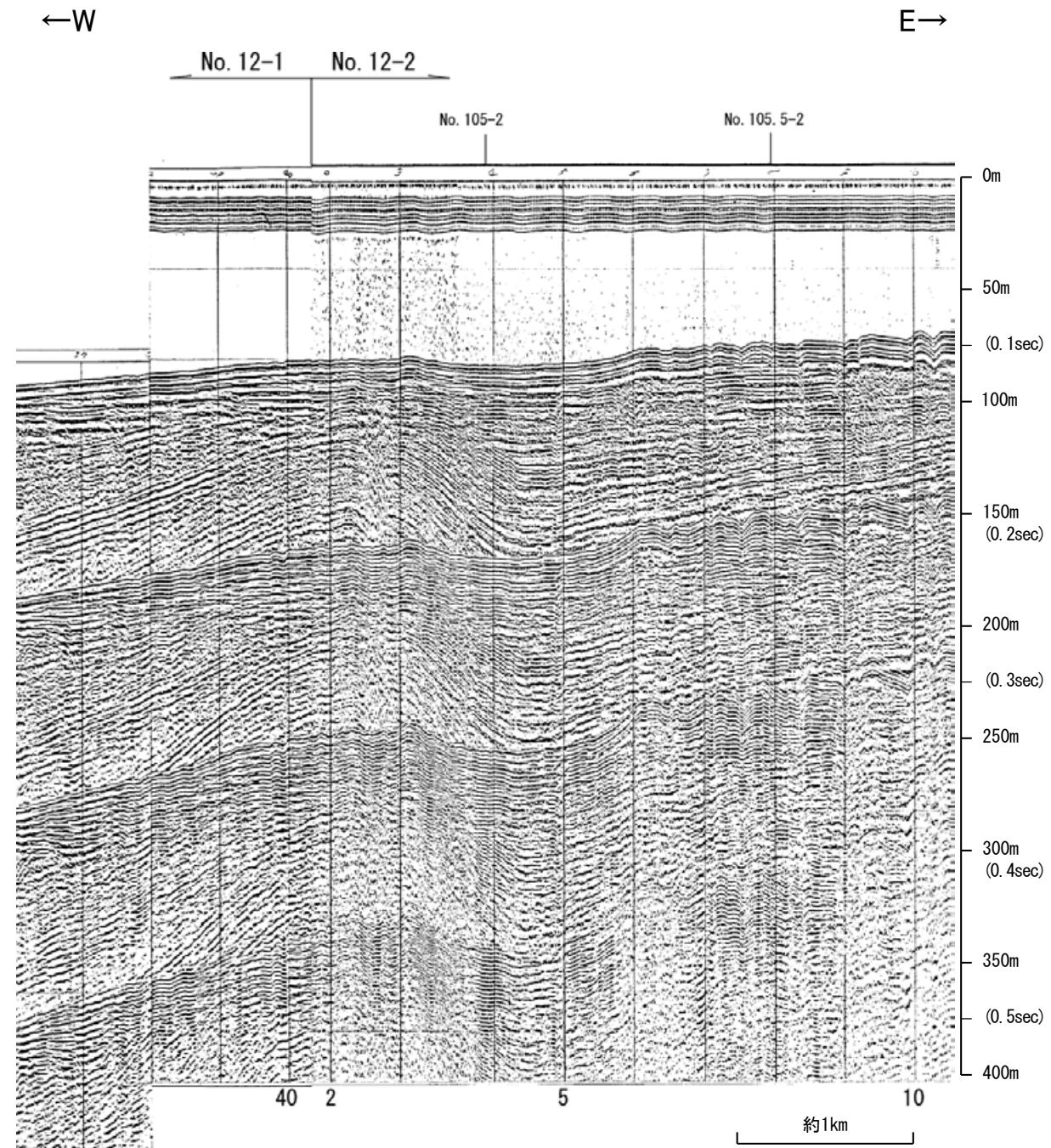


地質時代	地層名	
第四紀	更新世 末期	A層
	更新世 中期	Q層 B層 B層 B層
	更新世 前期	C層
	鮮新世	C層
第三紀	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

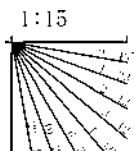


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

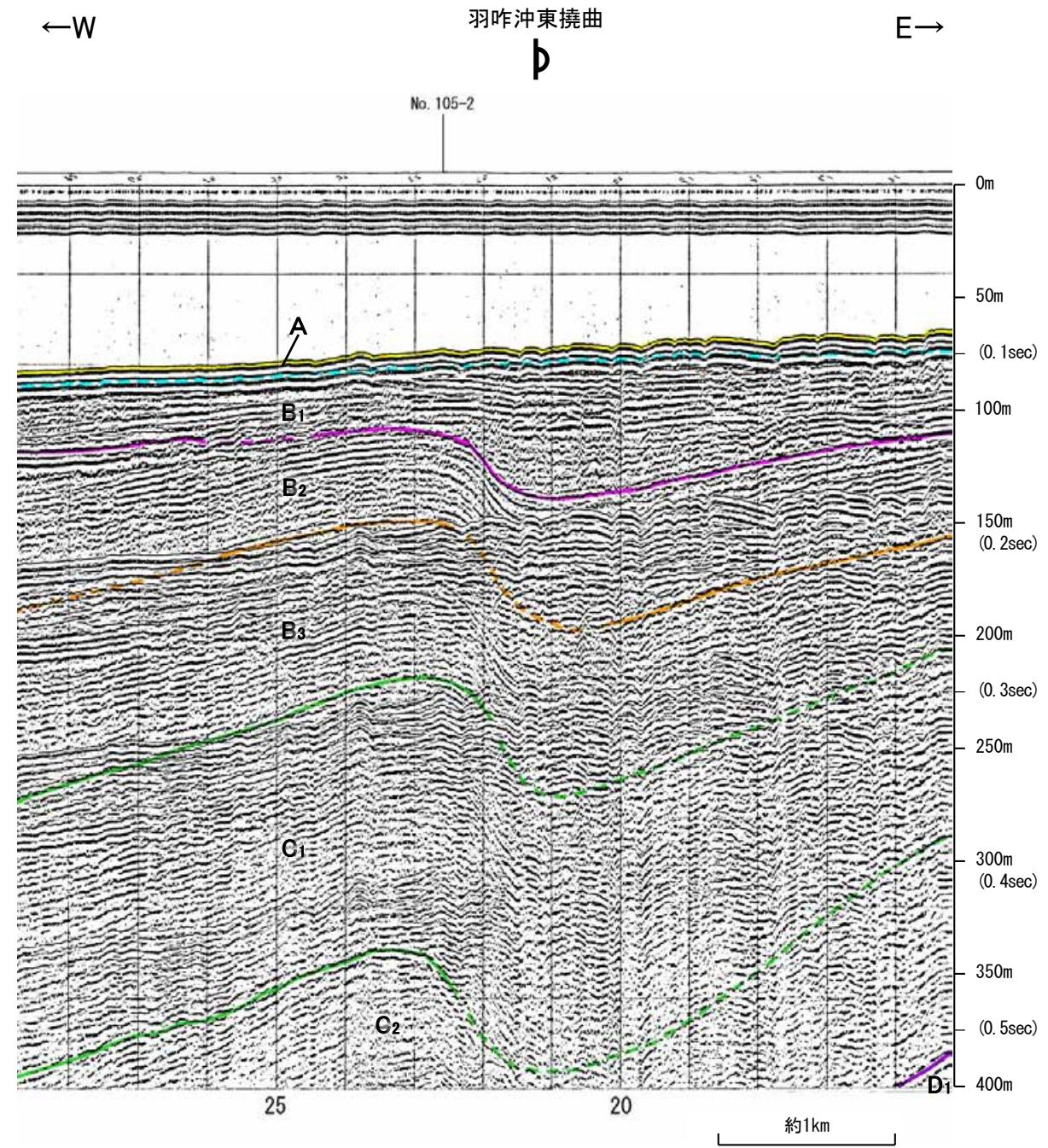
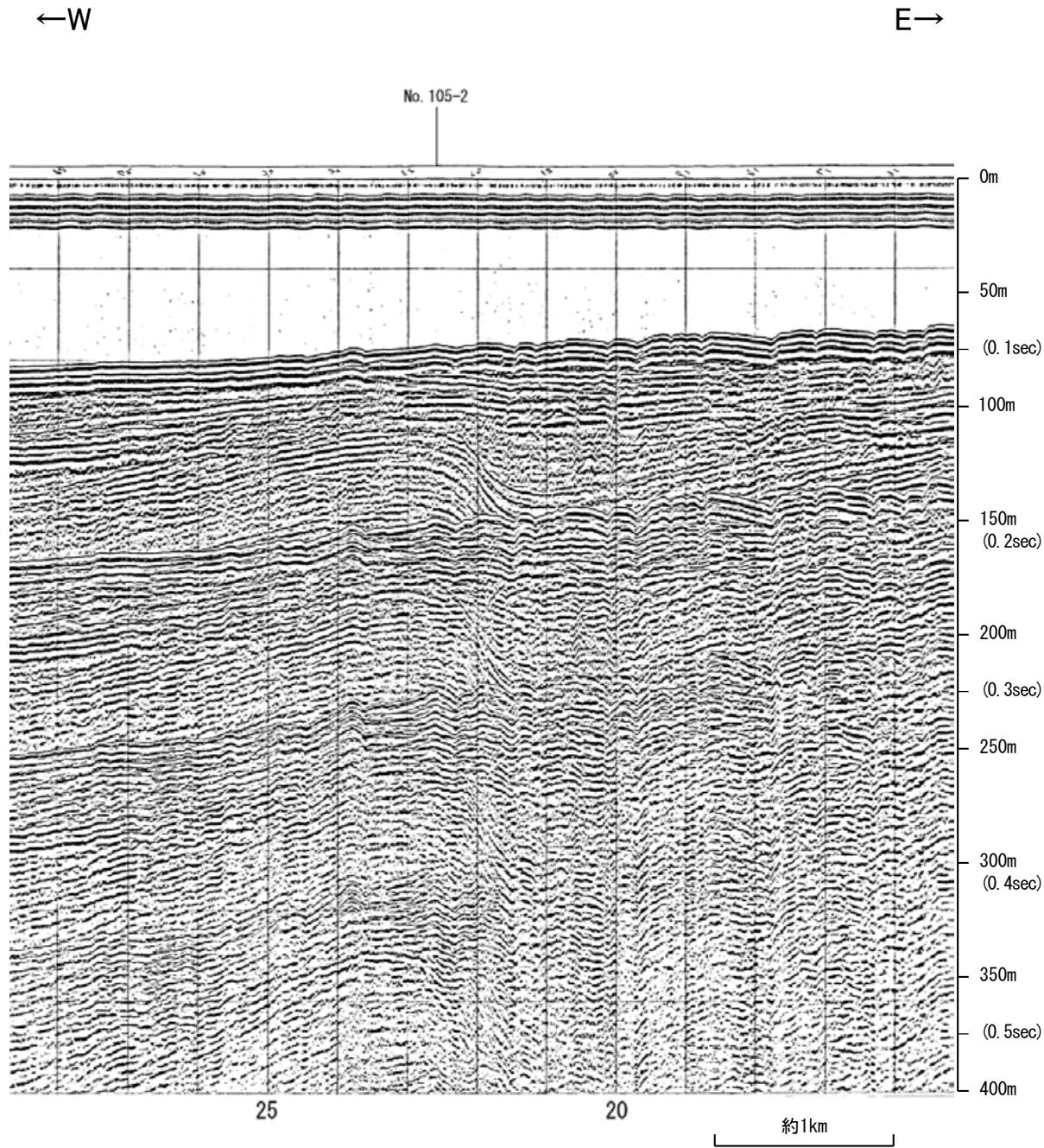
北陸電カスパーカー No.12-1, No.12-2



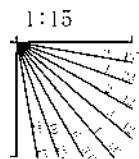
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	C ₁ 層	
	古第三紀	C ₂ 層	
先第三紀	D層		



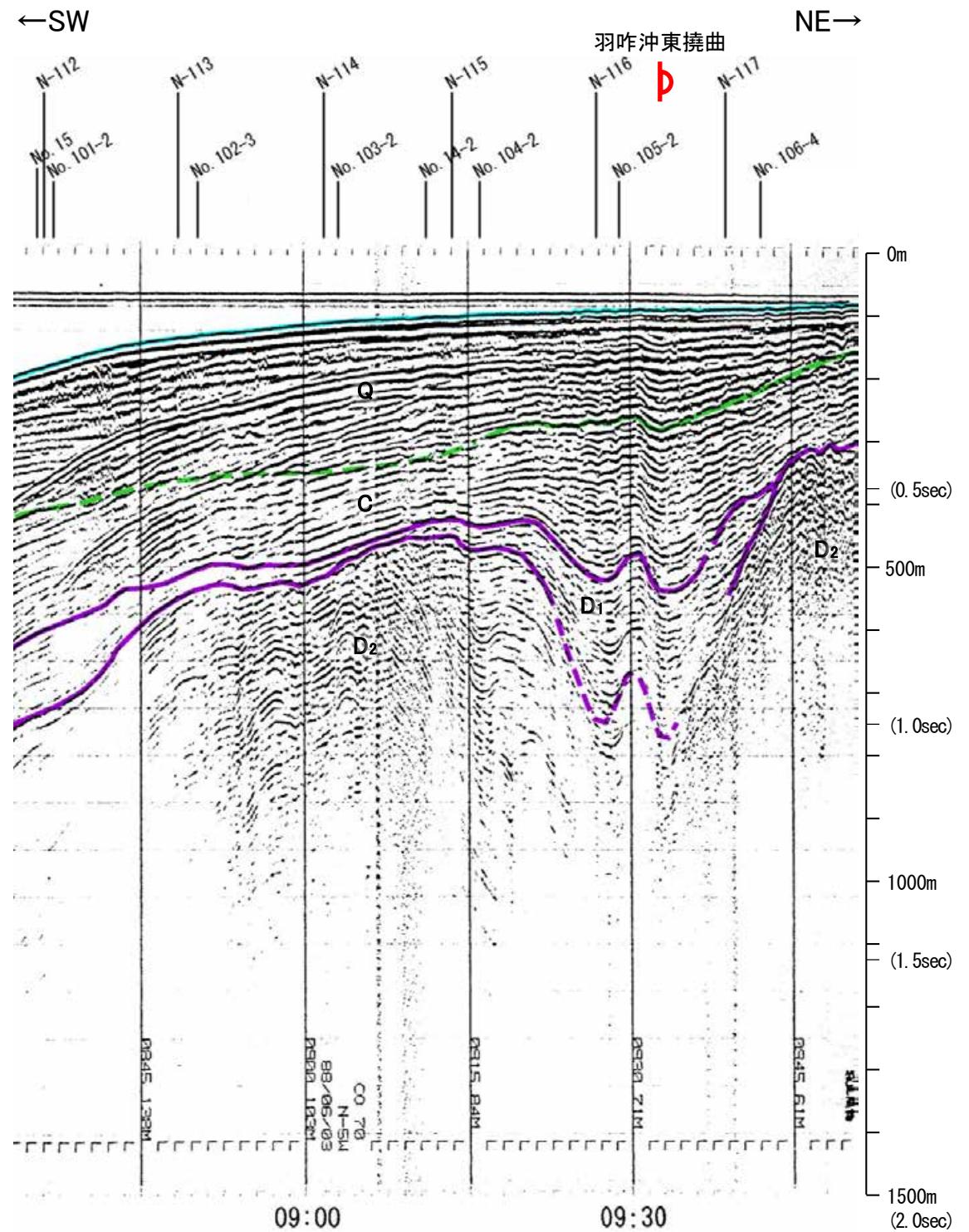
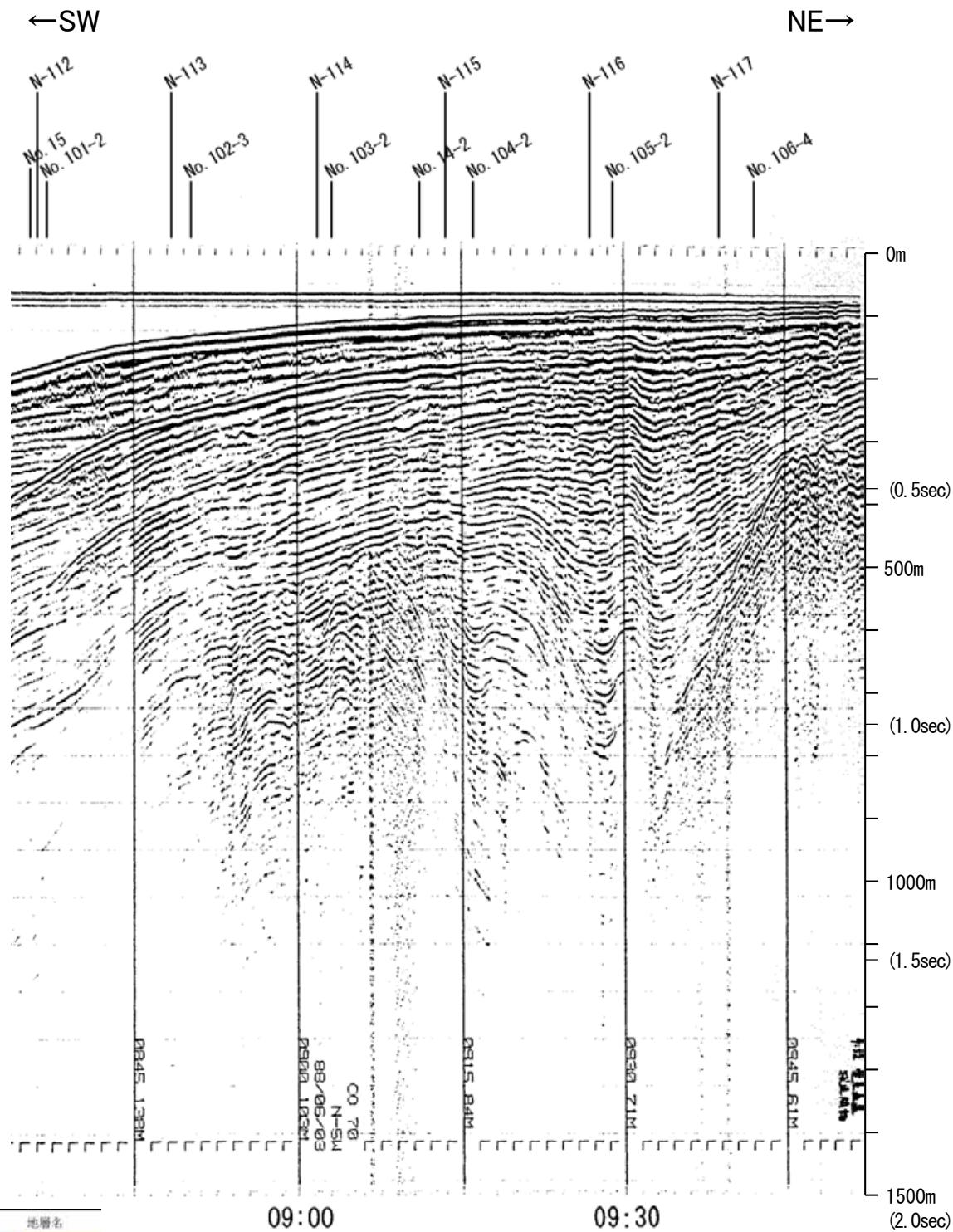
北陸電カスパーカー No.13



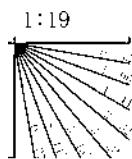
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



地質調査所エアガン N-5W



地質時代	地層名	
第四紀	更新世 末期	A層
	更新世 中期	B層
	更新世 前期	C層
	鮮新世	D層
第三紀	D層	
先第三紀	D層	



・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである